奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
ＥＶ－　１	表紙・図面リスト	ＥＶ－１４	附属図書館　昇降機設備　昇降路平面図（改修）
特　－　１	特記仕様書（１）	ＥＶ－１５	附属図書館　昇降機設備　昇降路縦断面図、レール建て図、出入口穴明図（改修）
特　－　２	特記仕様書（２）	ＥＶ－１６	附属図書館　昇降機設備　出入口意匠図（改修）
ＥＶ－　２	案内図・配置図	ＥＶ－１７	附属図書館　昇降機設備　昇降路・ＥＶ機械室平面図（撤去）
ＥＶ－　３	事務局棟、附属図書館、分子育種温室　昇降機設備　１～３階平面図	ＥＶ－１８	附属図書館　昇降機設備　昇降路・ＥＶ機械室断面図（撤去）
ＥＶ－　４	事務局棟　昇降機設備　昇降路平面図（改修）	ＥＶ－１９	附属図書館　電灯・動力設備　凡例、分電盤表、系統図、１階平面図（改修・撤去）
ＥＶ－　５	事務局棟　昇降機設備　昇降路縦断面図、レール建て図、出入口穴明図（改修）	ＥＶ－２０	附属図書館　弱電・火災報知設備　凡例、ブロック系統図
ＥＶ－　６	事務局棟　昇降機設備　出入口意匠図（改修）	ＥＶ－２１	附属図書館　弱電・火災報知設備　系統図、１・３階平面図（改修）
ＥＶ－　７	事務局棟　昇降機設備　ドア・エッチング割付意匠図（改修）	ＥＶ－２２	附属図書館　弱電・火災報知設備　系統図、１～３階平面図（撤去）
ＥＶ－　８	事務局棟　昇降機設備　昇降路・ＥＶ機械室平面図（撤去）	ＥＶ－２３	附属図書館　昇降機設備（小荷物専用）　昇降路・機械室平面図（改修）
ＥＶ－　９	事務局棟　昇降機設備　昇降路・ＥＶ機械室断面図（撤去）	ＥＶ－２４	附属図書館　昇降機設備（小荷物専用）　昇降路断面図、出し入れ口意匠図（改修）
ＥＶ－１０	事務局棟　電灯・動力設備　凡例、分電盤表、系統図、１階平面図（改修・撤去）	ＥＶ－２５	附属図書館　昇降機設備（小荷物専用）　昇降路・機械室平面図、断面図（撤去）
ＥＶ－１１	事務局棟　弱電・火災報知設備　凡例、ブロック系統図	ＥＶ－２６	分子育種温室　昇降機設備（小荷物専用）　昇降路・機械室平面図（改修）
ＥＶ－１２	事務局棟　弱電・火災報知設備　系統図、１・３階平面図（改修）	ＥＶ－２７	分子育種温室　昇降機設備（小荷物専用）　昇降路断面図、出し入れ口意匠図（改修）
ＥＶ－１３	事務局棟　弱電・火災報知設備　系統図、１～３階平面図（撤去）	ＥＶ－２８	分子育種温室　昇降機設備（小荷物専用）　昇降路・機械室平面図、断面図（撤去）

訂正　令和　年　月　日	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長：久保　課長補佐：　係長：　担当者：　樂山	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称：表紙・図面リスト	縮尺：－　図面番号：ＥＶ－１

奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事

Ⅰ 工 事 概 要

1．工事場所　奈良県生駒市高山町8916-5（奈良先端科学技術大学院大学構内）

2．完成期限　令和　7年　3月２８日（金曜日）

3．建物概要

建物名称		事務局棟	附属図書館	分子育種温室	
構造		Ｒ造	Ｒ造	Ｒ造	
階数		地上3階	地上3階	地上2階	
建築物の高さ		12,670	16,770	10,633.3	
建築基準法による	建築面積（㎡）	787	759	253	
	延べ面積（㎡）	2,483	2,216	482	
消防法施行令別表第一の区分		7項	7項	7項	
備考					

4．工事種目　●エレベーター設備　一式　●内装　一式
　●電灯設備　一式　●塗装　一式
　●動力設備　一式
　●弱電設備　一式
　●火災報知設備　一式
　●撤去工事　一式

5．改修内容　本工事は既存不適格を解消し、最新の建築基準法に適合することを目的とした改修工事である。
油圧式エレベーター2台及び小荷物専用昇降機2台の全撤去改修を行う。

6．指定部分　●無　○有　対象部分（　　　）
指定部分工期　年　月　日

7．概成工期　●無　○有　令和　年　月　日（　曜日）
（第1編1.1.2）［第1編1.1.2］

Ⅱ 工 事 仕 様

1．共通仕様

（1）国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学工事請負等契約細則　別記第１号の工事請負契約基準、現場説明書、図面２８枚及び本特記仕様書２枚によるほか、●印の付いたものを適用する。
- ● 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）（以下「標準仕様書」という。）
- ● 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
- ● 文部科学省機械設備工事標準仕様書（特記基準）（令和4年版）（以下「文科仕様書」という。）
- ● 工事写真撮影要領（令和5年9月）

（2）建築工事の仕様については下記による。下記以外の内容については公共建築工事標準仕様書（令和4年版）による。

１８　塗装工事
- ●材料　屋内で使用する塗装のホルムアルデヒド放出量はF☆☆☆☆とする。
- ●素地ごしらえ　モルタル面及びプラスター面についてはB種とする。

１９　内装工事
- ●材料　接着剤及び壁紙のホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆とする。
- ●素地ごしらえ　モルタル面及びプラスター面についてはB種とする。

2．特記仕様

章、項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用し、○印の付いたものは適用しない。

章	項目	特記事項
● 一般共通事項	●電気保安技術者（第1編1.3.2）［第1編1.3.2］	この工事現場に，下記のいずれかの電気保安技術者を選任する。

項目名	電気保安技術者
1．第３種電気主任技術者以上の資格を有する者	●
2．１級電気工事施工管理技士の資格を有する者	●
3．高等学校又はこれと同等以上の教育施設において，電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第７条第１項各号の科目を修めて卒業した者	●
4．旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	●
5．公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	●
6．第１種電気工事士の資格を有する者	●
7．２級電気工事施工管理技士の資格を有する者	●
8．第２種電気工事士の資格を有する者	●
9．短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	○

工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

● 施工条件（第1編1.3.3）［第1編1.3.3］
現場説明書　別紙－２による。

●環境への配慮（第1編1.4.1）［第1編1.4.1］
(1) 本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月閣議決定）」に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。
(2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③接着剤は、可塑性（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

●機材の品質等（第1編1.4.2）［第1編1.4.2］
（１）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
（２）下表に機材名が記載された製造業者等は、以下に指定する事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。
ただし、以下に指定する事項を評価されたことを示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。
- ○ 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
- ○ 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
- ○ 安定的な供給が可能であること。
- ○ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
- ○ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
- ○ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

機材名

● 機材の検査等　機材の検査に伴う試験（第1編1.4.5～6）［第1編1.4.5～6］
監督職員の行う機材の検査及び機材検査に伴う試験は下記による。

機材名	検査	試験	備考
エレベーター用主索	●	○	目視
	○	○	
	○	○	

● 施工調査［第1編1.5.1～3］
事前調査　●本工事　○別途
調査内容
調査項目　●既存資料調査
調査範囲　○図示　●本工事対象箇所
調査方法　○図示　●現場調査

● 施工の検査等　検査に伴う試験・立会い等（第1編1.5.4～6）［第1編1.6.5～7］
下記の施工部分は，監督職員の検査・立会い・検査に伴う試験を受ける。

施工部分	検査	立会	試験	備考
昇降機設備本体	○	●	○	設置状況、動作確認
各種試験	○	●	●	安全装置・警報等の動作確認
	○	○	○	

●完成時の提出図書（第1編1.7.1～5）［第1編1.8.1～6］
工事完成後提出する完成図等の種類及び提出部数は下記による。

名称	体裁等
● 完成図・施工図	CADデータ（電子納品）及び電子データ
● 完成図・施工図	原図　○A1版（　部）　●A3版（1部）
● 完成図・施工図	複写図　仮製本　○A1版（　部）　●A3版（2部）
● 完成図・施工図（※）	複写図　製本（A4版黒厚紙表紙金文字入り）（2部）
● 機器完成図（※）	複写図　製本（A4版黒厚紙表紙金文字入り）（2部）
● 試験成績書（※）	複写図　製本（A4版黒厚紙表紙金文字入り）（2部）
● 官公庁書類（※）	複写図　製本（A4版黒厚紙表紙金文字入り）（2部）
● 保全指導書（※）	複写図　製本（A4版黒厚紙表紙金文字入り）（2部）
● 工事写真帳	●紙媒体（1部）　●電子データ（電子納品）

・紙媒体はA4版ファイル綴じ、電子データはPDF形式とする。
・（※）は電子納品の対象とする。

電子納品は次による。
（１）貸与する設計図CADデータの著作者名：奈良先端科学技術大学院大学
ファイル形式：ＪＷＷ
貸与条件：貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図以外に使用しないこと。
（２）電子納品の対象は上表によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。
（３）電子成果品は、提出前にウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。
（４）提出方法及びファイル形式は以下による。
CADデータ：JWW、DXF及びPDF
提出方法：CD又はDVDに保存し、１部提出する。

●石綿含有材料の事前調査［第1編4.1.2］
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有材料の事前調査を行う。
●採取箇所：<エレベーター（事務局棟・附属図書館）>
1．EV機械室：床（防塵塗装）
2．ピット　：床（防水モルタル）
3．ピット　：緩衝器固定部（モルタル）
4．乗　場　：壁（三方枠周囲）
5．乗　場　：床（長尺シート）
<小荷物専用昇降機（附属図書館・分子育種温室）>
1．ピット　：床（防水モルタル）
2．出し入れ口：壁（三方枠周囲）
3．出し入れ口：床（長尺シート）
●サンプル数：採取箇所の各項目につき1箇所（3検体）
●分析方法：定性分析

○足場その他（第2編4.1.1）［第1編2.1.1］
○別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。
○本工事で設置する。
○内部足場（EVシャフト内は含まない）（　○　種　○　種）
○外部足場（　○　種　○　種）
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
すり先行専用足場方式により行う。

●容量等の表示
電動機容量は、原則として「Ⅲ エレベーター仕様」に表示された数値以下とする。

●電源周波数
○５０Ｈｚ　●６０Ｈｚ

●耐震設計用地域係数
耐震設計用地域係数は、「昇降機技術基準の解説2016年版」P3.3-1による。

●耐震措置（第9編2.2.6）
エレベーター設備機器の固定等は、すべて「昇降機技術基準の解説2016年版」による。
対象機器の耐震安全性分類は、（○耐震クラスS_{14}　●耐震クラスA_{14}）とする。

●塗装（第2編3.2.1）［第2編3.2.1］
次の露出配管は、塗装又は記載の仕上げとする。
○屋外：○金属電線管　（○溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上げ［付着量300ｇ/㎡以上］○指定色塗装）
○屋内：○金属電線管　（○溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上げ　○指定色塗装）

●電線類（第2編4.7.1）

●既存躯体への穿孔［第2編5.2.1］
はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に下記の方法により埋設物調査を行い、監督職員に報告する。
● 走査式埋設物調査　○ 放射線透過検査

●電線・ケーブル等の規格　電気（第2編1.1.1）電気（第6編1.1.1）電気［第2編1.2.1］
電線・ケーブル等の規格、記号で公共仕様書に定める以外のものは下記による。

呼称	規格	記号

●電線保護物類の規格　電気（第2編1.2.1～10）電気（第6編1.2.1～3）
電線保護物の規格で公共仕様書に定める以外のものは下記による。

呼称	規格	記号

●ケーブルの端末処理等　電気（第2編2.1.1）電気［第2編2.1.2］
ケーブルの端末処理で、端末処理材を用いて処理する場所は下記による。

種別／施工箇所及びケーブル種別	摘要

ケーブルの直線・分岐処理で、直線・分岐処理材を用いて処理する場所は下記による。

種別／施工箇所及びケーブル種別	レジンモールド加工	モールド加工（工場加工）

●電線の色別　電気（第2編2.1.3）電気（第3編1.1.4）電気［第2編2.1.4］
配線及び主回路の導体の色別は、次による。
● 標準仕様書による。
○ 配線及び主回路の導体の色別は、下記による。

	電気方式	第１相	第２相	第３相	中性相
高圧	三相３線式	赤	白	青	
低圧	三相３線式	赤	接地側　白	黒	
低圧	三相４線式	赤	青	黒	白
低圧	単相２線式	赤（青）	接地側　白		
低圧	単相３線式	赤	青		白
低圧	直流２線式	青	白		
配線	（１）分岐回路の色別	分岐前の色別による。			
配線	（２）発電回路の第２相	接地側の電線の色は黄色とする（無停電回路含む）			
配線	（３）切替回路の２次側	規定しない。			
配線	（４）漏電遮断器回路の接地	専用接地極とした時の接地線は、監督職員と協議し、一般接地線と色別を区別する。			
分電盤類	共通事項	配線（１）～（４）による。			
分電盤類	左右・上下及び遠近の別は、正面から見た状態	ア）左右の別は、左からとする。イ）上下の別は、上からとし、直流２線式は、下からとする。ウ）遠近の別は、近いほうからとし、直流２線式は、遠いほうからとする。			

備考
（ａ）配電盤類については、次による。
（１）左右、遠近の別は、各回路部分における主となる開閉器の操作側又はこれに準ずる側から見た状態とし、分電盤類による。
（２）三相回路又は単相３線式回路より分岐する回路は、分岐前の色別による。
（３）三相交流の相は、第１相、第２相、第３相の順に相回転するものとする。
（ｂ）屋外架空配線の色別は、本表によらなくてよい。
（ｃ）接地線の色別は、監督職員の承諾を受けること。

●他工事又は他工種との取り合い
図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。

● エレベーター設備

●エレベーター仕様（第9編1.1.1～6.2.13）［第7編1.1.1］<第7編1.1.1～2.1.1>
本設備は、建築基準法、同法施行令及び同令に基づく告示並びに地方公共団体の条例等の定めによる。
仕様は、「Ⅲ エレベーター仕様」による。

○エレベーター監視盤（第9編2.2.8）
○有り（○新設　○既設）（仕様は、「Ⅳ エレベーター監視盤等」による。）
（設置場所：　階　室）

○エレベーター警報盤（第9編2.2.9）
○有り（○新設　○既設）（仕様は、「Ⅳ エレベーター監視盤等」による。）
（設置場所：　階　室）

●計画通知 完了検査
●計画通知：　○本工事（手数料を含む）　●別途
●工事完了通知：○本工事（手数料を含む）　●別途

○動力計測用電力量計
○要（○無検定　○検定付）
パルス発信機能付きとし、電力量の表示は（○有　○無）とする。
○不要

●保守遠隔監視用電話回線等
保守遠隔監視用電話回線の配管は、本工事とする。

● 撤去工事

●撤去内容［第7編1.3.1～3］

●発生材の処理［第1編5.1.1～2］
発生材の処理は、下記による
~~(1)　引渡しを要するもの~~
1）品　名
2）引渡し先
3）集積場所
4）集積方法
(2)　特別管理産業廃棄物
1）品　名　　2）処理方法
石綿含有材（含有が確認された場合）　関係法令に従い適切に処理する。
~~(3)　現場において再利用するもの~~
1）品　名
2）使用場所
~~(4)　再生資源化するもの~~
1）品　名
(5)　その他の発生材
1）品　名　　2）処理方法
EV機器、EV用部材、配管、配線、コンクリートがら、廃油等　関係法令に従い適切に処理する。

工事区分表

1．●印の付いたものを適用する。
2．●が重複する項目は、それぞれの区分が必要とする工事を自ら行う。

項目	名称	摘要	建築	電気	機械	エレベーター	備考
昇降機関連	昇降機設備本体	三方枠、同取付後の壁補修まで（トロ詰め）				●	撤去含む
昇降機関連	同上用機械室	天井フック、床シンダーコンクリート、防塵塗料、搬入用等開口、換気ガラリ共				●	撤去に伴う補修含む
昇降機関連	同上用監視盤						
昇降機関連	同上換気扇取付					●	
昇降機関連	機械室換気扇取付	サーモ、スイッチ共					
昇降機関連	各種信号用制御線	停電用、火災用等				●	
昇降機関連	三方枠周囲の壁仕上					●	
昇降機関連	各階出入口用開口	敷居取付持出し共				●	はつり及び補修含む
昇降機関連	各階乗り場ボタン用開口	取付に伴う開口及び補修				●	
昇降機関連	昇降路内中間ビーム設置					●	
昇降機関連	ピット内防水	撤去に伴う既設防水層の補修				●	
昇降機関連	動力、照明要電源、接地引き込み					●	
昇降機関連	コンセント設置	ピット内、機械室内					既設再使用
昇降機関連	インターホン配線	シャフト外、監視盤～制御盤				●	
昇降機関連	インターホン配線	シャフト内、制御盤内接続共				●	
昇降機関連	非常放送用スピーカー					●	
昇降機関連	同上用配線	シャフト外、ＡＭＰ～制御盤				●	
昇降機関連	同上用配線	シャフト内、制御盤内接続共				●	
昇降機関連	監視カメラ						
昇降機関連	同上用配線	シャフト外、監視制御装置～制御盤					
昇降機関連	同上用配線	シャフト内、制御盤内接続共					
昇降機関連	点検用タラップ	ピット内				●	
天井点検口		点検口取付及び、開口部補強				●	
防火区画貫通部補修						●	
煙感知器連動防火戸		壁撤去、撤去後の補修				●	
同上用防災信号電源						●	
同上用煙感知器		リレーまでの配管配線共				●	
煙感知器連動シャッター		壁・手動閉鎖装置等撤去、撤去後の補修				●	
同上用防災信号電源						●	
同上用煙感知器		リレーまでの配管配線共				●	

訂正	令和　年　月　日

国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学				工事名	年度
課長	課長補佐	係長	担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
				図面名称：特記仕様書（1）	縮尺：－　図面番号：特－1

Ⅲ エレベーター仕様

項目 ＼ 号機			【改修前】 事務局棟 1号機（1台）	【改修後】 附属図書館 1号機（1台）
1	用途		普及型乗用（車いす兼用）	同　左
2	ＪＩＳ記号		HP-11-CO-45	P-11-CO-45
3	区分		油圧間接式 機械室あり	ロープ式・インバータ制御方式 機械室なし
4	積載量・定員		750ｋｇ（11人）	同　左
5	かご内法寸法(mm) 間口×奥行×(約)高さ		1,400×1,350×2,300	同　左
6	出入口寸法(mm) 有効幅×高さ		800×2,100	同　左
7	防火設備注) (乗場の戸等)		遮炎遮煙性能　有（建築付帯設備）	遮炎遮煙性能　有（機器付属）
8	戸開閉方式		2枚戸中央開き(電動式)	同　左
9	速度(m/min)		45	同　左
10	停止箇所・停止階		3箇所停止 停止階(1,2,3階)	同　左
11	電源		動力:三相200V　照明:単相100V	同　左
12	電動機容量（kW）		AC-18.5	AC-3.5（参考）
13	運転操作方式		乗合全自動方式	同　左
14	管制運転機能	地震時管制運転 (閉じ込め時リスタート運転)	有（S波地震感知機能付）	有（P波・S波地震感知機能付）
15	管制運転機能	火災時管制運転	無	有
16	管制運転機能	停電時救出運転	有	同　左
17	管制運転機能	非常用発電時管制運転 (自家発時管制運転)	無	同　左
18	管制運転機能	ピット冠水時管制運転	無	有
19	管制運転機能	浸水時管制運転	無	同　左
20	管制運転機能	長尺物振れ管制運転	無	同　左
21	管制運転機能	緊急地震速報連動運転	無	同　左
22	管制運転機能	自動診断仮復旧運転	無	同　左
23	かご仕上	天井・照明	鋼板製塗装仕上・デラックス照明	製造者の標準仕様・デラックス照明
23	かご仕上	戸	化粧鋼板	製造者の標準仕様 (化粧鋼板又は鋼板製塗装仕上（2種）)
23	かご仕上	壁	化粧鋼板	製造者の標準仕様 (化粧鋼板又は鋼板製塗装仕上（2種）)
23	かご仕上	床	ゴムタイル貼り	製造者の標準仕様 (合成樹脂系タイル貼り)
23	かご仕上	かご内操作盤	カバープレートはステンレス製ヘアライン仕上	同　左
24	乗場仕上	三方枠	ステンレス製ヘアライン仕上（大枠）	同　左
24	乗場仕上	戸	ステンレス製エッチング仕上	事務局棟：ステンレス製エッチング仕上 附属図書館：鋼板製塗装仕上（2種）
24	乗場仕上	敷居	硬質アルミ製	同　左
24	乗場仕上	乗場ボタン	縦形点灯式 カバープレートはステンレス製ヘアライン仕上	乗場ボタン一体型液晶インジケータ カバープレートはステンレス製ヘアライン仕上
24	乗場仕上	幕板	有（ステンレス製エッチング仕上）	事務局棟：有（ステンレス製エッチング仕上） 附属図書館：有（鋼板製塗装仕上（2種））
24	乗場仕上	ホールランタン	無	同　左
25	防犯窓		無	同　左
26	かご出入口検出装置		無	有
27	かご室内付加仕様	かご内専用操作盤	有	同　左
27	かご室内付加仕様	かご内手すり	有	同　左
27	かご室内付加仕様	かご内鏡	有	同　左
27	かご室内付加仕様	かご内専用ｲﾝｼﾞｹｰﾀ	有	有（液晶インジケータ）
27	かご室内付加仕様	キックプレート	有	同　左
27	かご室内付加仕様	視覚障害者用装置	有（点字銘板、自動放送装置）	同　左
27	かご室内付加仕様	戸開延長ボタン	無	有
28	かご室内のその他の付加仕様	各階案内表示板	無	同　左
28	かご室内のその他の付加仕様	館内放送用ｽﾋﾟｰｶｰ	有	同　左
28	かご室内のその他の付加仕様	着脱式壁保護材	無	同　左
28	かご室内のその他の付加仕様	監視ｶﾒﾗ(かご内)	無	同　左
28	かご室内のその他の付加仕様	非常ボタンガード	無	有
29	高調波対策		無	有
30	遠隔監視・遠隔点検機能		無	有
31	通話装置		同時通話方式インターホン	同　左

Ⅳ エレベーター監視盤等

○エレベーター監視盤	形式	○自立型	○壁掛形	○デスクトップ形	○別途総合盤組込形
	表示・操作部	○表示・操作パネル（グラフィックパネル）	○液晶ディスプレイ		
	電源識別表示	○商用表示灯	○発電表示灯		
	運行状態表示	○かご位置示灯	○かご方向表示灯		
	管制運転表示	管制運転機能毎に、運転中とその完了表示を行う。			
	遠隔操作スイッチ（キースイッチ）	以下のスイッチを監視盤に備えるものとする。 ○各種完成運転を行う操作スイッチ ○基準階切換スイッチ	○運転及び休止の切換スイッチ		
	ボタン類	以下のボタンを監視盤に備えるものとする。 ○故障警報リセットボタン（警報内蔵）	○ランプチェックボタン		
	インターホン（親機）	○監視盤組込（　　回線）	○別置（　　回線）		
	電源装置	○無	○交流無停電電源装置（停電保持時間　　分）		
	設置場所	○Ｆ○○室			
	その他	○ヒューズ灯	○群管理故障灯		

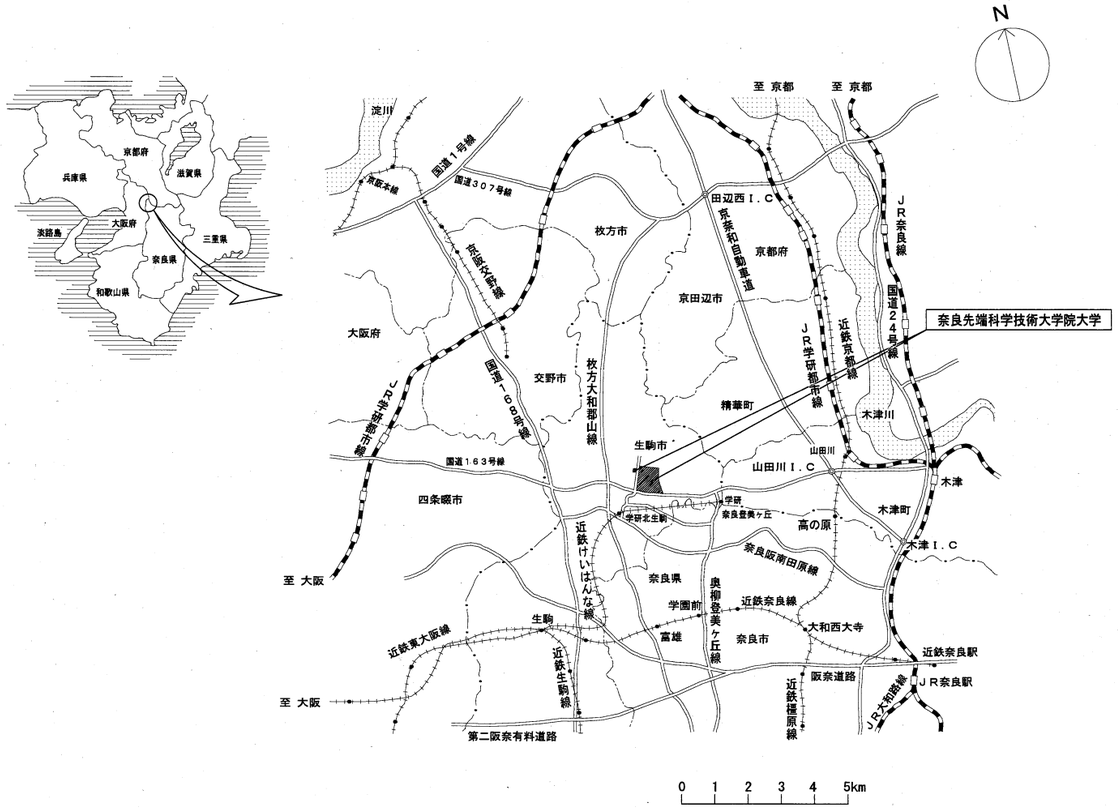
○エレベーター警報盤	形式	○壁掛形	○別途総合盤組込形
	表示・操作部	○表示・操作パネル	
	電源識別表示	○商用表示灯	○発電表示灯
	管制運転表示	管制運転機能毎に、運転中とその完了表示を行う。	
	遠隔操作スイッチ（キースイッチ）	以下のスイッチを警報盤に備えるものとする。 ○各種完成運転を行うスイッチ ○基準階切換スイッチ	○運転及び休止の切換スイッチ
	ボタン類	以下のボタンを警報盤に備えるものとする。 ○故障警報リセットボタン（警報内蔵）	○ランプチェックボタン
	インターホン（親機）	○警報盤組込（　　回線）	○別置（　　回線）
	電源装置	○無	○交流無停電電源装置（停電保持時間　　分）
	設置場所	○Ｆ○○室	
	その他	○ヒューズ灯	○群管理故障灯

Ⅴ 小荷物専用昇降機仕様

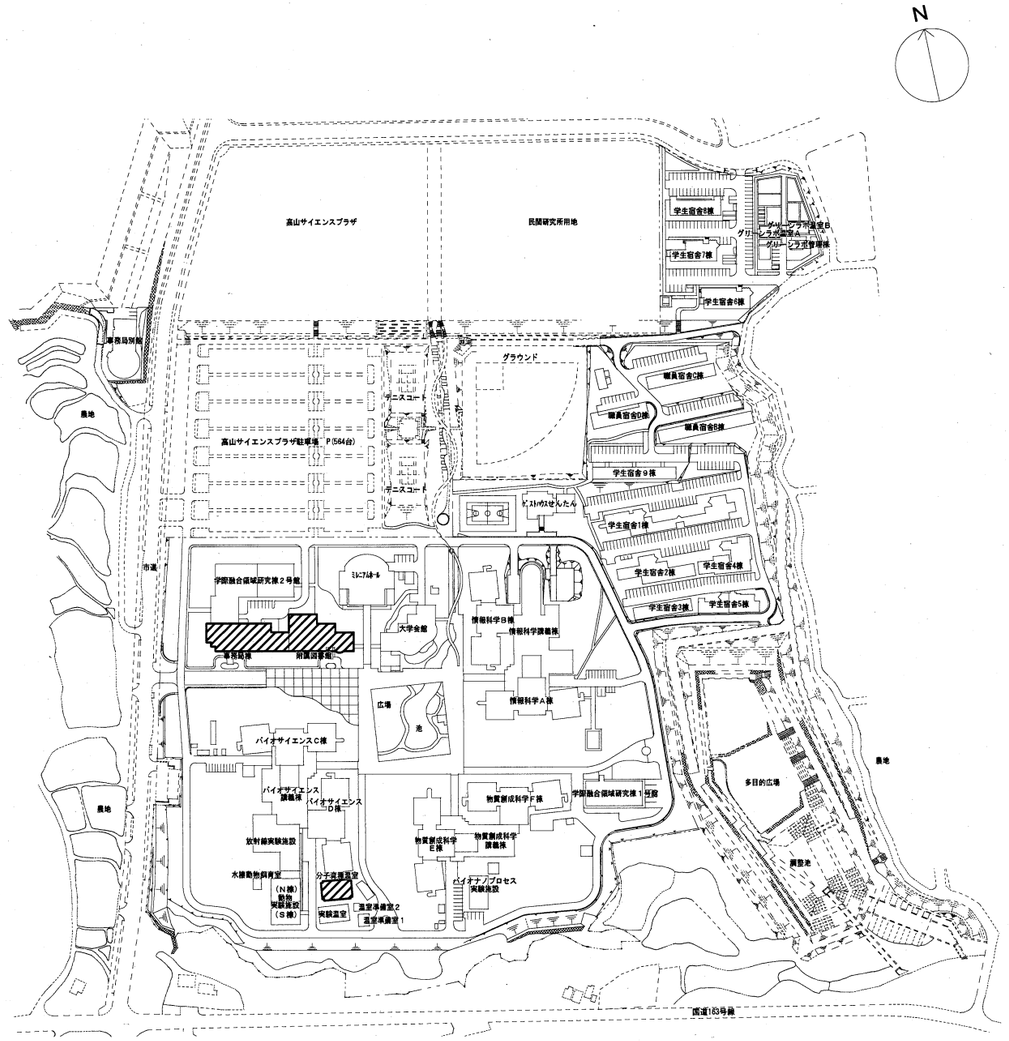
項目 ＼ 号機				【改修前】 附属図書館 1号機（1台）	【改修後】	【改修前】 分子育種温室 1号機（1台）	【改修後】
1	用途			小荷物運搬用	同　左	小荷物運搬用	同　左
2	ＪＩＳ記号						
3	区分			フロア形 交流1段速度制御式	フロア形 インバータ制御式	フロア形 インバータ制御式	同　左
4	積載量			200ｋｇ	同　左	300ｋｇ	同　左
5	かご内法寸法(mm) 間口×奥行×(約)高さ			1,000×1,000×1,200	同　左	1,000×1,000×1,200	同　左
6	出入口寸法(mm) 有効幅×高さ			1,000×1,200	同　左	900×1,230	同　左
7	防火設備注) (乗場の戸等)			遮炎遮煙性能　有（機器付属）	同　左	遮炎遮煙性能　有（機器付属）	同　左
8	戸開閉方式			2枚戸上下中央開き(手動式)	2枚戸上下中央開き(かごドア連動式)	2枚戸上下中央開き(かごドア連動式)	同　左
9	速度(m/min)			30	45	30	45
10	停止箇所・停止階			2箇所停止 停止階(1,2階)	同　左	2箇所停止 停止階(1,2階)	同　左
11	電源			動力:三相200V	同　左	動力:三相210V	動力:三相200V
12	電動機容量（kW）			AC-1.5	同　左	AC-2.2	同　左
13	運転操作方式			相互階自動押釦方式	相互階自動制御方式	相互階自動制御方式	同　左
14	安全機能	非常停止ボタン		有	同　左	有	同　左
15	安全機能	ドアスイッチ		有	同　左	有	同　左
16	安全機能	ドアロック		有	同　左	有	同　左
17	安全機能	かごの戸又は安全棒等		有（安全棒）	有（かごの戸）	有（かごの戸）	同　左
18	安全機能	戸開放防止警報装置		有	同　左	有	同　左
19	安全機能	緩み又は過巻き検知装置		無	有	無	有
20	安全機能	リミットスイッチ		有	同　左	有	同　左
21	かご仕上		天井	ステンレス製ヘアライン仕上	同　左	ステンレス製ヘアライン仕上	同　左
21	かご仕上		戸	ステンレス製ヘアライン仕上	同　左	ステンレス製ヘアライン仕上	同　左
21	かご仕上		壁	ステンレス製ヘアライン仕上	同　左	ステンレス製ヘアライン仕上	同　左
21	かご仕上		床	パンチングステンレス製ヘアライン仕上	ステンレス製チェッカープレート	ステンレス製チェッカープレート	同　左
22	出し入れ口仕上		三方枠	ステンレス製ヘアライン仕上	同　左	ステンレス製ヘアライン仕上	同　左
22	出し入れ口仕上		戸	ステンレス製ヘアライン仕上	同　左	ステンレス製ヘアライン仕上	同　左
22	出し入れ口仕上		敷居	有（ステンレス製）	同　左	有（ステンレス製）	同　左
22	出し入れ口仕上		操作盤	カバープレートはステンレス製ヘアライン仕上	カバープレートは製造者の標準仕様	カバープレートはステンレス製ヘアライン仕上	カバープレートは製造者の標準仕様
23	高調波対策			無	有	無	有
24	通話装置			相互通話方式インターホン	同　左	相互通話方式インターホン	同　左

注）遮炎遮煙性能を有する防火設備は、建築基準法第68条の26第1項及び同法施行令第112条第14項二号に適合したものとする。

訂正　令和　年　月　日	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長：久保　課長補佐：[illegible]　係長：[illegible]　担当者：[illegible]　[illegible]　樂山	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称：特記仕様書（2）	縮尺：－　図面番号：特－2



案内図

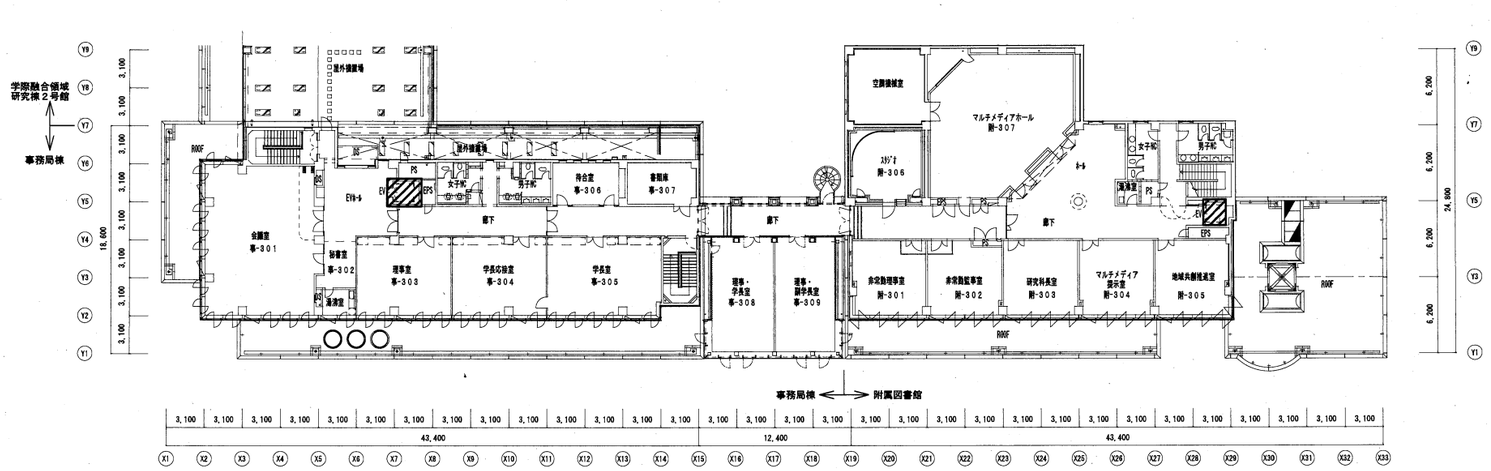


配置図　S=1/2,500

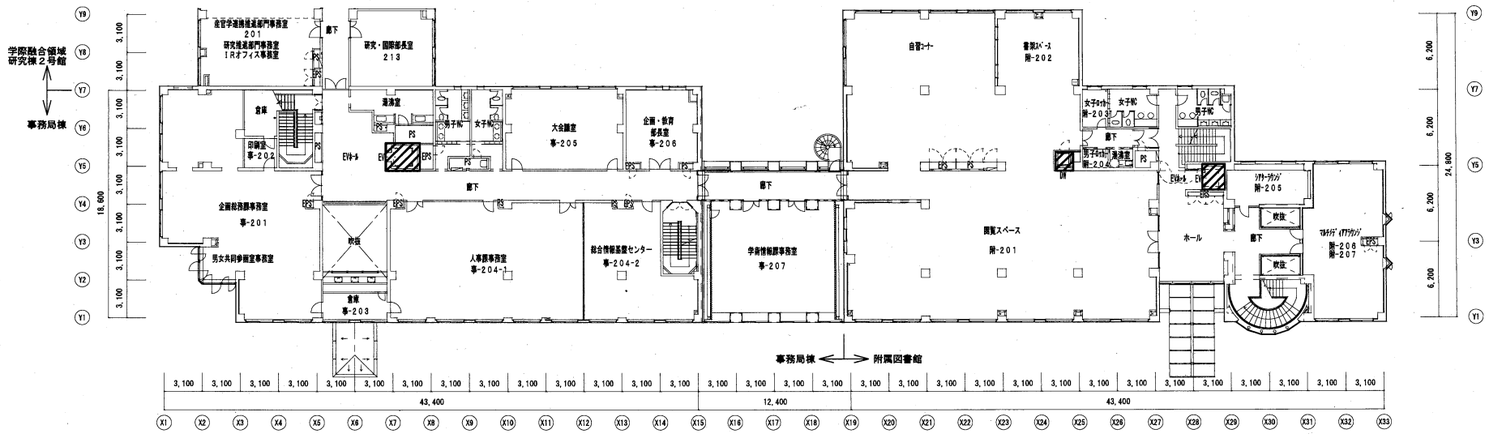
凡 例

：本工事建物

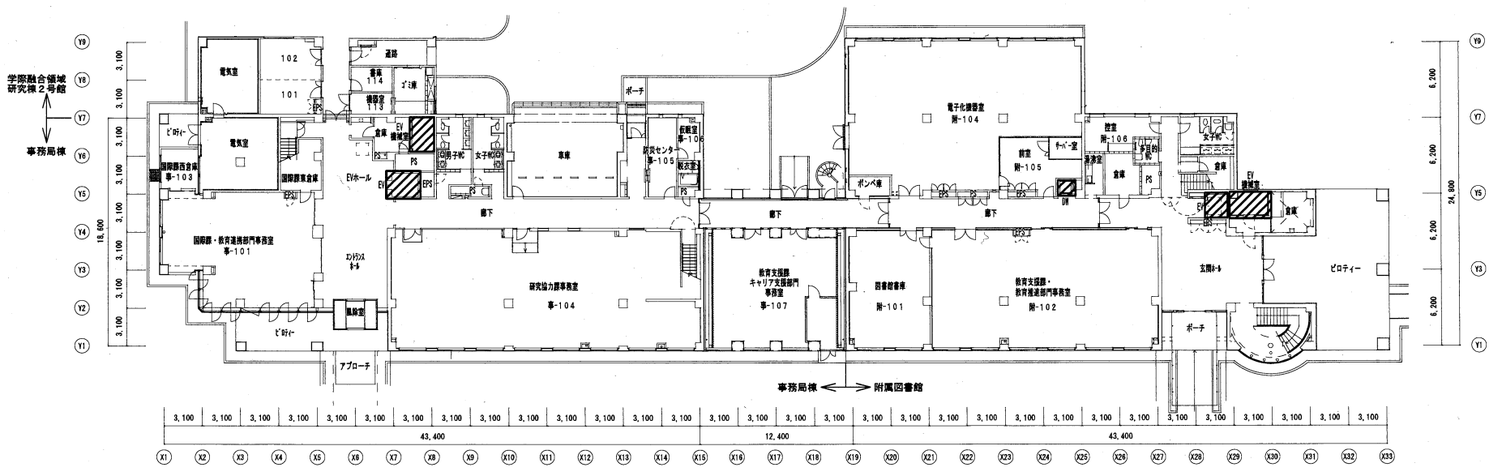
訂正　令和　年　月　日	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称：案内図・配置図	縮尺：1/2,500　図面番号：ＥＶ－２



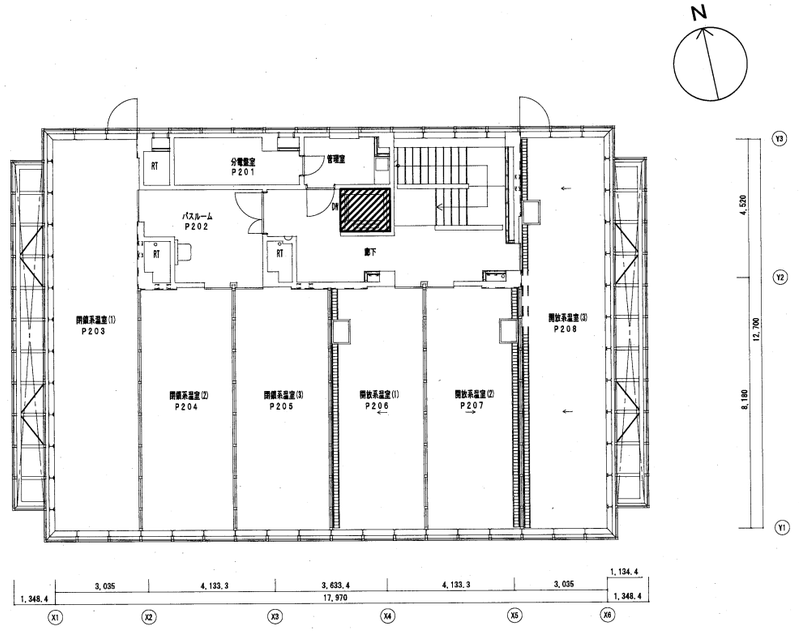
事務局棟、附属図書館　３階平面図　S=1/500



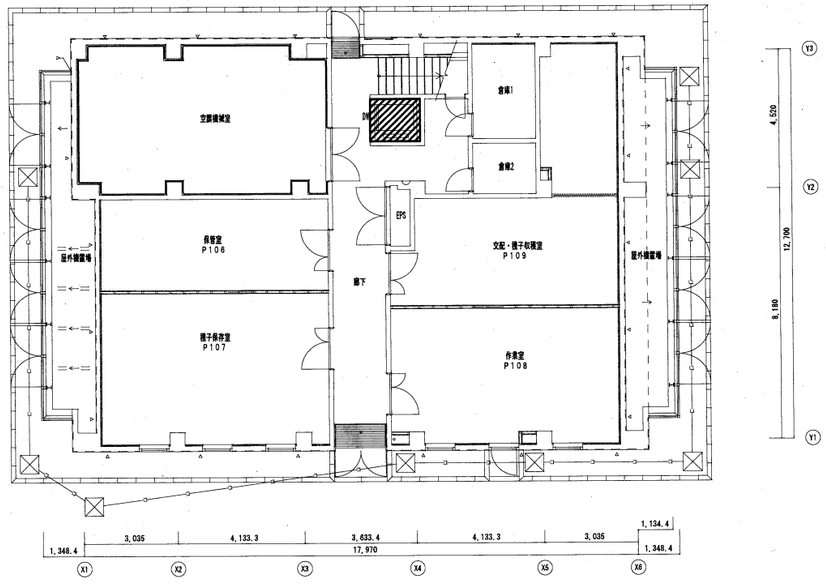
事務局棟、附属図書館　２階平面図　S=1/500



事務局棟、附属図書館　１階平面図　S=1/500



分子育種温室　２階平面図　S=1/200

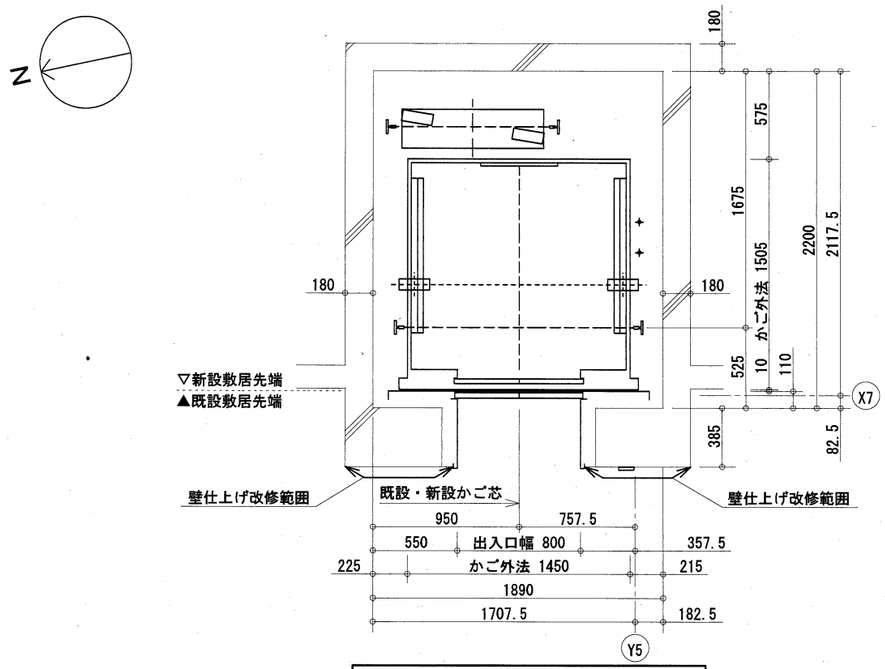


分子育種温室　１階平面図　S=1/200

凡　例

：本工事位置

訂正　令和　年　月　日	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長：久保　課長補佐：[illegible]　係長：[illegible]　担当者：河合　梁山	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称：事務局棟、附属図書館、分子育種温室　昇降機設備　１～３階平面図	縮尺：1/200　1/500　図面番号：ＥＶ－３



昇降路平面図（２Ｆ）　S=1/40

注記

1．本図中 太線は新設、細線は既設を示す。

2．三方枠・敷居等の設置に伴うはつり及び補修は本工事とする。

3．改修に伴う内装仕上げは下記リストの仕様に合わせること。

室　名	床	巾　木	壁	天　井
１階ＥＶホール	石張り	ビニル巾木	クロス張り（防火１級）	着色ロックウール化粧吸音板（リブ付き）
２階ＥＶホール	ビニル床タイル	ビニル巾木	複層塗材Ｅ吹付	着色ロックウール化粧吸音板（リブ付き）
３階ＥＶホール	タイルカーペット	ビニル巾木	クロス張り（防火１級）	着色ロックウール化粧吸音板（リブ付き）

※天井仕上げの[着色ロックウール化粧吸音板]は[ロックウール化粧吸音板＋塗装仕上げ]でも可能とする。

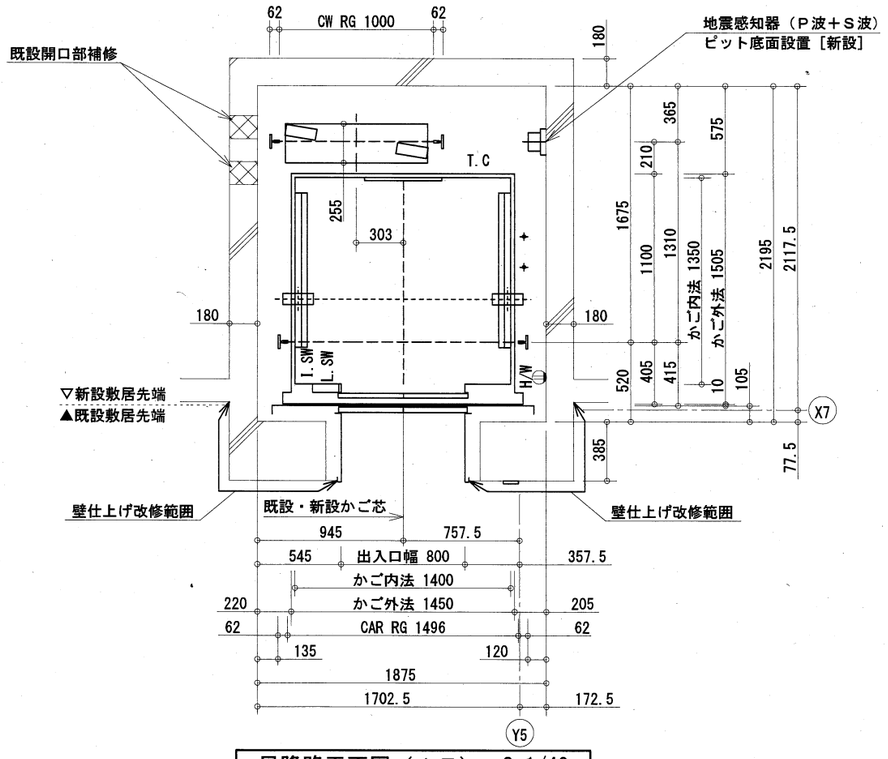
凡例

⊕	ピット点検用コンセント	[既設再使用]
⊕	電源引込み（制御盤への接続） ・動力、照明、接地線 最上停止階ＦＬ－１，３５０mm　引出長さ　３m	[新設]
⊕	配線引込み ・インターホン配線、電話線 最上停止階ＦＬ－　６５０mm　引出長さ　３m	[新設]

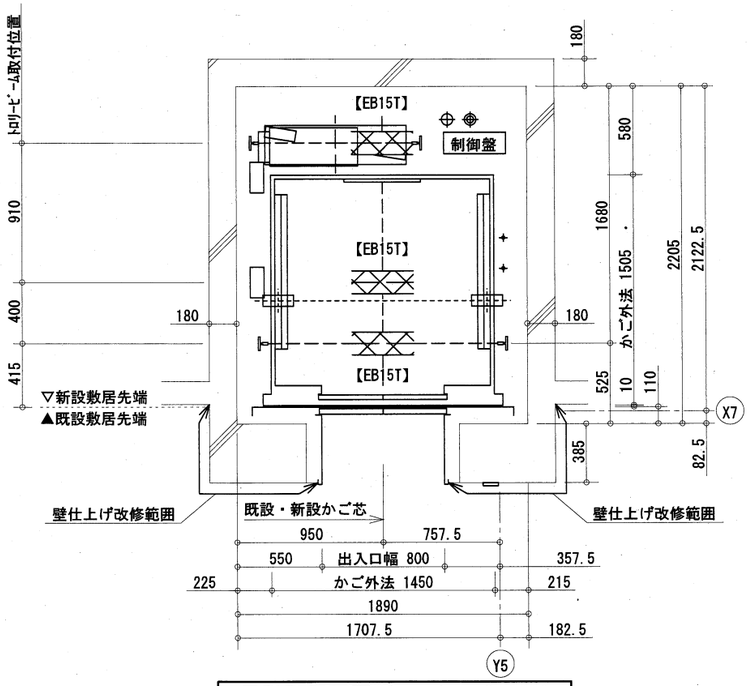
鉄骨部材記号表　[新設]		
部材記号	部材用途	部材サイズ
EB15T	トロリービーム	H-150x150x7x10

（１台１回線）

電源設備				
号機名		Ｎｏ．１		
電源設備容量	動力	２００Ｖ　　４ｋＶＡ		
	照明	１００Ｖ　１．５ｋＶＡ		
最大電流		２１．１A		
動力線サイズ（mm²）		５．５	８	１４
最大引込み距離（m）		７７	１１８	２０７
建屋側ＭＣＣＢ		３０Ａ		
接地線最小サイズ		２　　mm²		
インターホン用配線		φ　０．９×　１０本		
電話用配管・配線		φ　１９配管　・電話線　１Ｐ		
ピットコンセント容量		１ｋＶＡ／台		



昇降路平面図（１Ｆ）　S=1/40



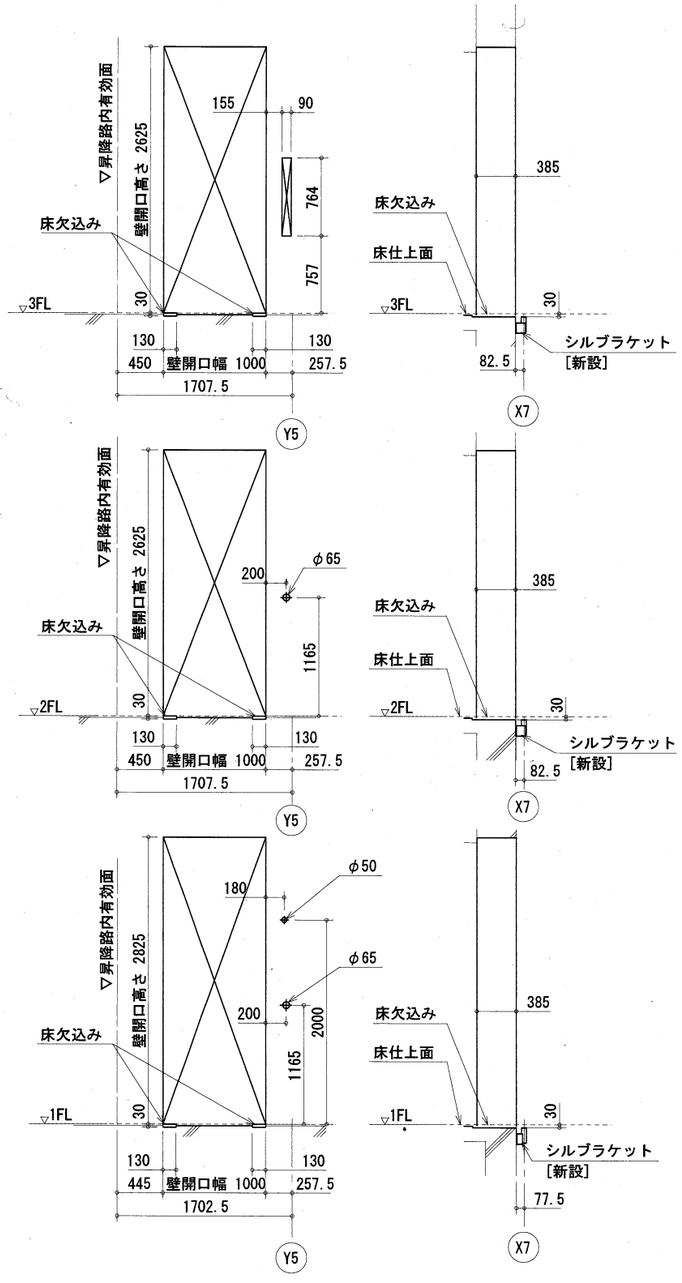
昇降路平面図（３Ｆ）　S=1/40

訂正　令和　年　月　日	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称：事務局棟　昇降機設備 昇降路平面図（改修）	縮尺：1/40　図面番号：ＥＶ－４

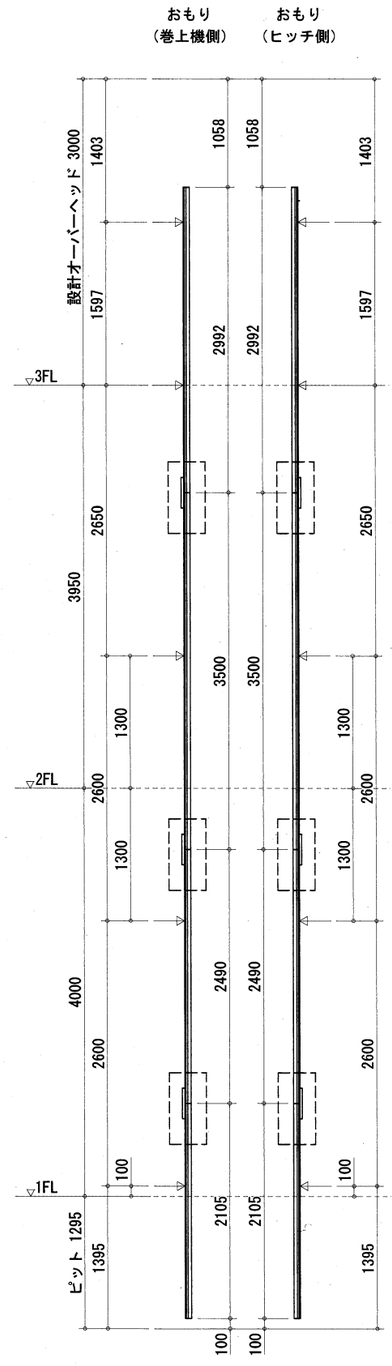
注記

1．本図中 太線は新設、細線は既設を示す。

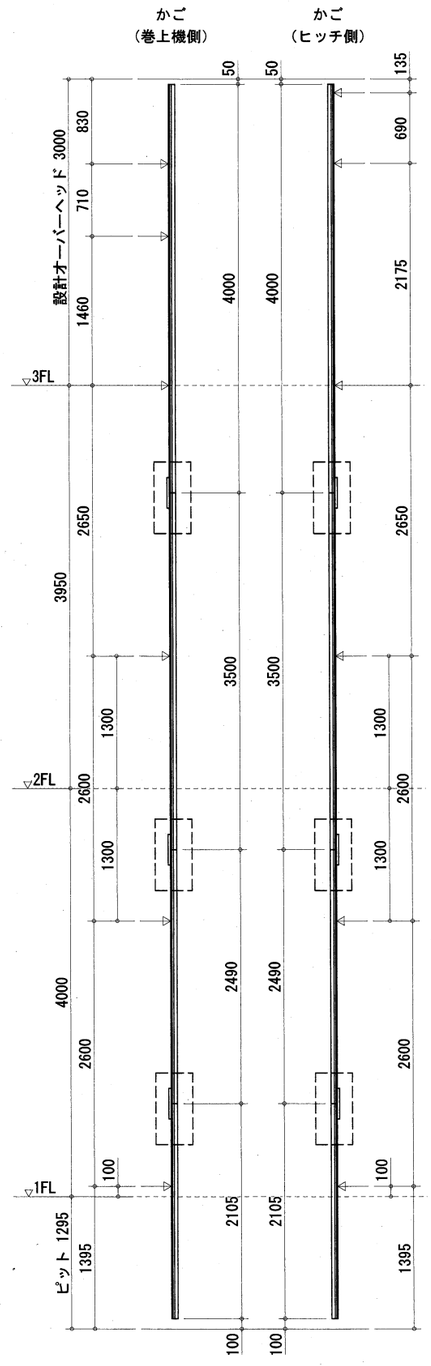
2．三方枠・敷居等の設置に伴うはつり及び補修は本工事とする。



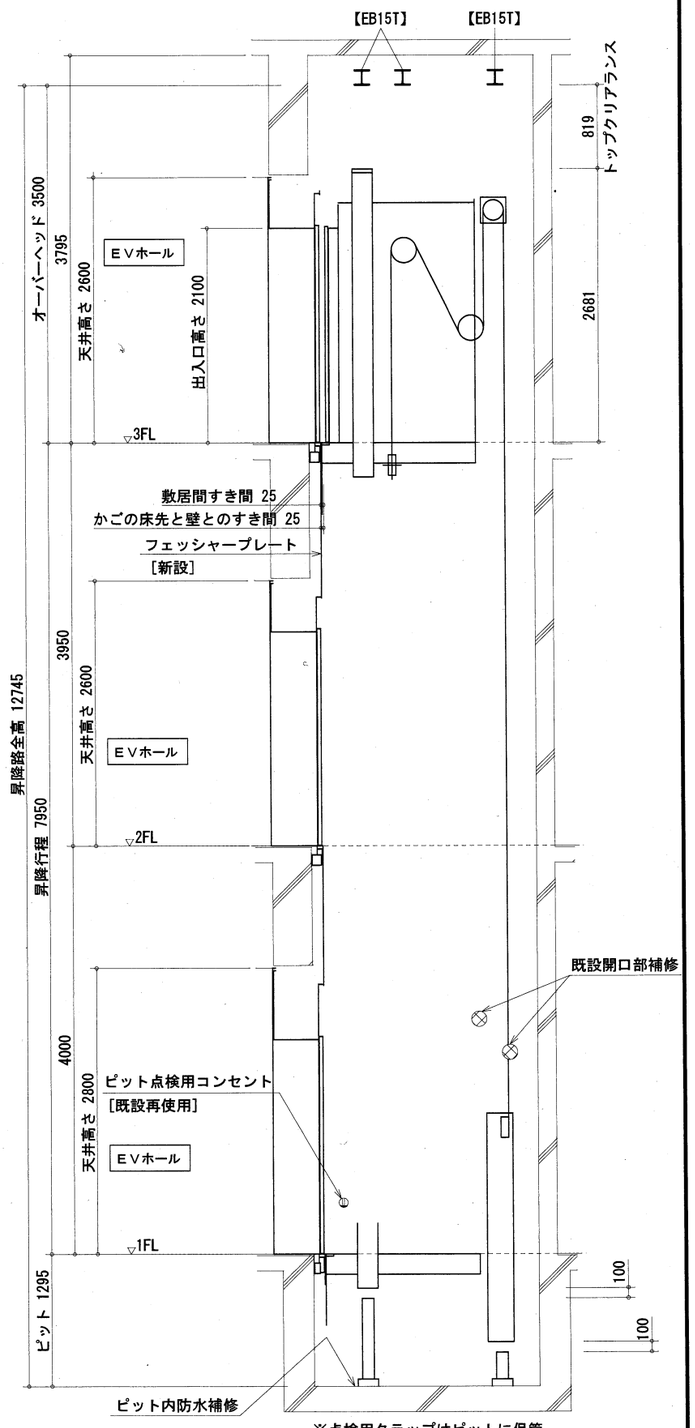
出入口壁穴明図（１～３Ｆ）S=1/60



レール建て図（おもり側）S=1/60



レール建て図（かご側）S=1/60



※点検用タラップはピットに保管

昇降路縦断面図 S=1/60

Ｎｏ．１

	レール支持間隔	レール支持範囲	レールブラケット
かご（ヒッチ側）	2,650	3,100	６カ所
かご（巻上機側）	2,650	2,980	６カ所
おもり（巻上機側）	2,650	3,020	５カ所
おもり（ヒッチ側）	2,650	3,020	５カ所

Ｎｏ．１

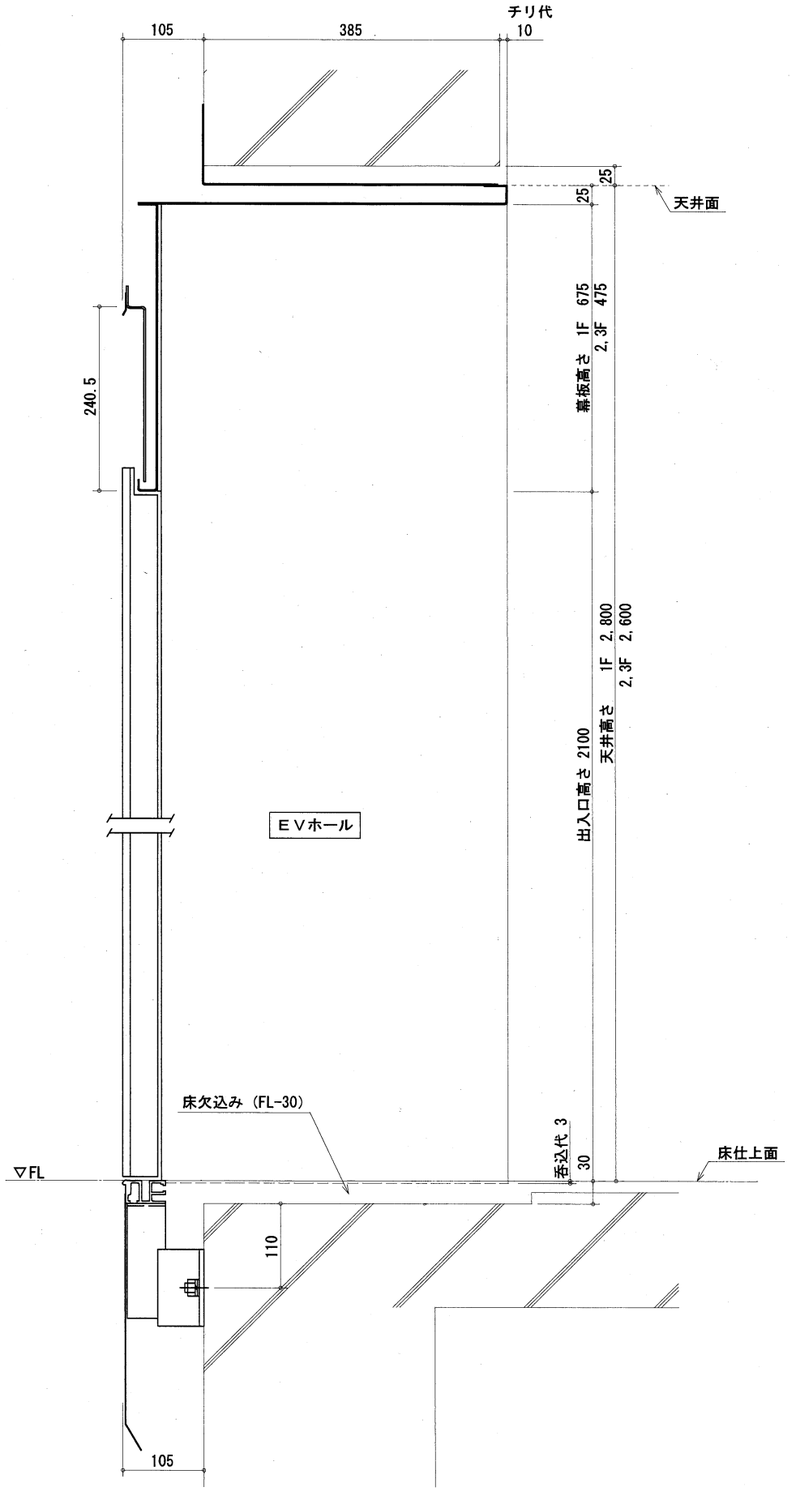
ピット反力		75.10 ｋＮ
ピット衝撃荷重	かご側	62.80 ｋＮ
	Ｃ／Ｗ側	49.90 ｋＮ

訂正 令和 年 月 日	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称 事務局棟 昇降機設備 昇降路縦断面図、レール建て図、出入口穴明図（改修）	縮尺 1/60 / 図面番号 EV－5

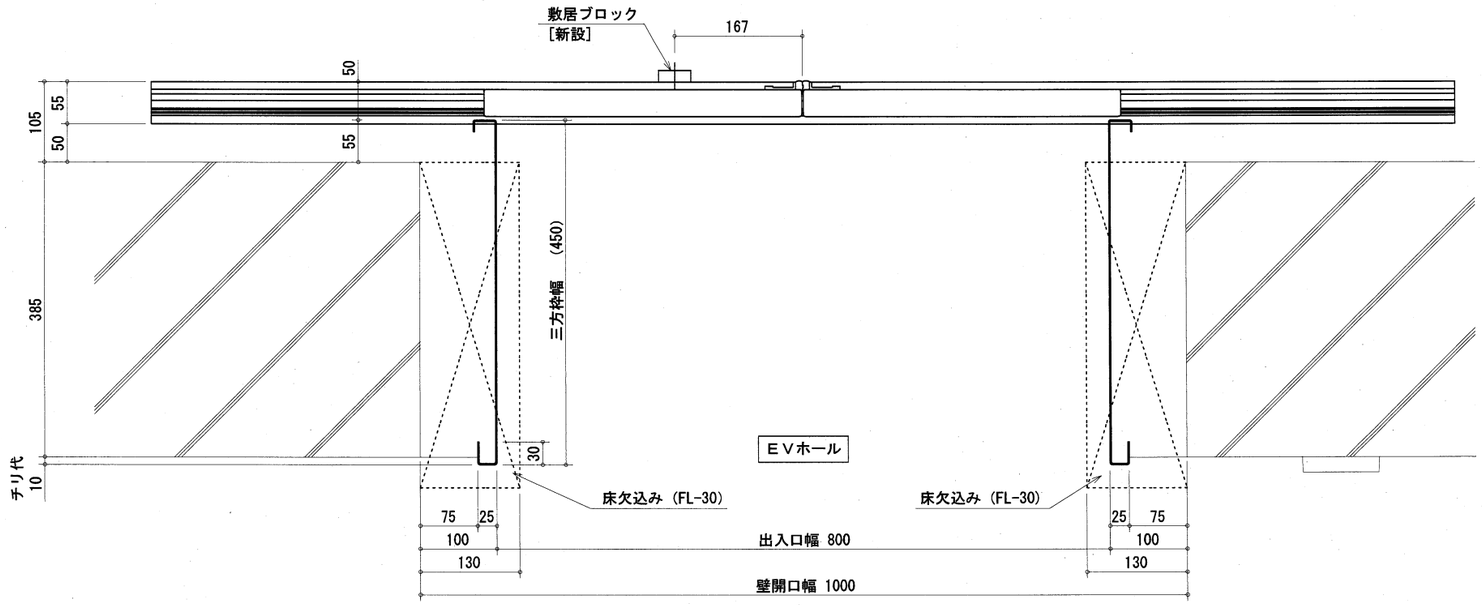
注記

1．本図中 太線は新設、細線は既設を示す。

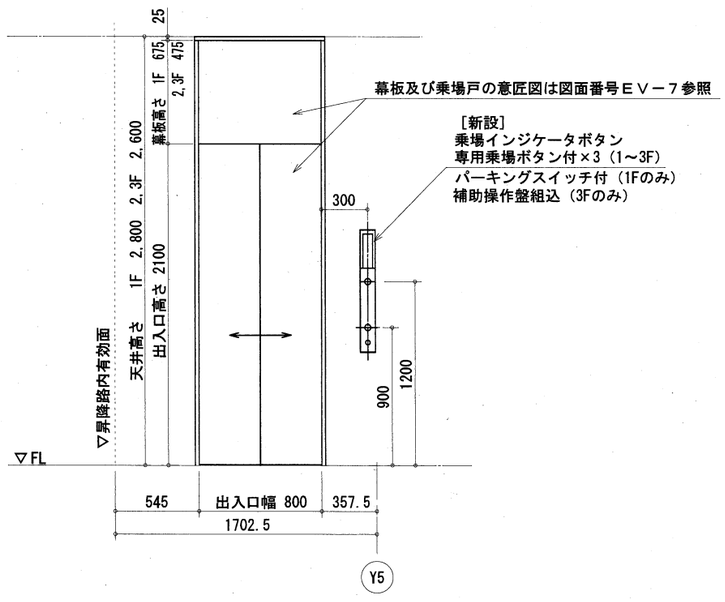
2．三方枠・敷居等の設置に伴うはつり及び補修は本工事とする。



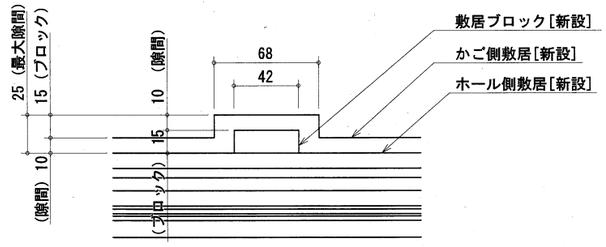
断面図 S=1/8



平面図 S=1/8

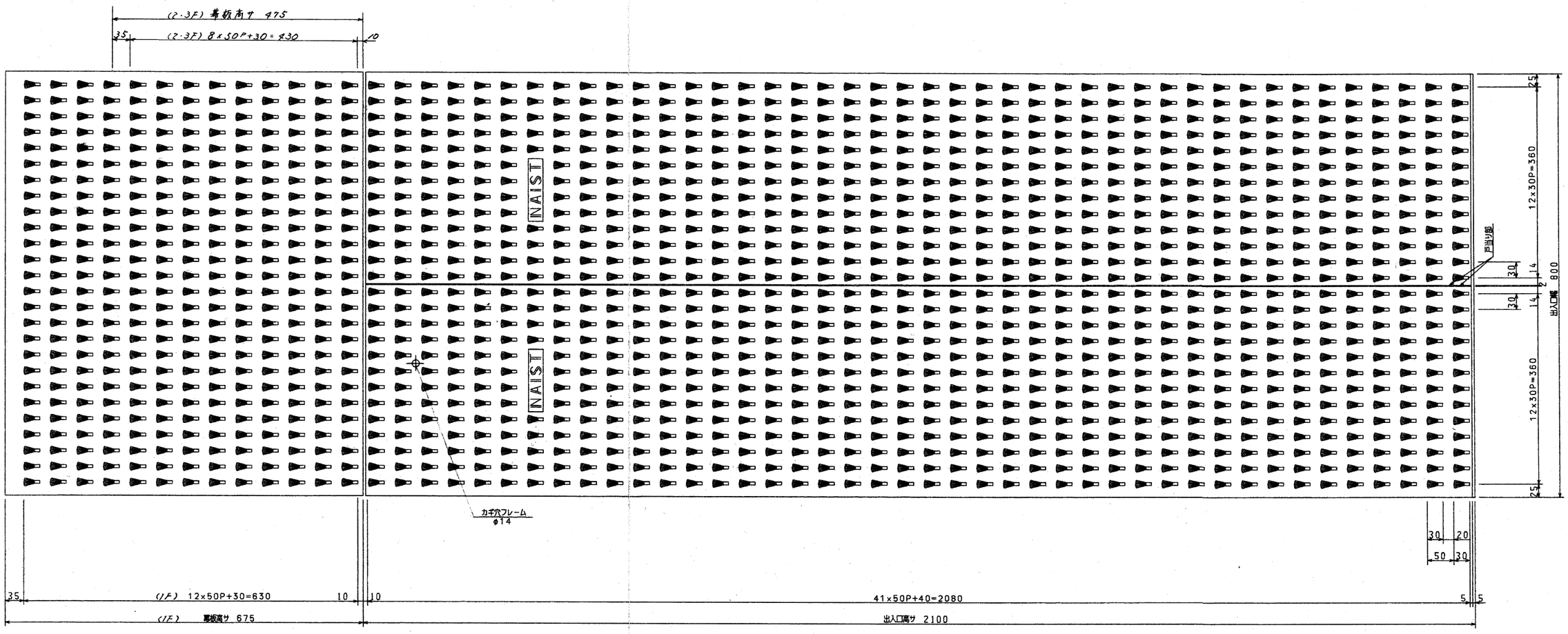


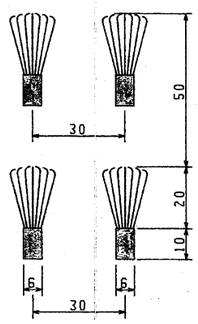
正面図 S=1/40



敷居ブロック部詳細図 S=1/4

訂正 令和 年 月 日	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称 事務局棟 昇降機設備 出入口意匠図（改修）	縮尺 1/4 1/8 1/40 / 図面番号 EV－6





項　目	内　容
エッチング部（凹部）	■を示す
凸　部	白色部を示す
NAIST	文字　黄色

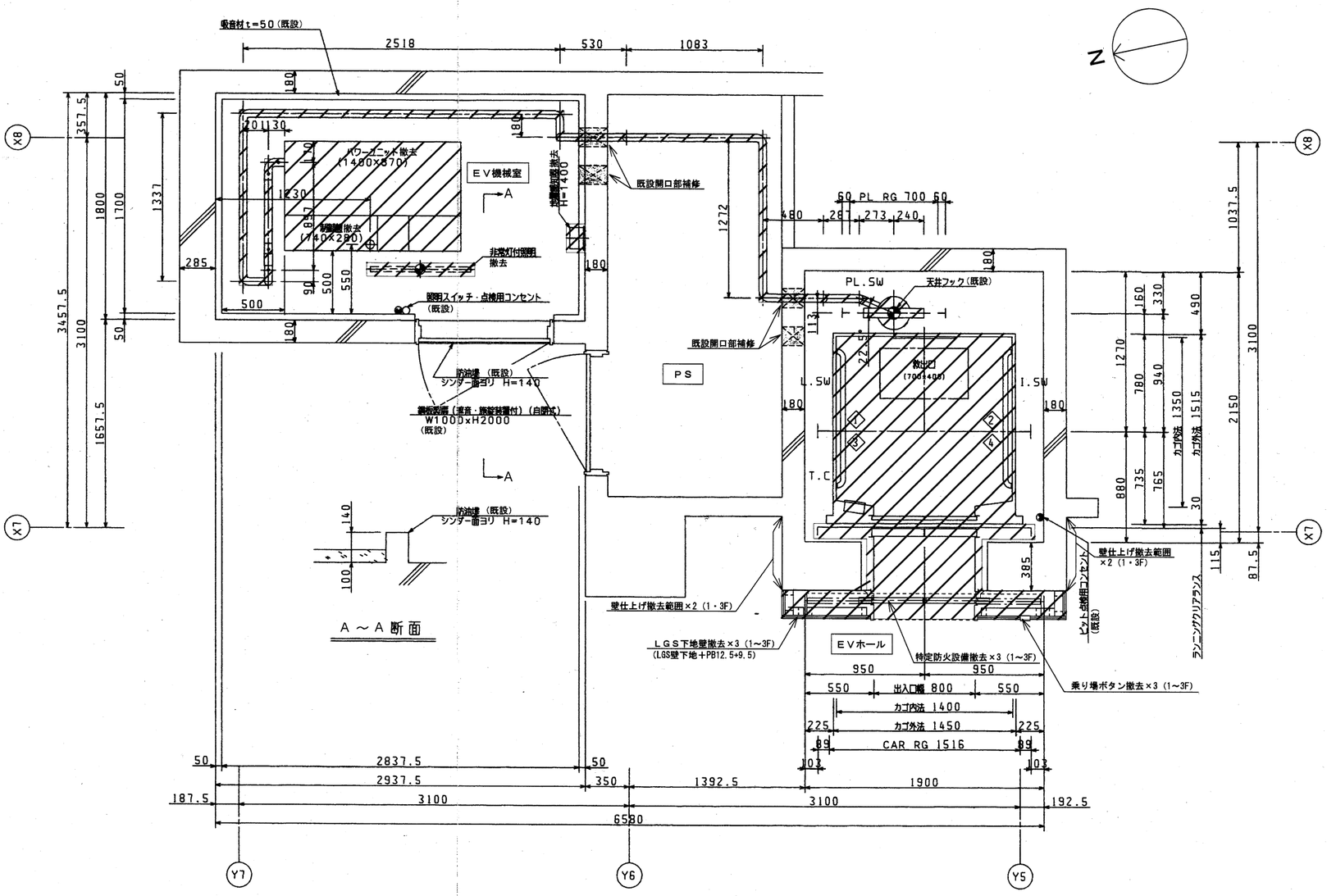
訂正　令和　年　月　日	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称：事務局棟　昇降機設備 ドア・エッチング割付意匠図（改修）	縮尺：1/8　図面番号：EV−7

注記

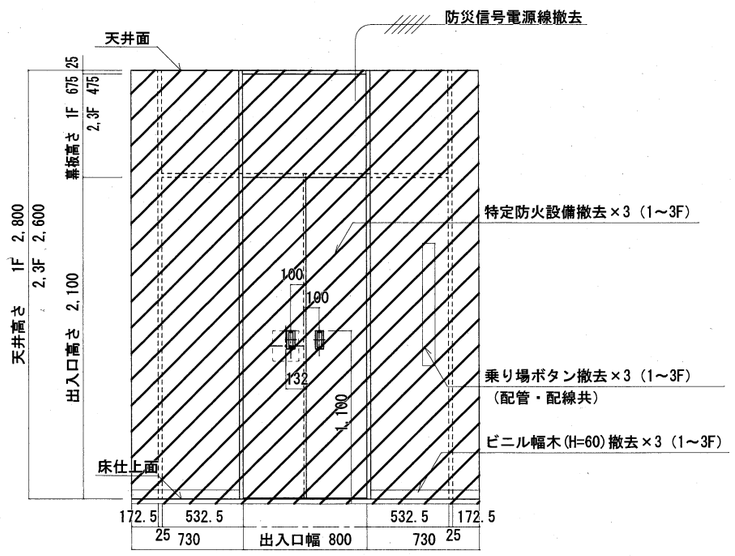
1．▨ は撤去範囲を示す。

2．撤去に伴う撤去跡はモルタル等で補修を行い、内装仕上げは下記リストの仕様に合わせること。（１～３階ＥＶホールの内装仕上げは図面番号ＥＶ－４に記載）

室　名	床	巾　木	壁	天　井
１階ＥＶ機械室	コンクリートこて仕上Ａ種下地ＦＩＰ－Ⅱ（屋内用床面塗料）	ＦＩＰ－Ⅱ（屋内用床面塗料）	コンクリートこて仕上Ｂ種	コンクリートこて仕上Ｂ種



昇降路、ＥＶ機械室　平面図　S=1/40

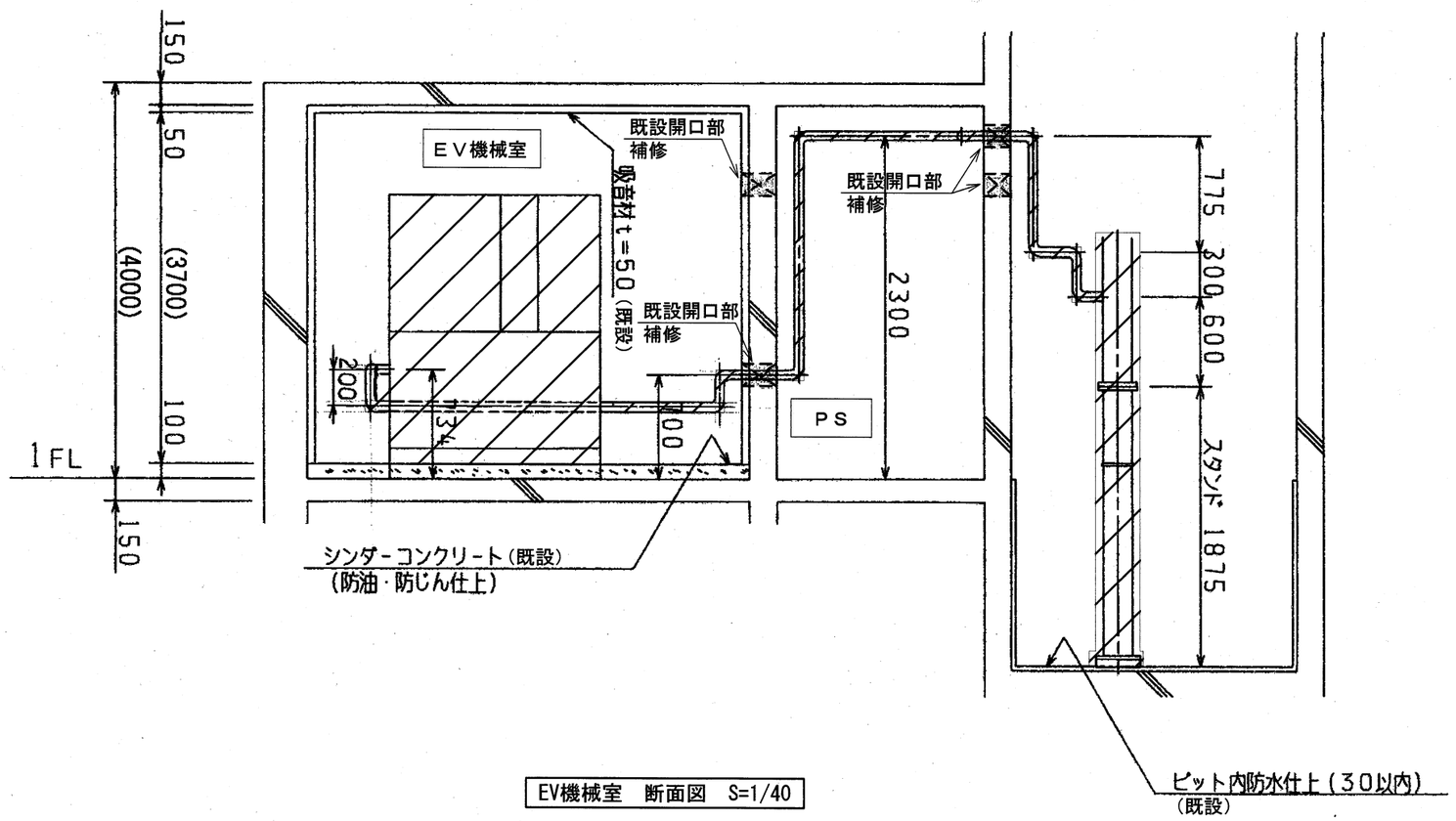


出入口正面図　S=1/40

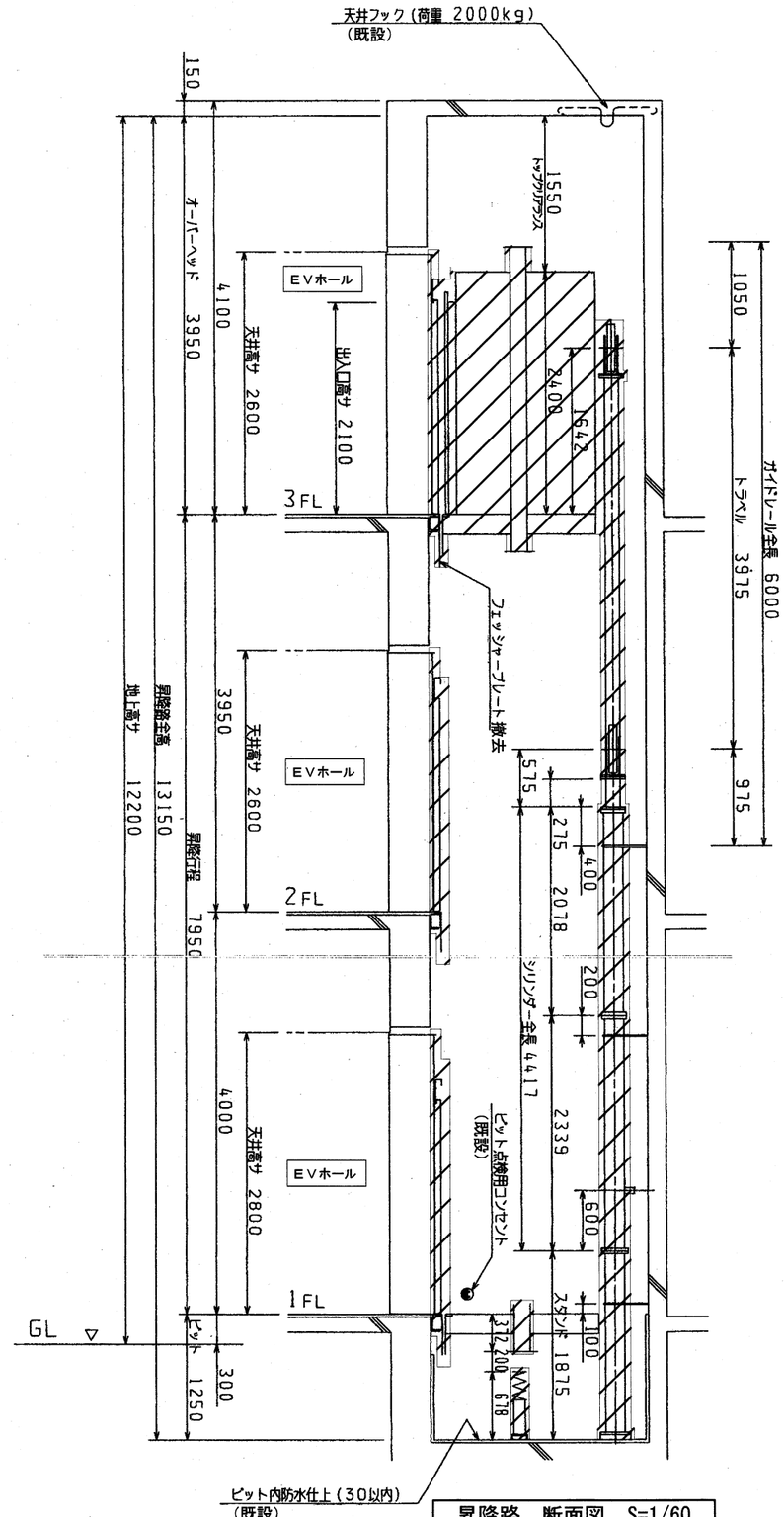
訂正　令和　年　月　日	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称：事務局棟　昇降機設備 昇降路・ＥＶ機械室平面図（撤去）	縮尺 1/40 / 図面番号 ＥＶ－8

注記

1. ▨ は撤去範囲を示す。



EV機械室　断面図　S=1/40



昇降路　断面図　S=1/60

訂正 令和 年 月 日		国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
		課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
			図面名称 事務局棟　昇降機設備 昇降路・ＥＶ機械室断面図（撤去）	縮尺 1/40 1/60 / 図面番号 EV−9

凡例

記　号	名　称	備　考
―・・―	天井内ケーブルころがし配線	
―・・・―	ケーブルラック配線	
――――	打込配管（配線）	
-------	露出配管（配線）	
⊠A	プルボックス　150x150x150　鋼板製	
⊠B	プルボックス　500x500x200　鋼板製	
⊗	アウトレットボックス	
―■―	ダイヤモンドカッター貫通補修	防火区画貫通処理共
―□―	既設開口補修	防火区画貫通処理共
S	引込開閉器盤	
◢	分電盤	
⧗	ＥＶ制御盤	
⊛	盤送り記号（＊は回路番号）	1φ100V回路
◇＊	盤送り記号（＊は回路番号）	3φ200V回路

分電盤表（一部抜粋）

盤名称	回路番号	電圧	開閉器	負荷容量（W）	負荷名称	備考
低圧動力盤No.1-1（事務局）（既設）	C	200v	MCCB3P3E 100/100	改修後: 4,000 改修前:22,500	ＥＶ制御盤	
LJ-1AA（既設）	44	100v	MCCB2P1E 50/20	改修後: 1,500 改修前: 1,000	コンセント ＥＶ	
	49	100v	ELCB2P2E 50/20	既設　:　480	コンセント ピット	
	52	100v	MCCB2P1E 50/20	既設　: 1,000	コンセント 倉庫・ＥＶ機械室	

引込開閉器盤表（新設）

盤名称 設置場所 盤形状	幹線番号	主幹・結線サイズ	負荷名称					開閉器		備考
			回路番号	名称	電源 相	電源 V	容量（W）	遮断器 種別	遮断器 AF/AT	
EVJ-1（新設） 1階EPS 屋内壁掛型	低圧動力盤No.1-1（事務局）（既設） C	AC3φ3W 100/100 CVT14□E5.5□x2 5.5□ 5.5□ ED ED (ELB)	A	ＥＶ制御盤	3	200	4,000	ELCB	3P 100/30	

注記

1. 漏電遮断器は、感知電流100mA、動作時間0.5秒以内、インバータ適用品とする。

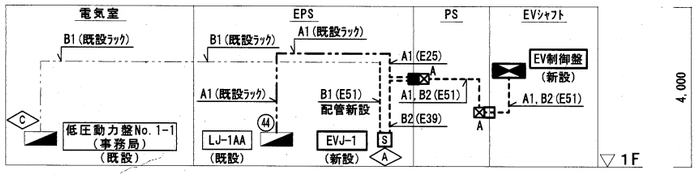
注記（改修）

1. 本図中 太線は新設、細線は既設を示す。

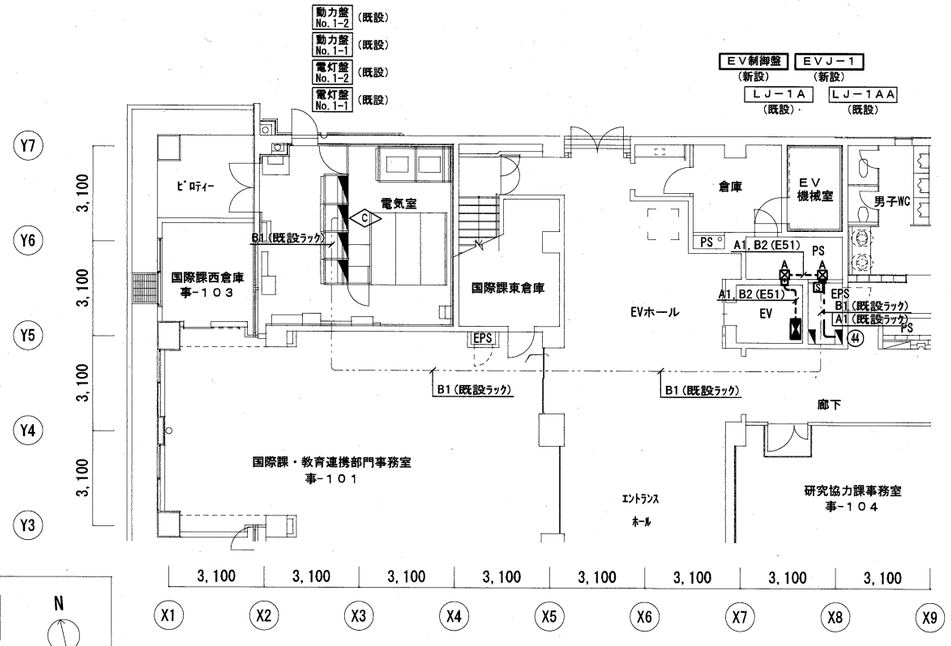
2. 特記なき配線は下記とする。

（電灯設備）
A1　EM-CE3.5□-3C　（新設）

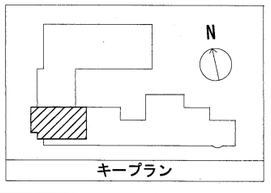
（動力設備）
B1　CVT14□E5.5□x2　（既設）
B2　EM-CE8.0□-3C E5.5□x2（新設）



系統図（改修）　S=NON



1階平面図（改修）　S=1/200



キープラン

注記（撤去）

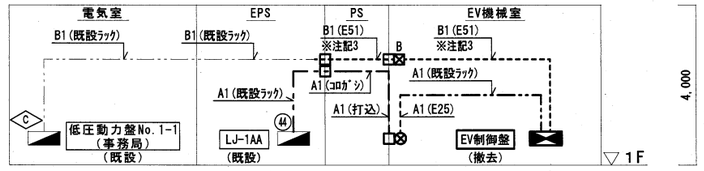
1. 本図中 太線は新設、細線は撤去を示す。
　但し、打込み配管については配線のみ撤去とする。

2. 特記なき配線は下記とする。

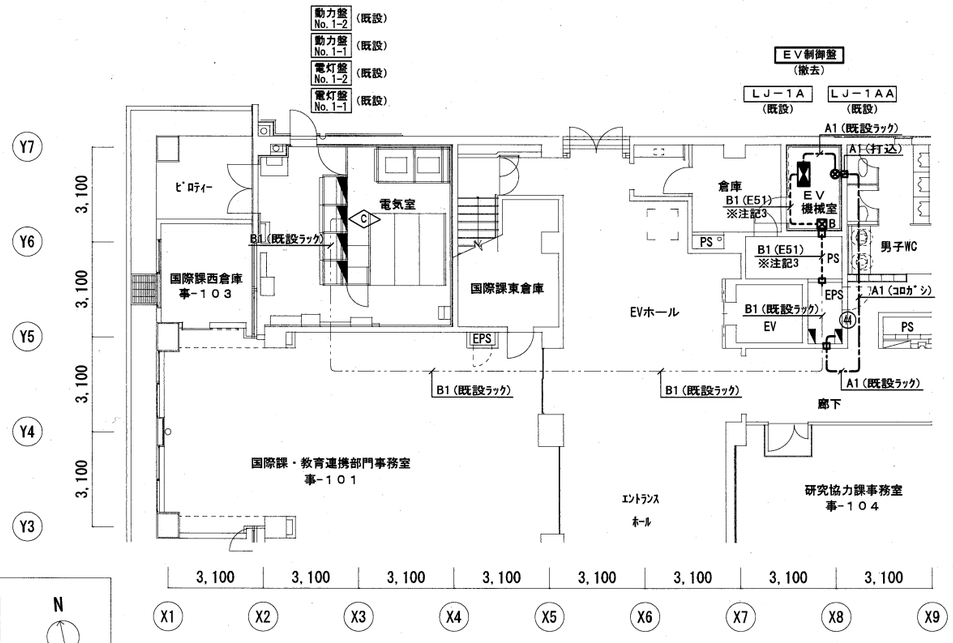
（電灯設備）
A1　VVF2.0-3C

（動力設備）
B1　CVT14□E5.5□x2

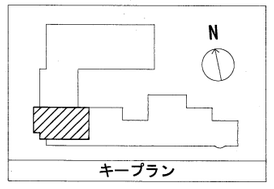
3. 動力設備の配管は撤去(PS～EV制御盤まで)を行い、配線は
　EPSまで引抜き後、新設引込開閉器盤まで既設再使用とする。



系統図（撤去）　S=NON



1階平面図（撤去）　S=1/200



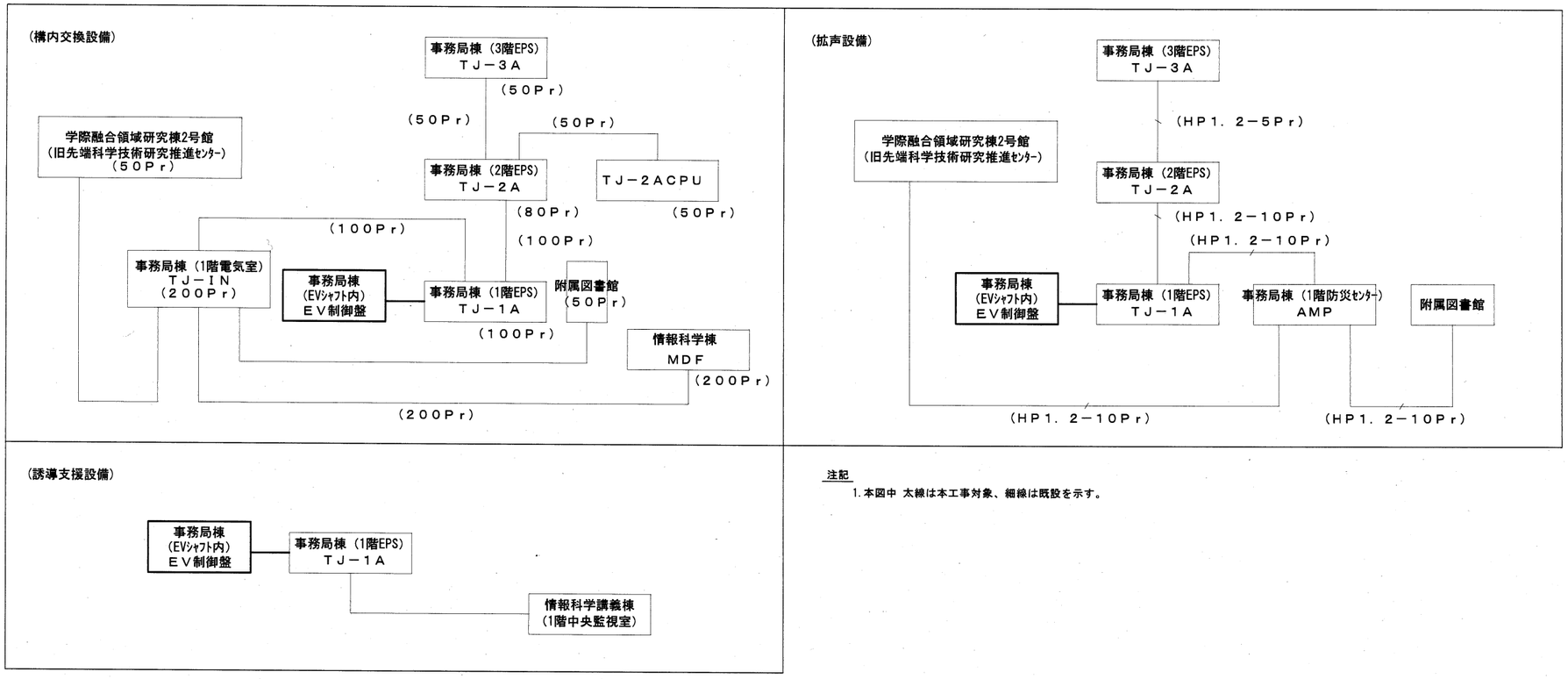
キープラン

訂正　令和　年　月　日	

国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学				工事名	年度
課長	課長補佐	係長	担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
久保				図面名称：事務局棟　電灯・動力設備 凡例、分電盤表、系統図、１階平面図（改修・撤去）	縮尺 1/200　図面番号 EV-10

凡例

記　号	名　　称	備　　考
―・・―	天井内ケーブルころがし配線	
―・・―	ケーブルラック配線	
――――	打込配管（配線）	
-------	露出配管（配線）	
	立上り・素通し・引下げ	
A	プルボックス　150x150x150　鋼板製	
	アウトレットボックス	
	ダイヤモンドカッター貫通補修	防火区画貫通処理共
	既設開口補修	防火区画貫通処理共
	ＥＶ制御盤	
	電話端子盤	
	火災受信機	
M	主中継器盤	
	Ｒ型中継器盤	
	機器収納箱	
t	インターホン子機	
ER D	自動開閉装置（防火戸）	
S	煙感知器（光電式3種　露出）	
S	煙感知器（光電式2種　点検BOX付）	
CR	非接触式カードリーダー	
―・―・―	警戒区域線	
No EV	警戒区域番号（自火報用）	
No D	動作番号表示（防火戸用）	



注記
1. 本図中 太線は本工事対象、細線は既設を示す。

弱電設備ブロック系統図　S=NON

火災報知設備改修概要

1．既設自動開閉装置の撤去を行い、新たにＲ型中継器収容盤から火災信号を取出すものとする。
・既設 中継器盤改修（防排煙中継器 1個新設）
・既設 火災受信機、防災画面図 データ変更
上記に伴う結線処理、回路調整

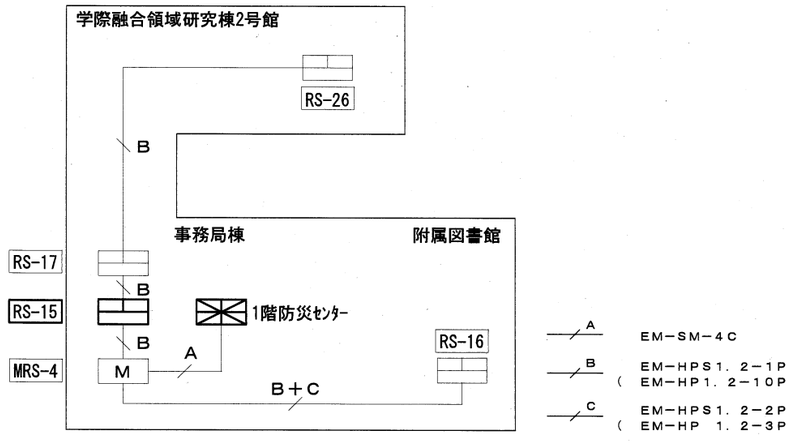
※既設自動火災報知設備 製造メーカー：ニッタン株式会社

2．既設機器の仕様は下記による。
A）ＧＲ型受信盤（既設：ＲＸＮ－８０１）
1）形式　複合ＧＲ型 受信機 分散方式
自立型 蓄積式 アナログ式 自動試験機能付き
2）電源　ＡＣ・ＧＣ１００Ｖ 予備電源内蔵
3）系統数　１６系統４０８０アドレス
B）主中継器盤
1）形式　自立型
2）電源　ＡＣ・ＧＣ１００Ｖ 予備電源内蔵
3）系統数　４系統１０２０アドレス

中継器盤点数表

主中継器盤名称	中継器盤名称	設置場所		実装アドレス（使用アドレス） 火報［連動用含］	ガス漏れ	防排煙［警報含］
MRS-4	RS-15	事務局棟	1階電気室	24(20)	4(1)	8(8)
	RS-16	附属図書館	1階EPS	20(18)	---	16(15)
	RS-17	学際融合領域研究棟2号館（旧先端科学技術研究調査ｾﾝﾀｰ）	1階電気室	12(12)	4(4)	4(4)
	RS-26	学際融合領域研究棟2号館（旧ﾍﾞﾝﾁｬｰ・ﾋﾞｼﾞﾈｽ・ﾗﾎﾞﾗﾄﾘｰ）	1階EPS	8(7)	8(6)	4(3)

注記
1. 本図中 太線は本工事対象、細線は既設を示す。



火災報知設備ブロック系統図　S=NON

訂正　令和　年　月　日	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称：事務局棟　弱電・火災報知設備 凡例、ブロック系統図	縮尺：－　図面番号：ＥＶ－１１

注記（改修）

1. 本図中 太線は新設、細線は既設を示す。

2. 特記なき配線は下記とする。

（構内交換設備）

a1　電話　：EM-EBT 0.65-2C　（新設）

（拡声設備）

b1　非常放送：EM-HP 1.2-3C　（新設）

（誘導支援設備）

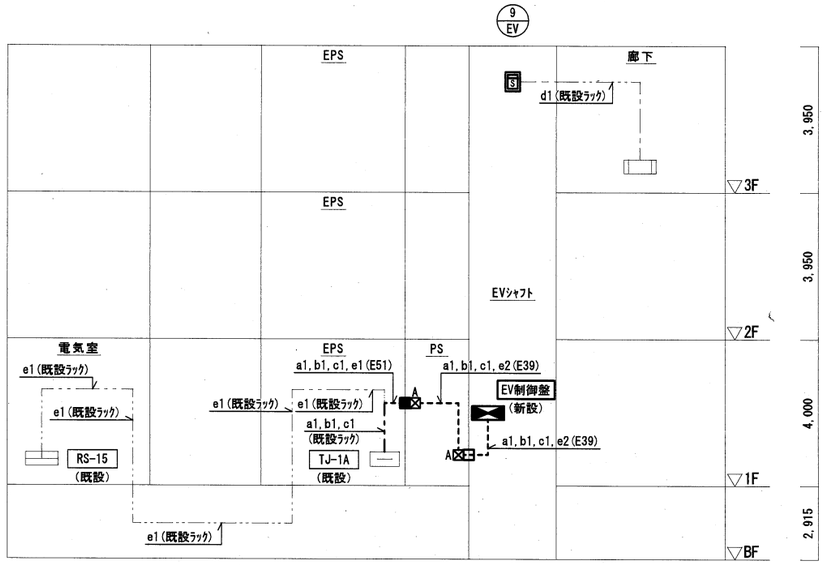
c1　EVｲﾝﾀｰﾎﾝ：EM-FCPEE 0.9-10P（新設）

（火災報知設備）

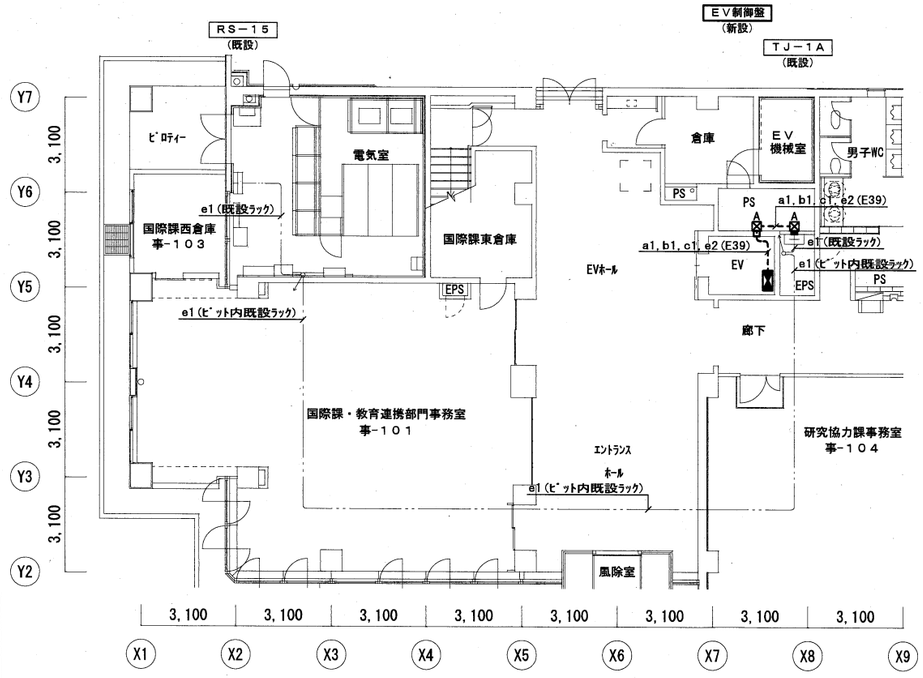
d1　煙感知　：AE 0.9-4C　（既設）

e1　火災管制：EM-HP 1.2-5P　（既設）

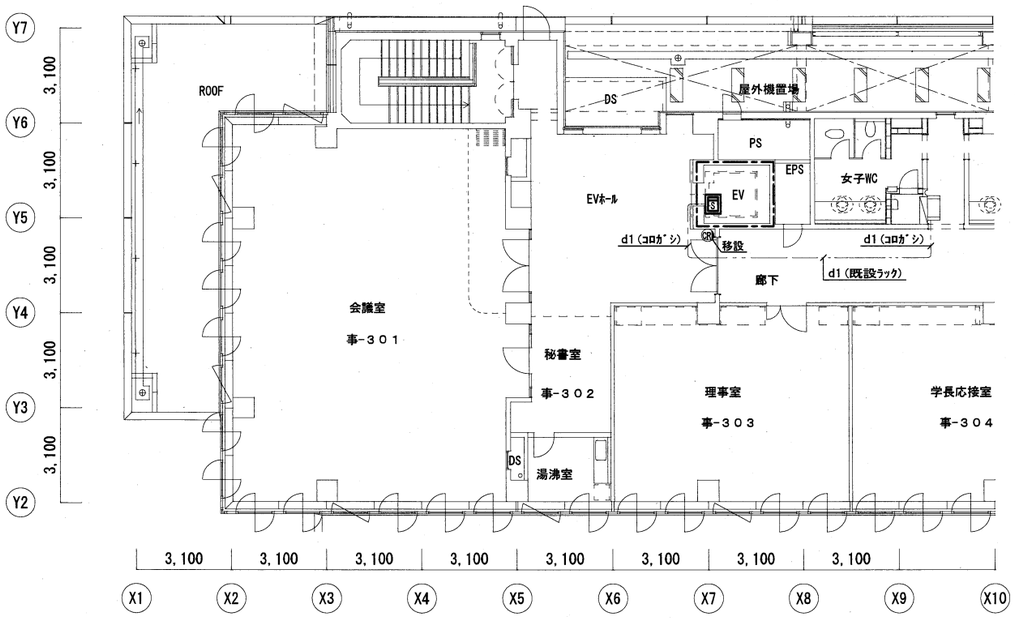
e2　火災管制：EM-HP 1.2-2C　（新設）



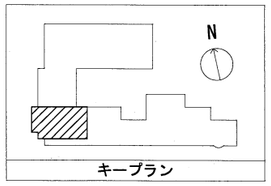
系統図（改修）　S=NON



1階平面図（改修）　S=1/200



3階平面図（改修）　S=1/200



キープラン

訂正　令和　年　月　日	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称：事務局棟　弱電・火災報知設備 系統図、１・３階平面図（改修）	縮尺：1/200　図面番号：EV－12

注記（撤去）

1. 本図中 太線は新設、細線は撤去を示す。
   但し、打込み配管については配線のみ撤去とする。

2. 特記なき配線は下記とする。

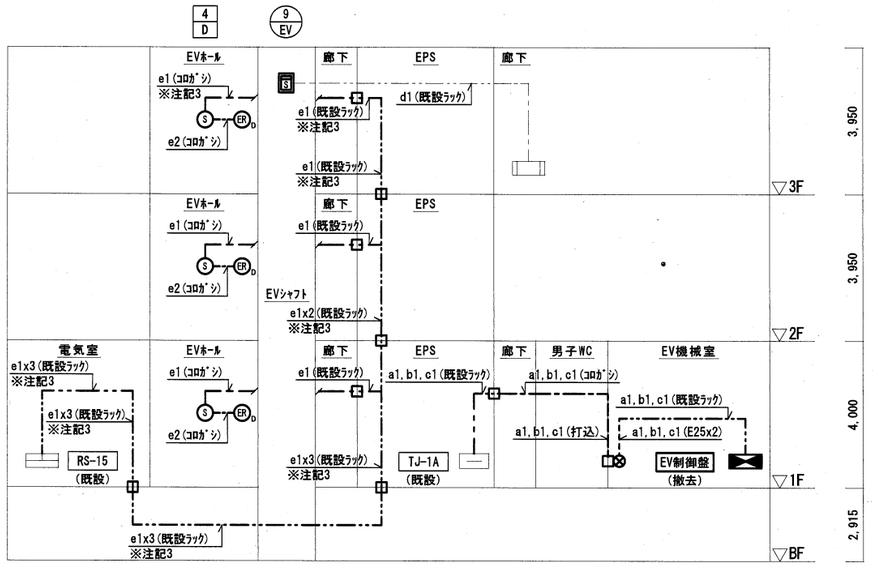
（構内交換設備）
- a1　電話　：FCT 0.65-2P

（拡声設備）
- b1　非常放送：EM-HP 1.2-3C

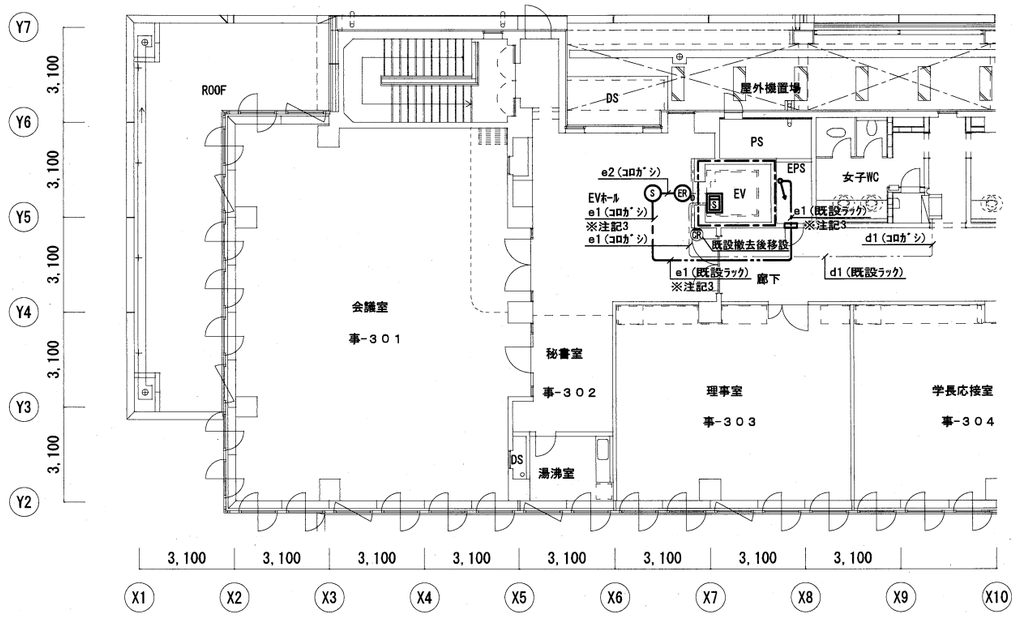
（誘導支援設備）
- c1　EVｲﾝﾀｰﾎﾝ：CPEV 0.9-5P

（火災報知設備）
- d1　煙感知　：AE 0.9-4C
- e1　防火戸　：EM-HP 1.2-5P
- e2　防火戸　：EM-HP 1.2-3C

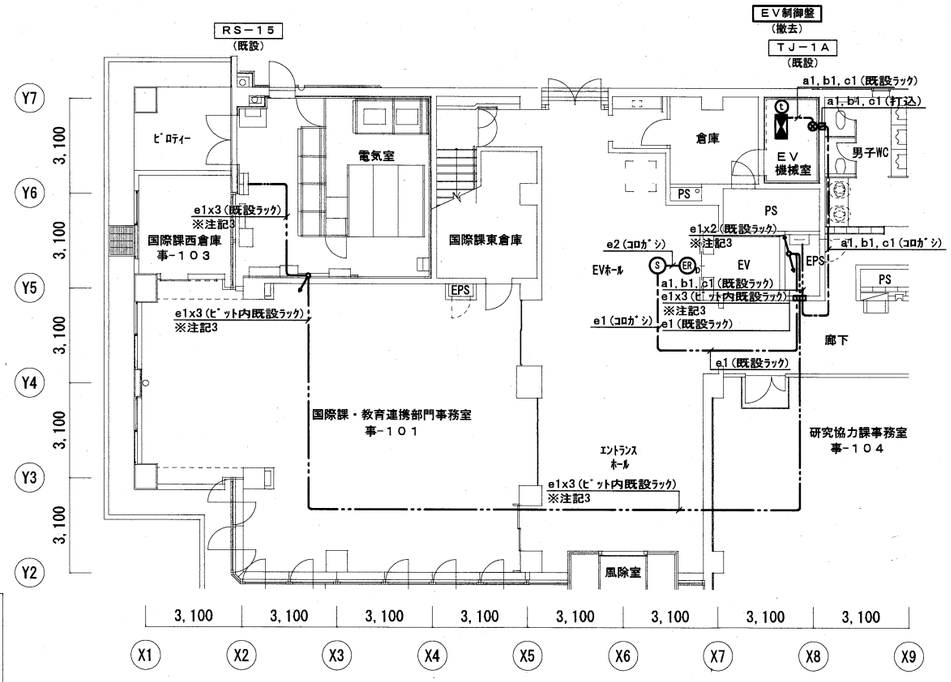
3. 防火戸用の配線は1・2階系統を撤去し、3階系統は1階EPSまで引抜き後、PS内の新設プルボックスまで既設再使用とする。



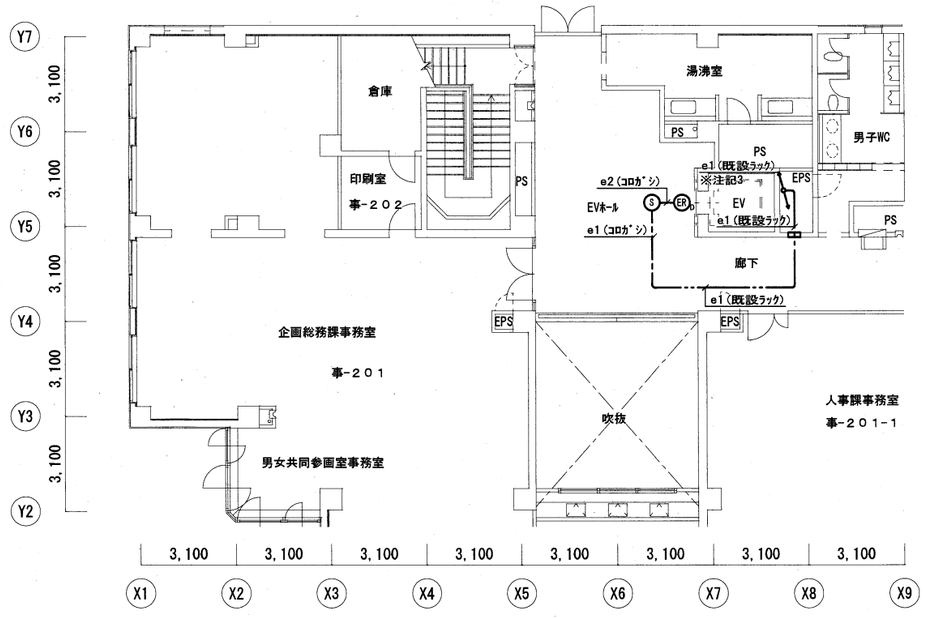
系統図（撤去）　S=NON



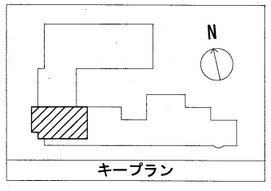
３階平面図（撤去）　S=1/200



１階平面図（撤去）　S=1/200



２階平面図（撤去）　S=1/200



キープラン

訂正	令和　年　月　日

国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学

課長	課長補佐	係長	担当者

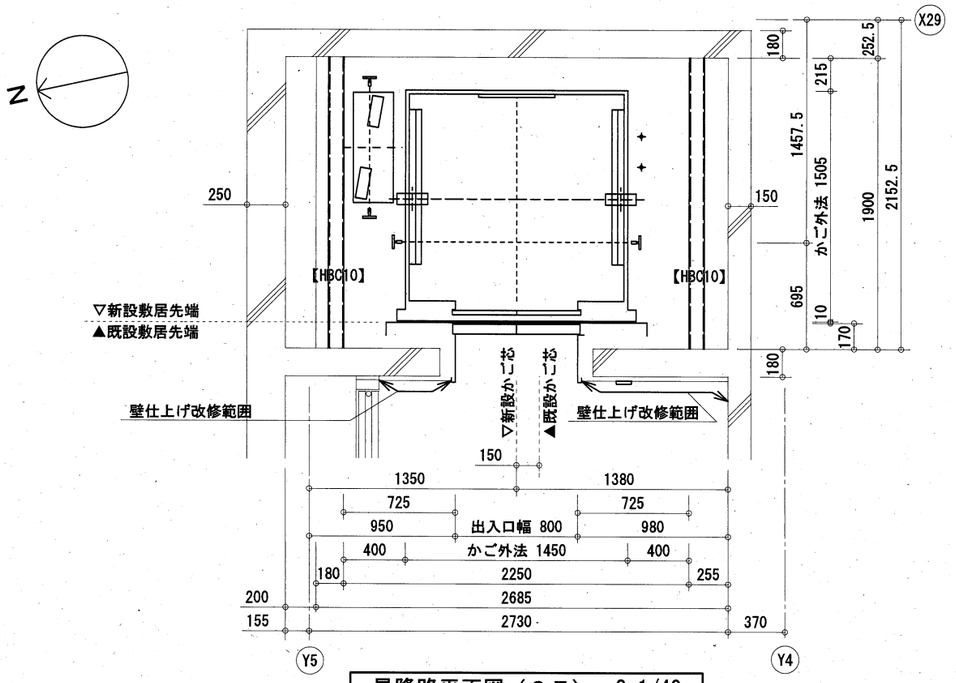
工事名：奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事

図面名称：事務局棟　弱電・火災報知設備
系統図、１～３階平面図（撤去）

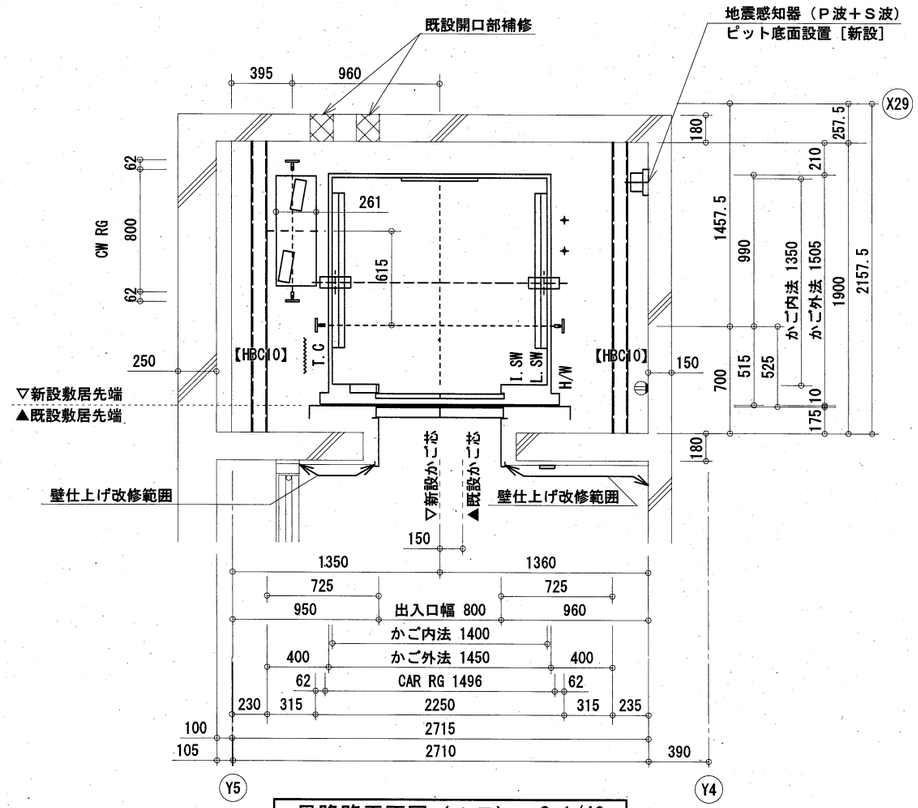
年度：令和５年度

縮尺：1/200

図面番号：EV－13



昇降路平面図（２Ｆ）　S=1/40



昇降路平面図（１Ｆ）　S=1/40

注記

1．本図中 太線は新設、細線は既設を示す。

2．三方枠・敷居等の設置に伴うはつり及び補修は本工事とする。

3．改修に伴う内装仕上げは下記リストの仕様に合わせること。

室　名	床	巾　木	壁	天　井
１階ＥＶホール	特殊ビニル床シート	ビニル巾木	複層塗材Ｅ吹付	着色ロックウール化粧吸音板（リブ付き）
２階ＥＶホール	特殊ビニル床シート	ビニル巾木	複層塗材Ｅ吹付	着色ロックウール化粧吸音板（リブ付き）
３階ＥＶホール	特殊ビニル床シート	ビニル巾木	複層塗材Ｅ吹付	着色ロックウール化粧吸音板

※天井仕上げの[着色ロックウール化粧吸音板]は[ロックウール化粧吸音板＋塗装仕上げ]でも可能とする。

凡例

	ピット点検用コンセント	[既設再使用]
	Ｔ．Ｃ保護金網	[新設]
	電源引込み（制御盤への接続） ・動力、照明、接地線 最上停止階ＦＬ－１，３５０mm　引出長さ　３m	[新設]
	配線引込み ・インターホン配線、電話線 最上停止階ＦＬ－　６５０mm　引出長さ　３m	[新設]

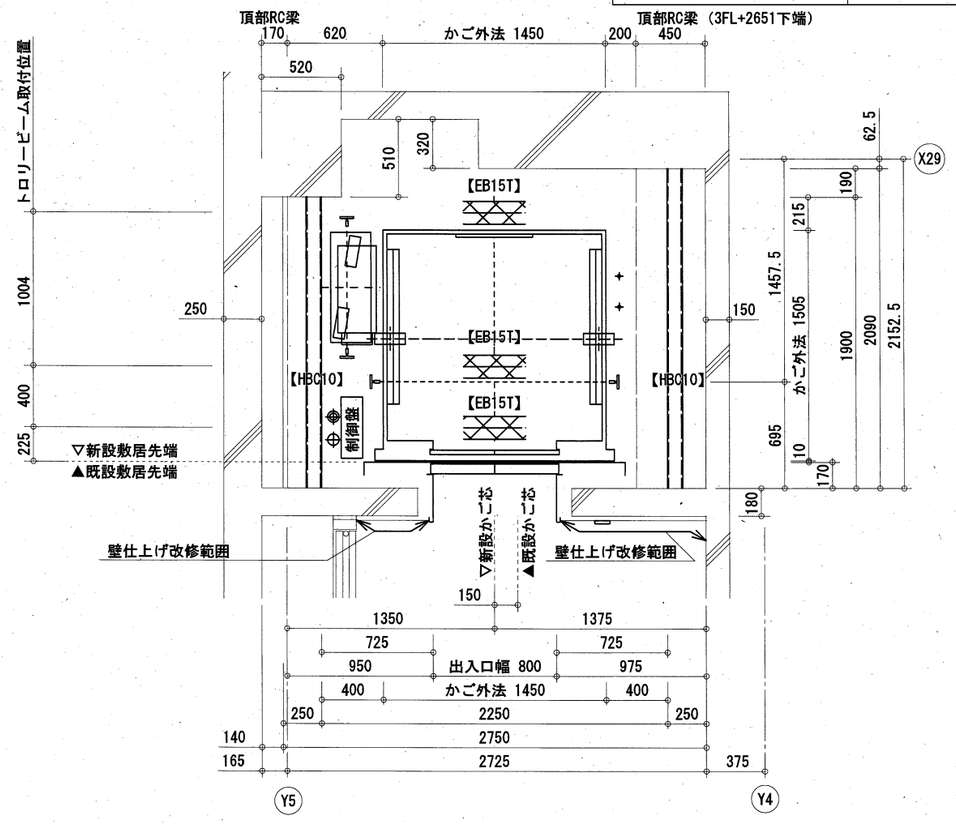
鉄骨部材記号表　[新設]

部材記号	部材用途	部材サイズ
HBC10	中間ビーム	[-100x50x5x7.5
EB15T	トロリービーム	H-150x150x7x10

（１台１回線）

電源設備

号機名		Ｎｏ．１		
電源設備容量	動力	２００Ｖ　４ｋＶＡ		
	照明	１００Ｖ　１．５ｋＶＡ		
最大電流		２１．４A		
動力線サイズ（mm²）		５．５	８	１４
最大引込み距離（m）		７６	１１７	２０４
建屋側ＭＣＣＢ		３０Ａ		
接地線最小サイズ		２　mm²		
インターホン用配線		φ　０．９×　１０本		
電話用配管・配線		φ　１９配管　・電話線　１Ｐ		
ピットコンセント容量		１ｋＶＡ／台		



昇降路平面図（３Ｆ）　S=1/40

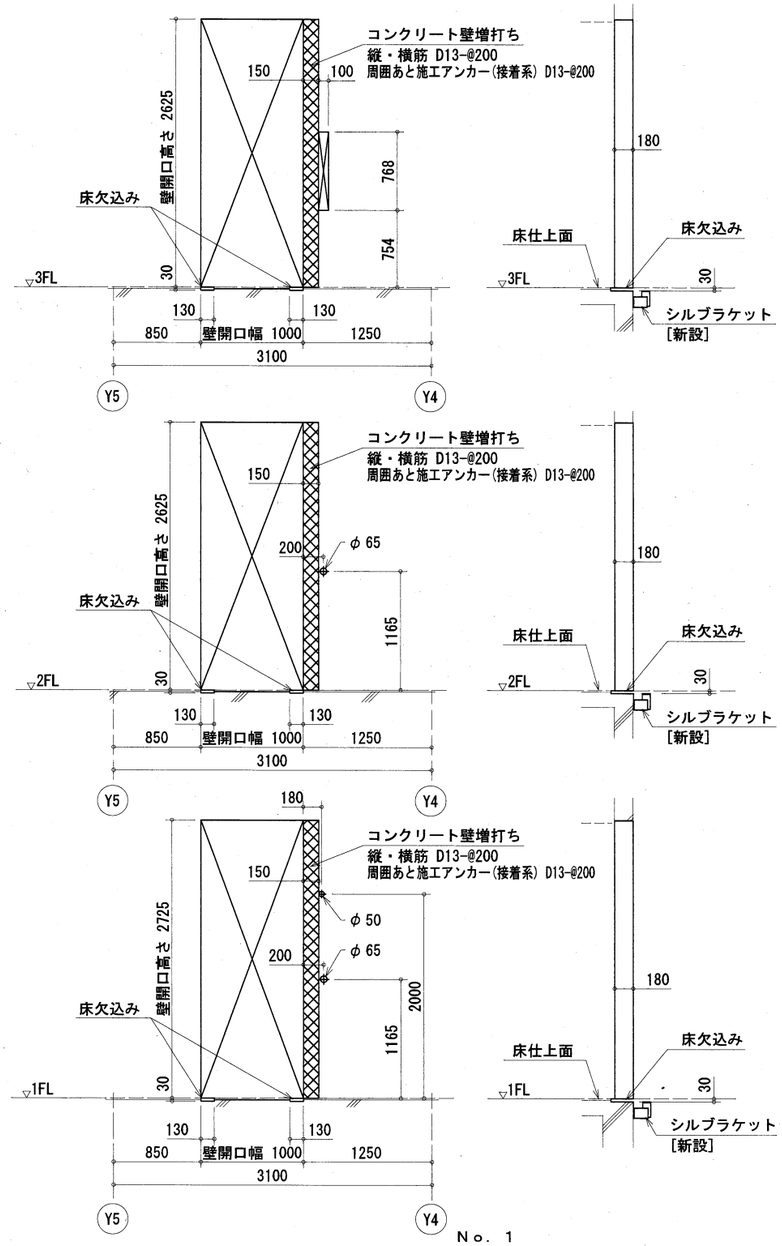
訂正　令和　年　月　日	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称 附属図書館　昇降機設備 昇降路平面図（改修）	縮尺 1/40　図面番号 EV－14

注記

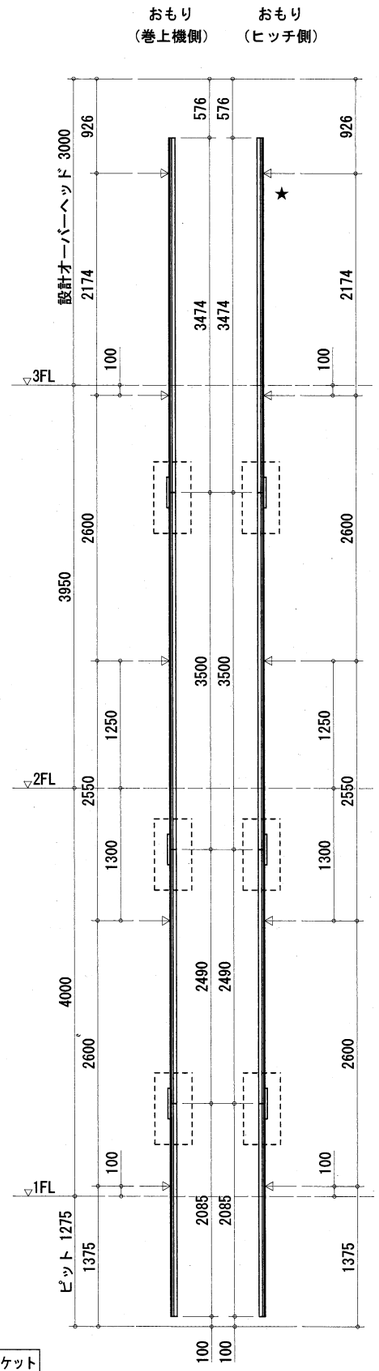
1．本図中 太線は新設、細線は既設を示す。

2．三方枠・敷居等の設置に伴うはつり及び補修は本工事とする。

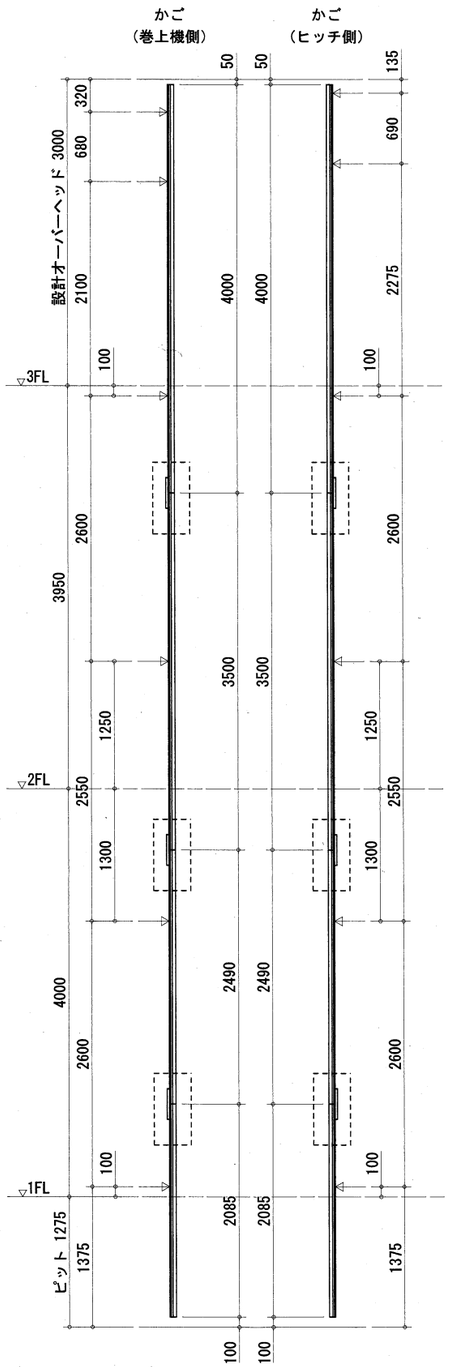
★部は特殊ブラケットを示す。



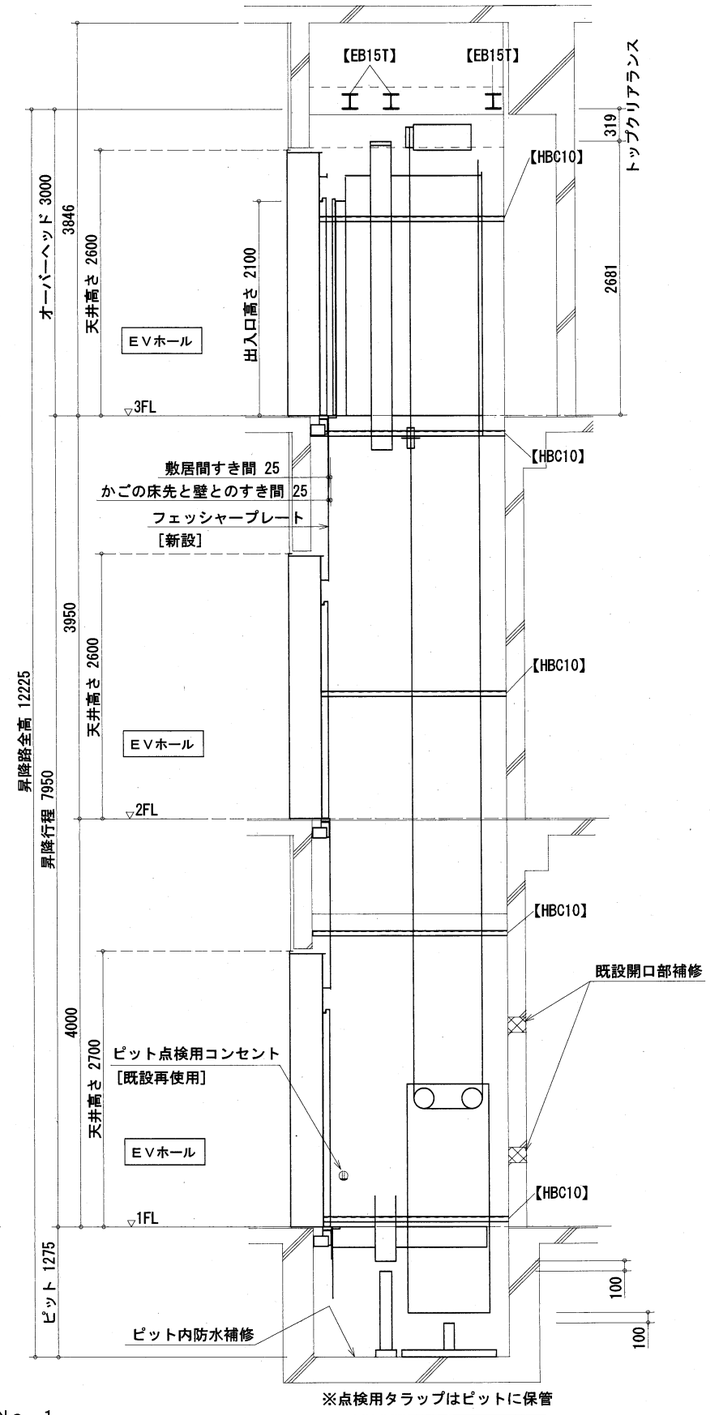
出入口壁穴明図（１～３Ｆ）S=1/60



レール建て図（おもり側）S=1/60



レール建て図（かご側）S=1/60



※点検用タラップはピットに保管

昇降路縦断面図 S=1/60

Ｎｏ．１

	レール支持間隔	レール支持範囲	レールブラケット
かご（ヒッチ側）	2,600	3,060	６カ所
かご（巻上機側）	2,600	3,210	６カ所
おもり（巻上機側）	2,600	3,020	５カ所
おもり（ヒッチ側）	2,600	3,060	５カ所

Ｎｏ．１

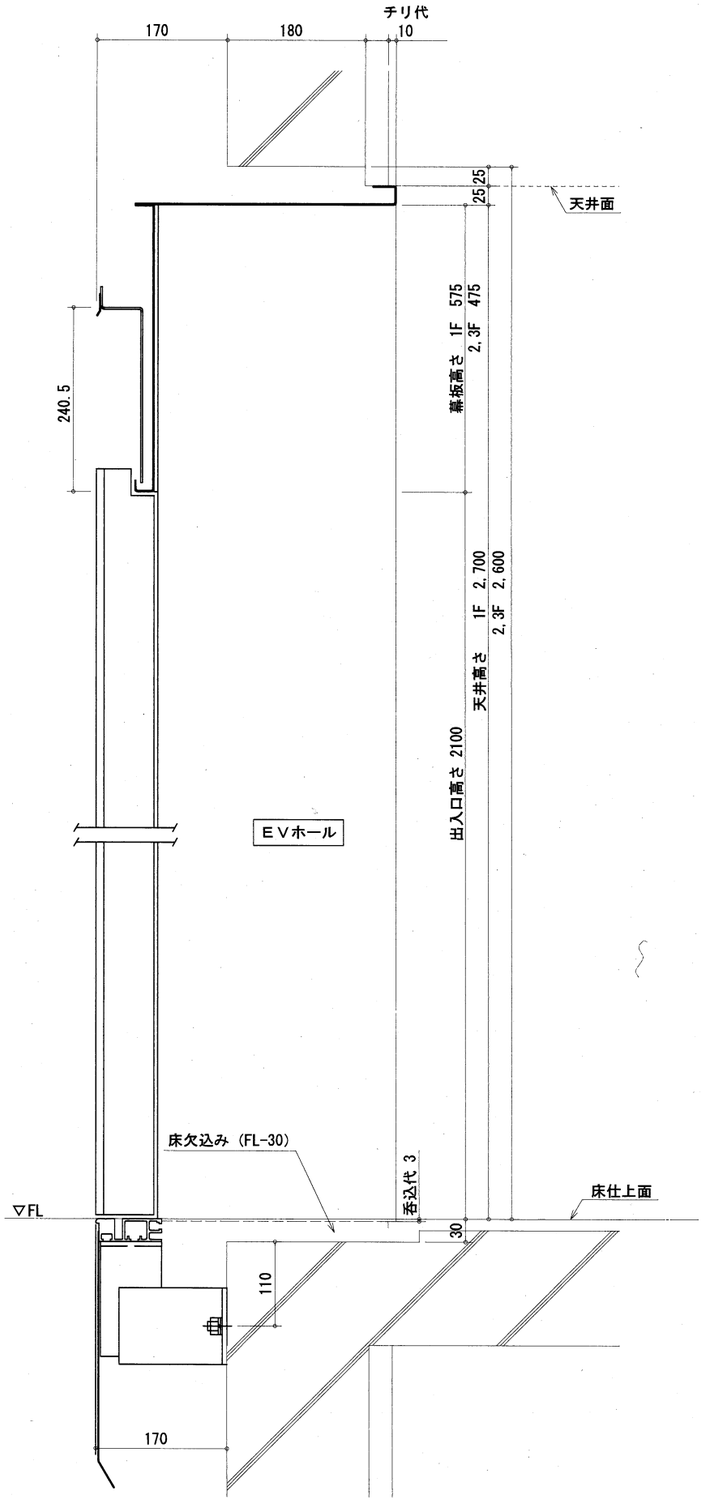
ピット反力		74.80 ｋＮ
ピット衝撃荷重	かご側	63.90 ｋＮ
	Ｃ／Ｗ側	50.90 ｋＮ

訂正 令和 年 月 日	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称 附属図書館 昇降機設備 昇降路縦断面図、レール建て図、出入口穴明図（改修）	縮尺 1/60 / 図面番号 EV－15

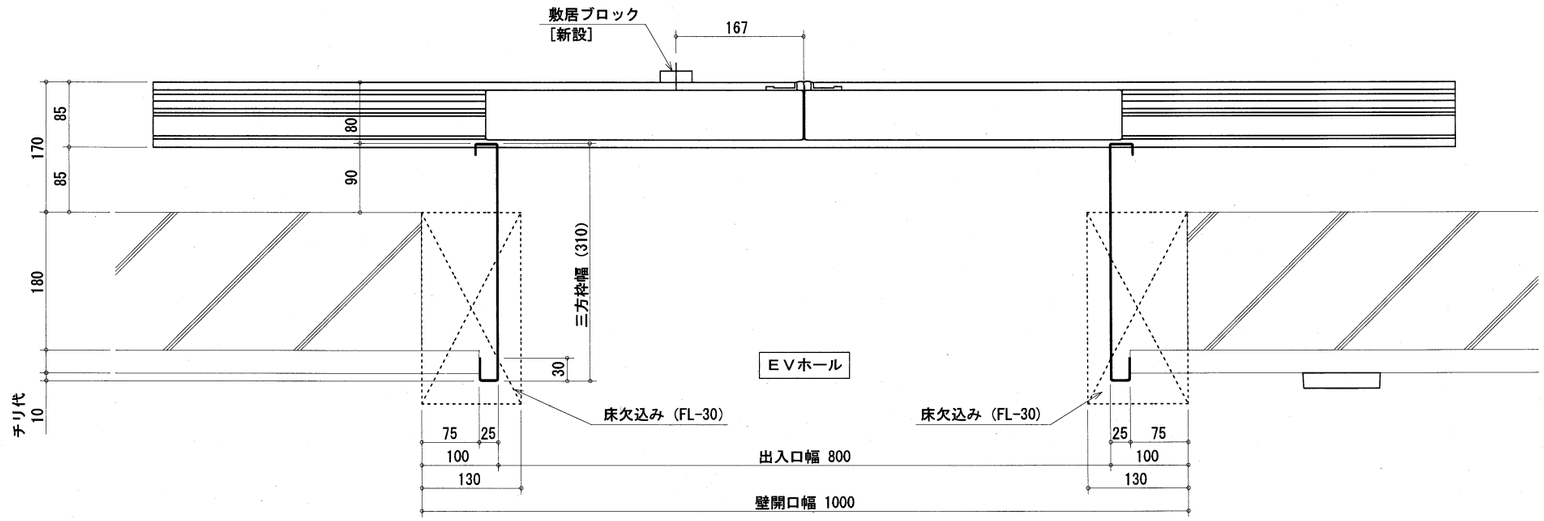
注記

1．本図中 太線は新設、細線は既設を示す。

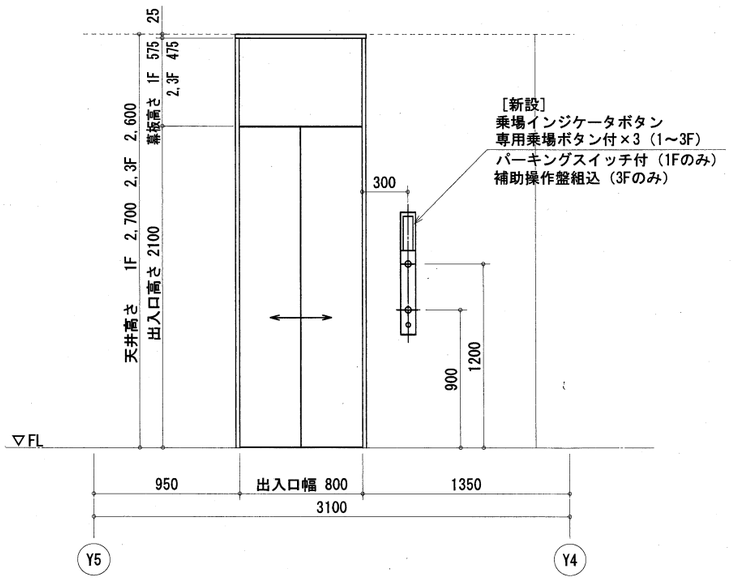
2．三方枠・敷居等の設置に伴うはつり及び補修は本工事とする。



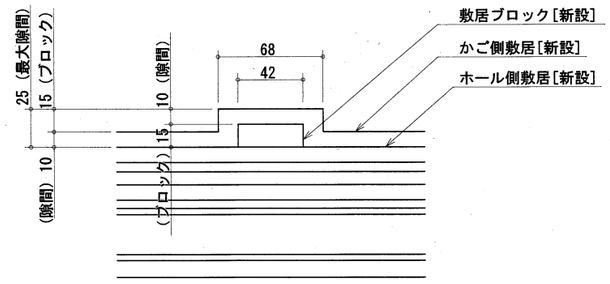
断面図 S=1/8



平面図 S=1/8



正面図 S=1/40



敷居ブロック部詳細図 S=1/4

訂正 令和 年 月 日	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称 附属図書館 昇降機設備 出入口意匠図（改修）	縮尺 1／4 1／8 1／40 / 図面番号 EV－16

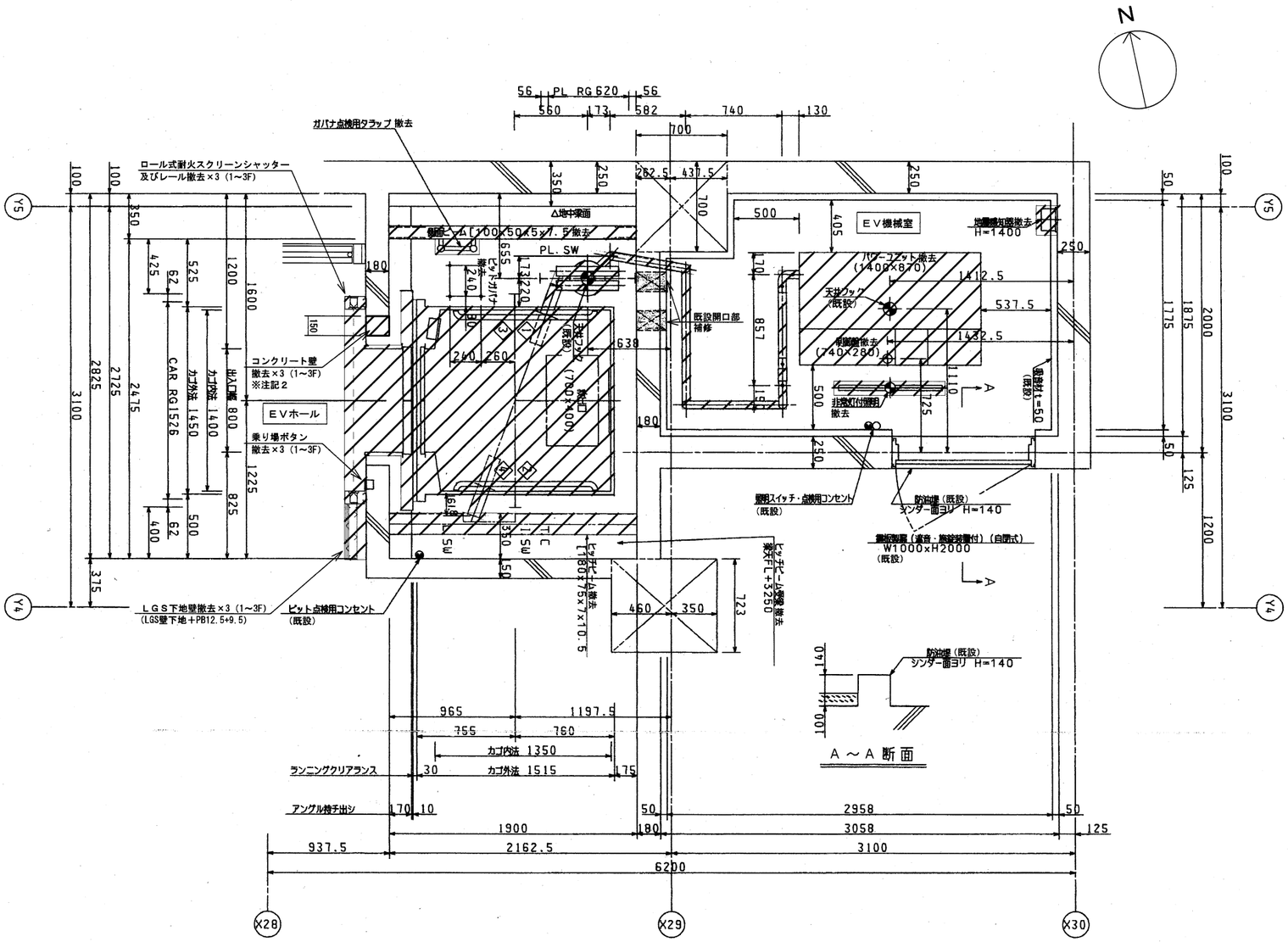
注記

1．▨ は撤去範囲を示す。

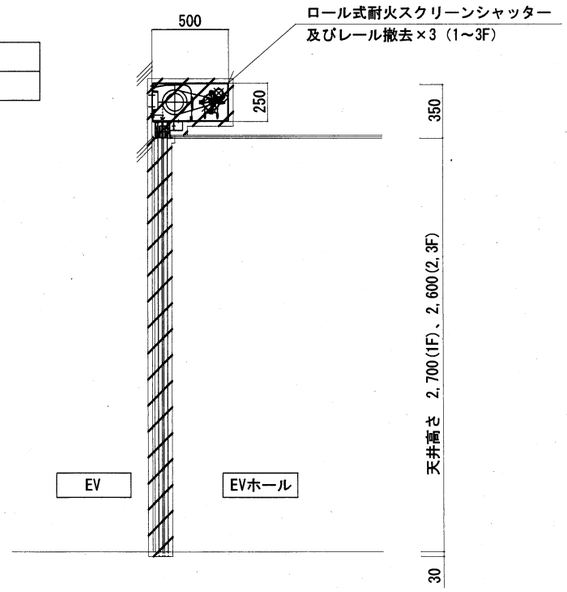
2．既設コンクリート壁撤去後は開口補強を施すこと。

3．撤去に伴う撤去跡はモルタル等で補修を行い、内装仕上げは下記リストの仕様に合わせること。（１～３階ＥＶホールの内装仕上げは図面番号ＥＶ－１４に記載）

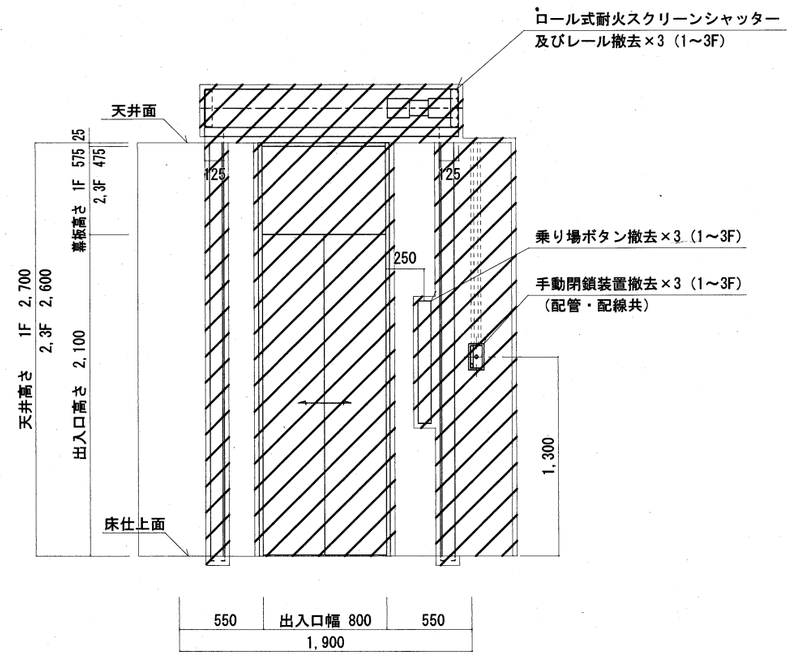
室　名	床	巾　木	壁	天　井
１階ＥＶ機械室	コンクリートこて仕上Ａ種下地ＦＩＰ－Ⅱ（屋内用床面塗料）	ＦＩＰ－Ⅱ（屋内用床面塗料）	コンクリートこて仕上Ｂ種	コンクリートこて仕上Ｂ種



昇降路、ＥＶ機械室　平面図　S=1/40



出入口断面図　S=1/40

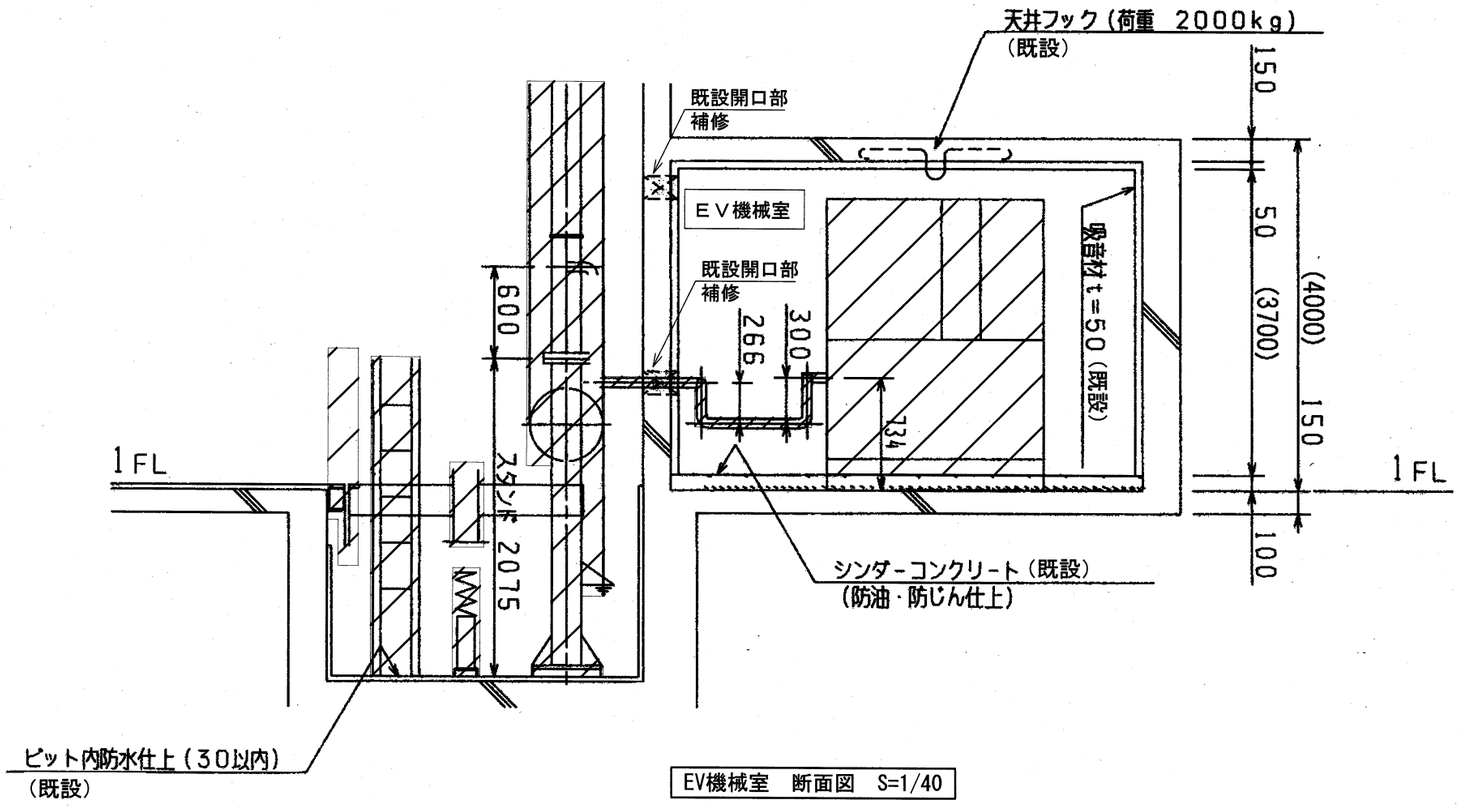


出入口正面図　S=1/40

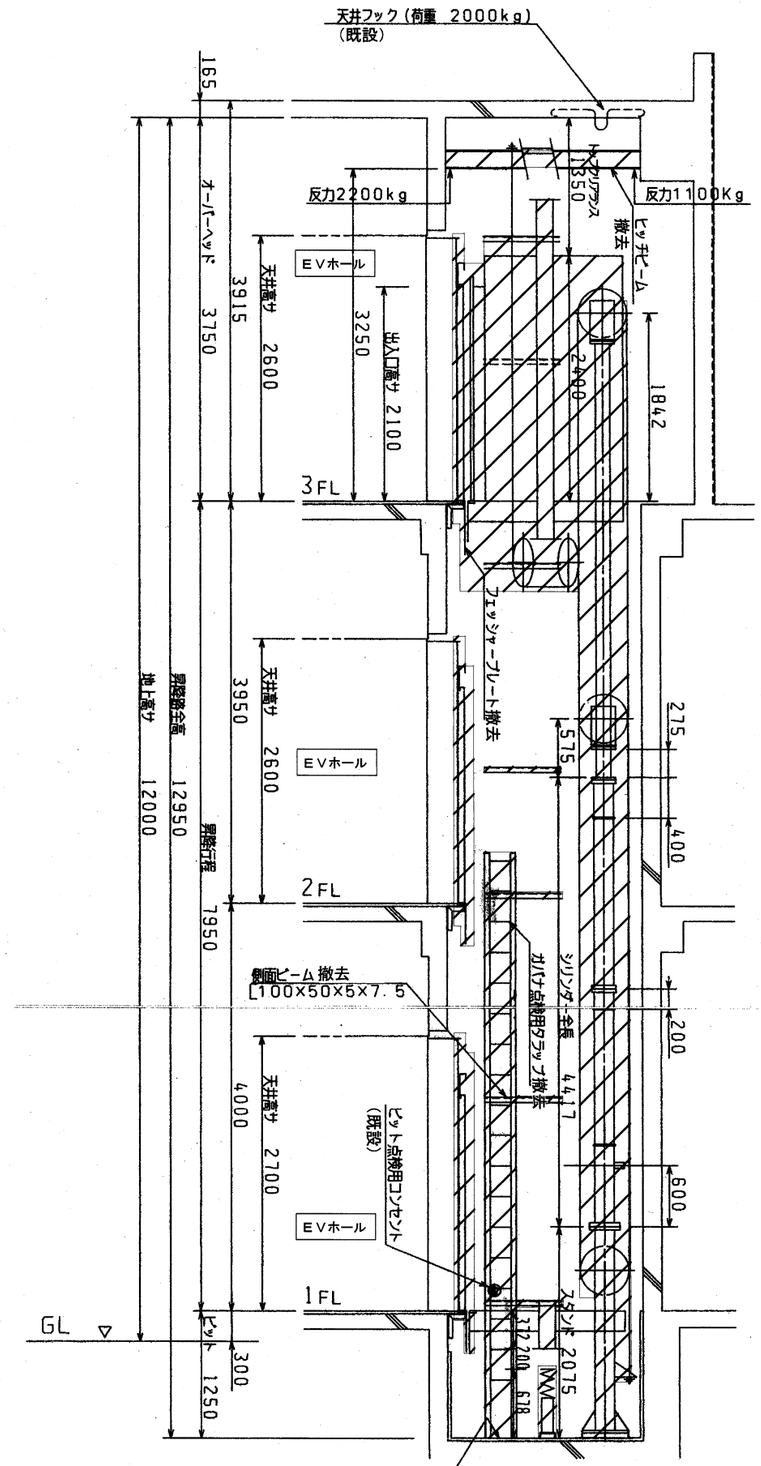
訂正　令和　年　月　日	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称：附属図書館　昇降機設備　昇降路・ＥＶ機械室平面図（撤去）	縮尺 1/40　図面番号 EV－17

注記

1. ▨ は撤去範囲を示す。



EV機械室　断面図　S=1/40



昇降路　断面図　S=1/60

訂正 令和 年 月 日	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称 附属図書館　昇降機設備 昇降路・ＥＶ機械室断面図（撤去）	縮尺 1/40 1/60 / 図面番号 EV－18

凡例

記　号	名　　称	備　　考
―・・―	天井内ケーブルころがし配線	
―・―・―	ケーブルラック配線	
――――	打込配管（配線）	
-------	露出配管（配線）	
⊠A	プルボックス　150x150x150　鋼板製	
―■―	ダイヤモンドカッター貫通補修	防火区画貫通処理共
―□―	既設開口補修	防火区画貫通処理共
Ⓢ	引込開閉器盤	
◢	分電盤	
⧓	ＥＶ制御盤	
⑧	盤送り記号（＊は回路番号）	1φ100V回路
◇＊	盤送り記号（＊は回路番号）	3φ200V回路

分電盤表（一部抜粋）

盤名称	回路番号	電圧	開閉器	負荷容量（W）	負荷名称	備考
低圧動力盤No.2（附属図書館）（既設）	◇D1	200v	MCCB3P3E 100/100	改修後: 4,000 改修前:22,500	ＥＶ制御盤	
LT-1Aa（既設）	⑪	100v	ELCB2P2E 50/20	既設　:　640	コンセント 地下ピット	
	⑫	100v	ELCB2P1E 50/20	既設　:　320	コンセント ＴＶ、階段他	
	㉓	100v	MCCB1P1E 50/20	改修後: 1,500 改修前: 1,000	エレベータ	

引込開閉器盤表（新設）

盤名称 設置場所 盤形状	幹線番号	主幹・結線サイズ	負荷名称 回路番号	負荷名称 名称	電源 相	電源 V	容量（W）	開閉器 遮断器 種別	開閉器 遮断器 AF/AT	備考
EVT-1（新設） 1階EV機械室 屋内壁掛型	低圧動力盤No.2（附属図書館）（既設）	◇D1 AC3φ3W 100/100 CVT60□E5.5□x2 5.5□ 5.5□ Eo Eo (ELB)								
			◇A	ＥＶ制御盤	3	200	4,000	ELCB	3P 100/30	

注記

1. 漏電遮断器は、感知電流100mA、動作時間0.5秒以内、インバータ適用品とする。

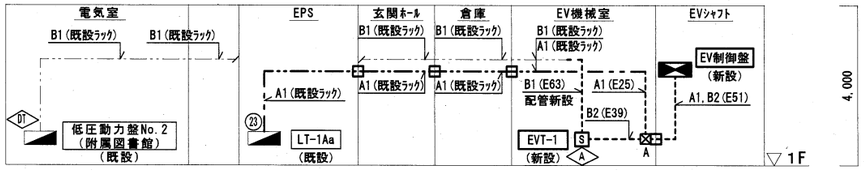
注記（改修）

1. 本図中 太線は新設、細線は既設を示す。

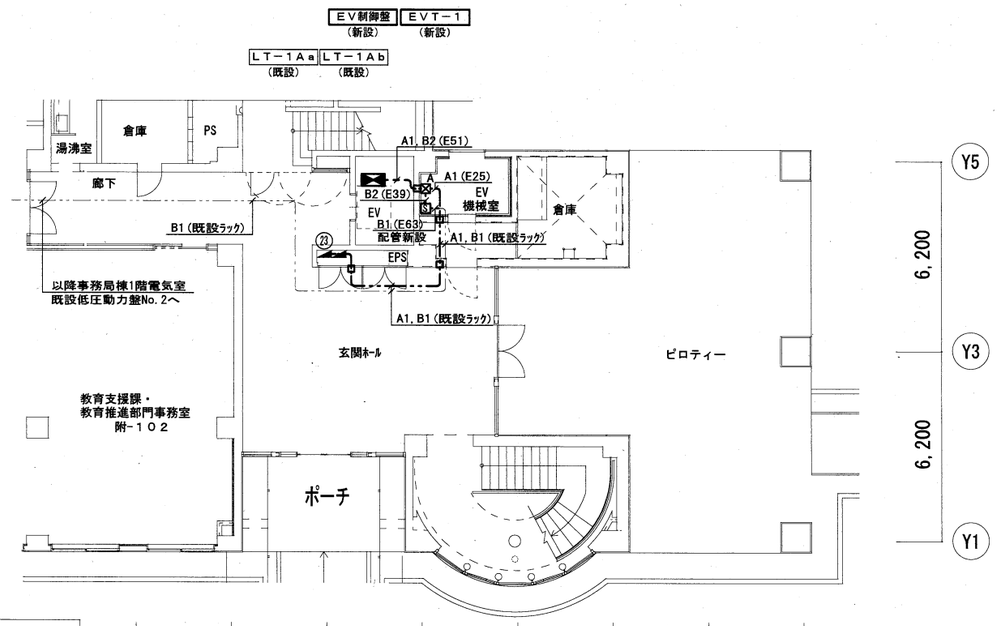
2. 特記なき配線は下記とする。

（電灯設備）
A1　EM-CE3.5-3C　（新設）

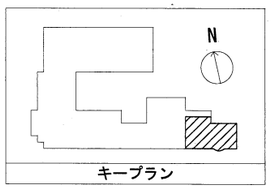
（動力設備）
B1　CVT60□E5.5□x2　（既設）
B2　EM-CE8.0□-3C E5.5□x2（新設）



系統図（改修）　S=NON



1階平面図（改修）　S=1/200



注記（撤去）

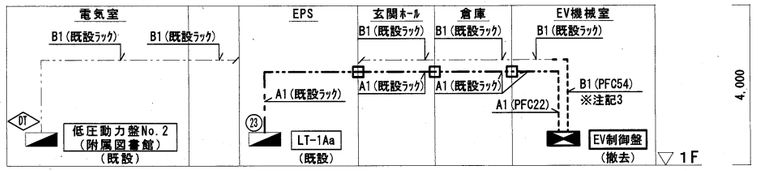
1. 本図中 太線は新設、細線は撤去を示す。
但し、打込み配管については配線のみ撤去とする。

2. 特記なき配線は下記とする。

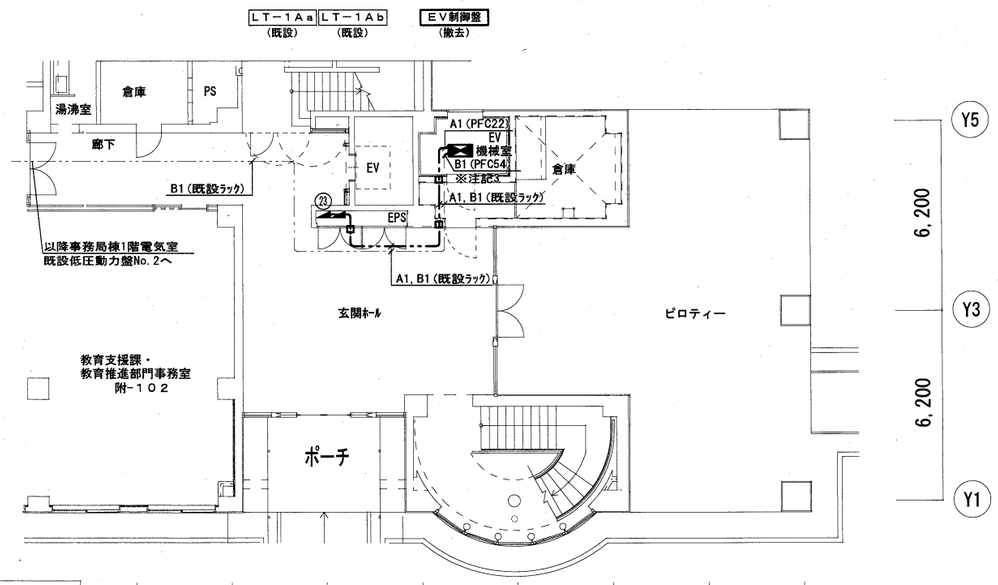
（電灯設備）
A1　VVF2.0-3C

（動力設備）
B1　CVT60□E5.5□x2

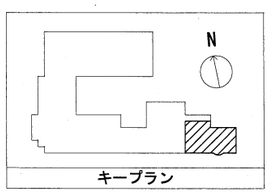
3. 動力設備の配管は撤去（EV機械室内）を行い、配線は新設引込開閉器盤まで既設再使用とする。



系統図（撤去）　S=NON



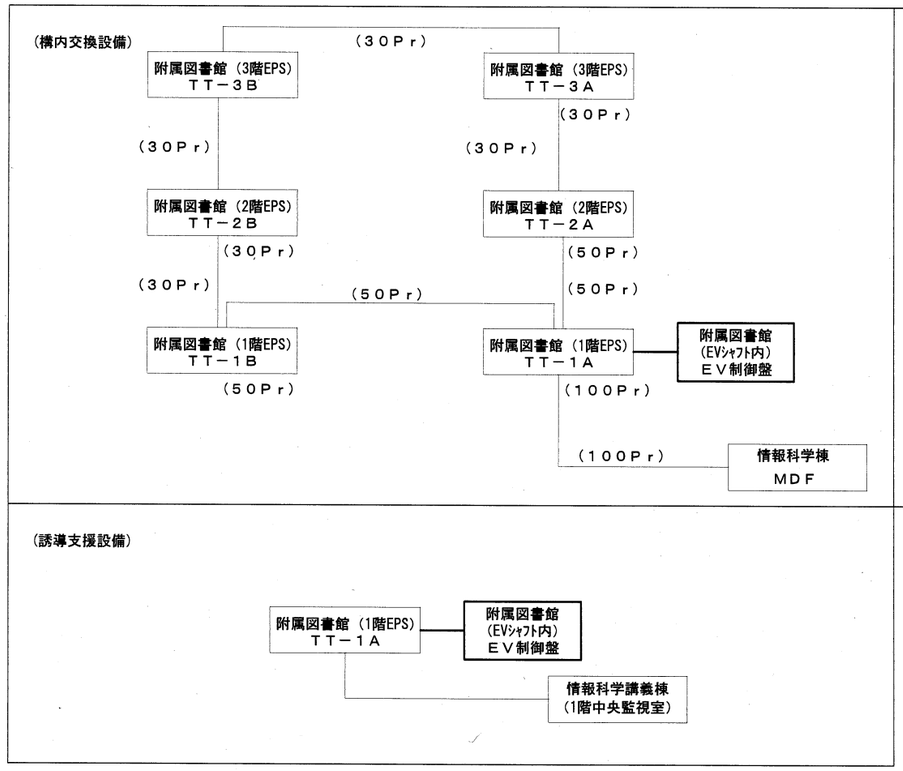
1階平面図（撤去）　S=1/200

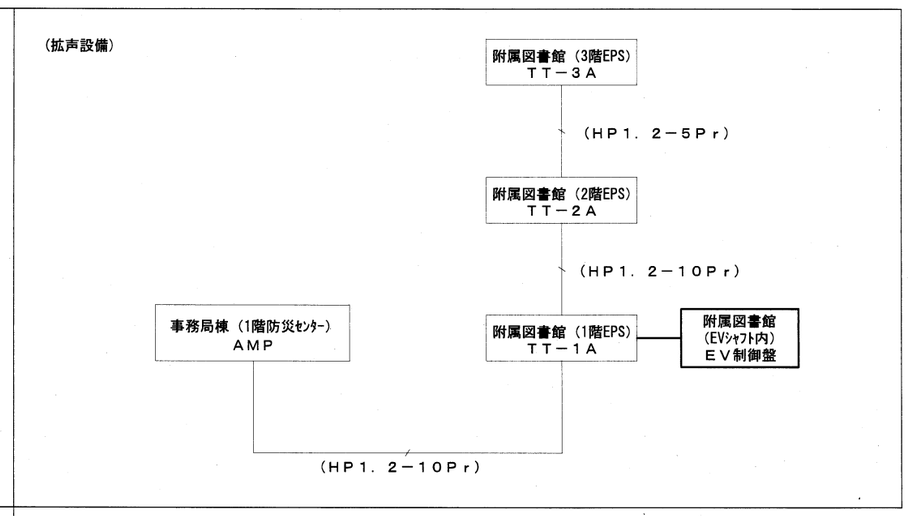


訂正　令和　年　月　日	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称：附属図書館　電灯・動力設備 凡例、分電盤表、系統図、１階平面図（改修・撤去）	縮尺 1/200　図面番号 EV－19

凡例

記　号	名　　称	備　　考
―・・―	天井内ケーブルころがし配線	
―・――	ケーブルラック配線	
―――	打込配管（配線）	
-------	露出配管（配線）	
	立上り・素通し・引下げ	
A	プルボックス　150x150x150　鋼板製	
B	プルボックス　200x200x200　鋼板製	
	アウトレットボックス	
	ダイヤモンドカッター貫通補修	防火区画貫通処理共
	既設開口補修	防火区画貫通処理共
	ＥＶ制御盤	
	電話端子盤	
	火災受信機	
M	主中継器盤	
	Ｒ型中継器盤	
	機器収納箱	
t	インターホン子機	
ER S	自動開閉装置（防火戸）	
S	煙感知器（光電式3種　露出）	
S	煙感知器（光電式2種　点検BOX付）	
	警戒区域線	
No EV	警戒区域番号（自火報用）	
No D	動作番号表示（防火戸用）	





注記
1. 本図中 太線は本工事対象、細線は既設を示す。

弱電設備ブロック系統図　S=NON

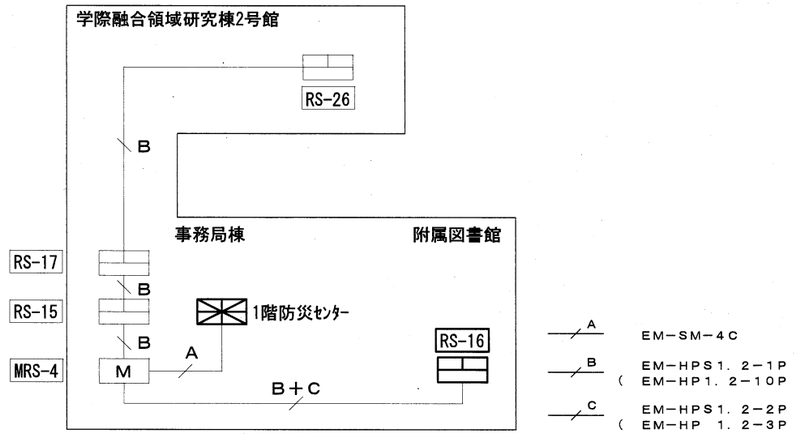
火災報知設備改修概要

１．既設自動開閉装置の撤去を行い、新たにＲ型中継器収容盤から火災信号を取出すものとする。
・既設 中継器盤改修
・既設 火災受信機、防災画面図 データ変更
上記に伴う結線処理、回路調整
※既設自動火災報知設備 製造メーカー：ニッタン株式会社
２．既設機器の仕様は下記による。
Ａ）ＧＲ型受信盤（既設：ＲＸＮ－８０１）
１）形式　複合ＧＲ型 受信機 分散方式
自立型 蓄積式 アナログ式 自動試験機能付き
２）電源　ＡＣ・ＧＣ１００Ｖ 予備電源内蔵
３）系統数　１６系統４０８０アドレス
Ｂ）主中継器盤
１）形式　自立型
２）電源　ＡＣ・ＧＣ１００Ｖ 予備電源内蔵
３）系統数　４系統１０２０アドレス

中継器盤点数表

主中継器盤名称	中継器盤名称	設置場所		実装アドレス（使用アドレス） 火報［連動用含］	ガス漏れ	防排煙［警報含］
MRS-4	RS-15	事務局棟	1階電気室	24(20)	4(1)	8(8)
	RS-16	附属図書館	1階EPS	20(18)	---	16(15)
	RS-17	学際融合領域研究棟2号館（旧先端科学技術研究調査ｾﾝﾀｰ）	1階電気室	12(12)	4(4)	4(4)
	RS-26	学際融合領域研究棟2号館（旧ﾍﾞﾝﾁｬｰ･ﾋﾞｼﾞﾈｽ･ﾗﾎﾞﾗﾄﾘｰ）	1階EPS	8(7)	8(6)	4(3)

注記
1. 本図中 太線は本工事対象、細線は既設を示す。



火災報知設備ブロック系統図　S=NON

訂正　令和　年　月　日	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称：附属図書館　弱電・火災報知設備 凡例、ブロック系統図	縮尺：－　図面番号：EV－20

注記（改修）

1. 本図中 太線は新設、細線は既設を示す。

2. 特記なき配線は下記とする。

（構内交換設備）

a1　電話　：EM-EBT 0.65-2C　（新設）

（拡声設備）

b1　非常放送：EM-HP 1.2-3C　（新設）

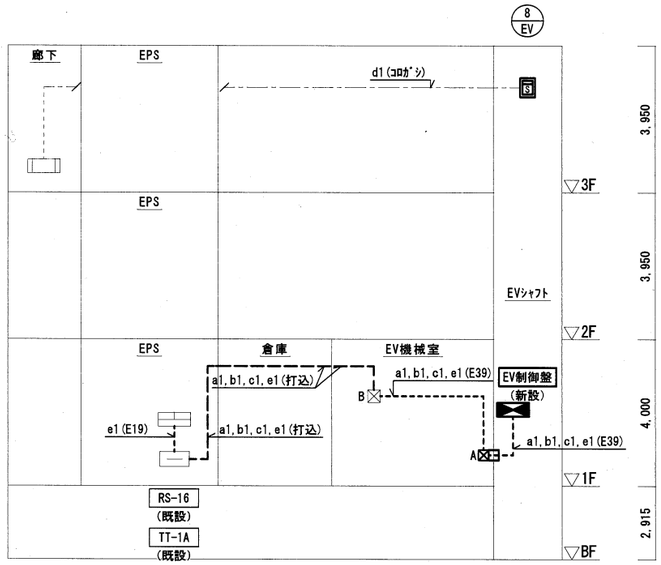
（誘導支援設備）

c1　EVｲﾝﾀｰﾎﾝ：EM-FCPEE 0.9-10P（新設）

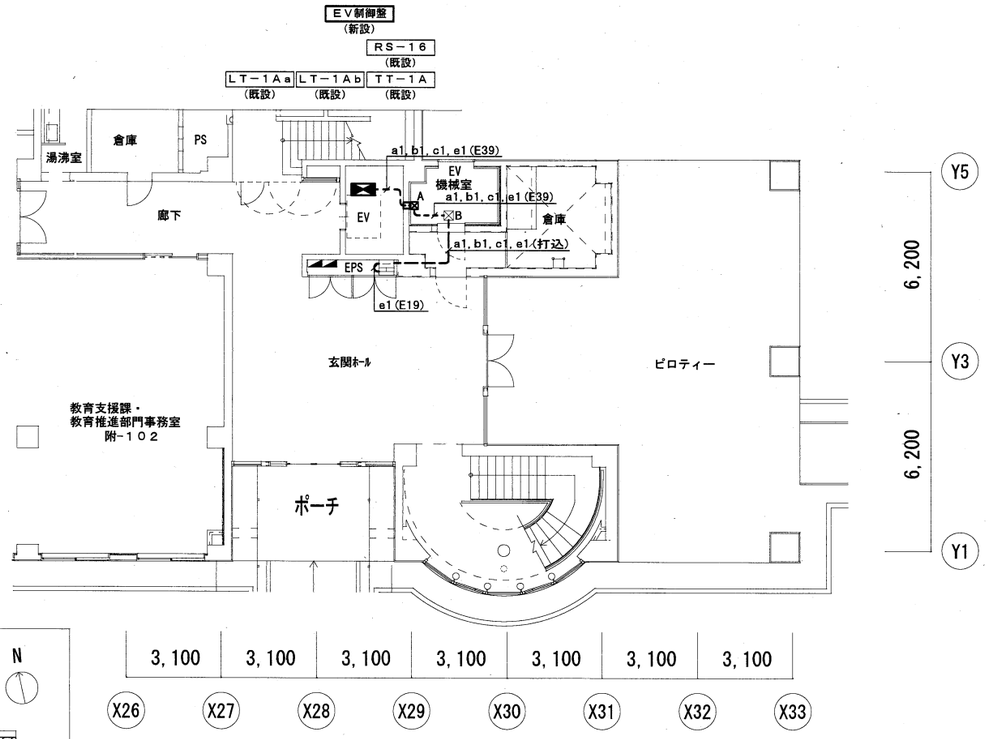
（火災報知設備）

d1　煙感知　：AE 0.9-4C　（既設）

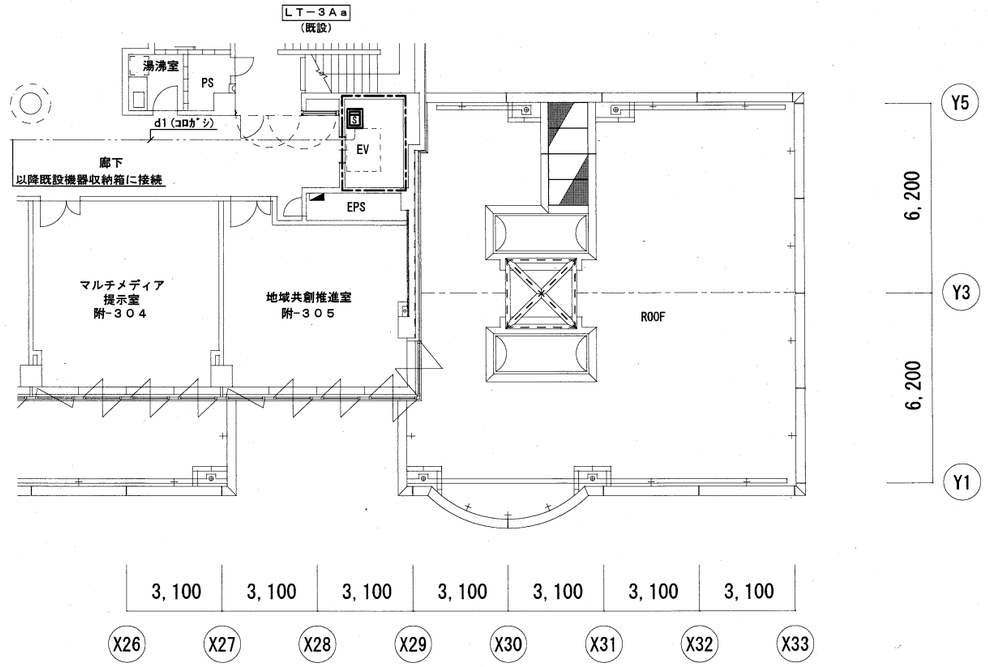
e1　火災管制：EM-HP 1.2-2C　（新設）



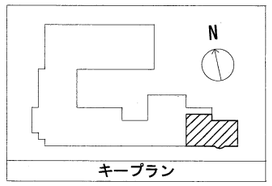
系統図（改修）　S=NON



１階平面図（改修）　S=1/200



３階平面図（改修）　S=1/200



キープラン

訂正　令和　年　月　日	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称：附属図書館　弱電・火災報知設備 系統図、１・３階平面図（改修）	縮尺：1/200　図面番号：EV-21

注記（撤去）

1. 本図中 太線は新設、細線は撤去を示す。
   但し、打込み配管については配線のみ撤去とする。

2. 特記なき配線は下記とする。

（構内交換設備）

a1	電話	：FCT 0.65-2P

（拡声設備）

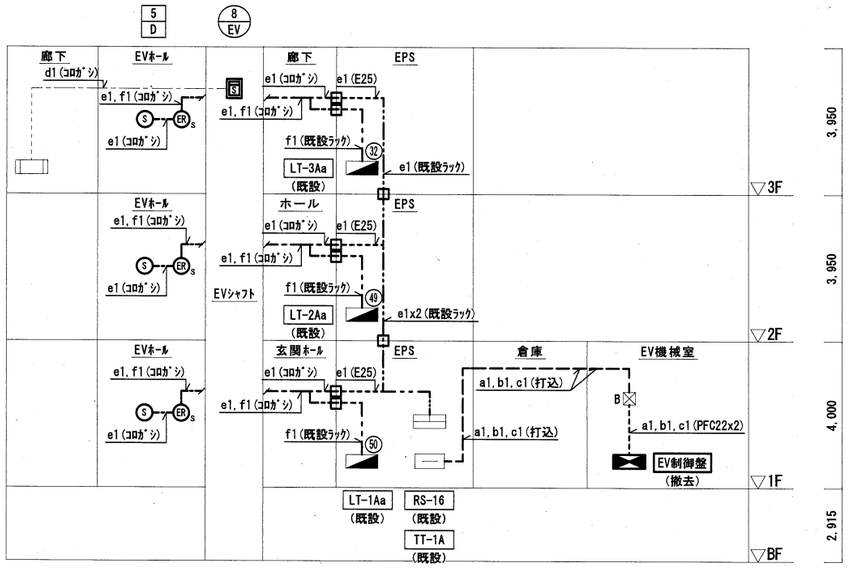
b1	非常放送	：EM-HP 1.2-3C

（誘導支援設備）

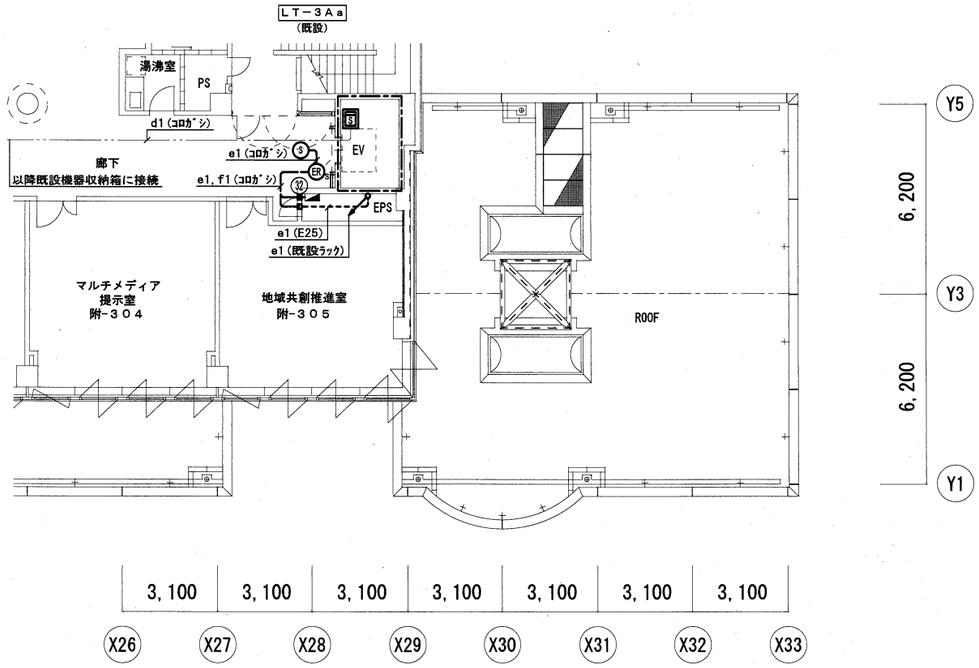
c1	EVｲﾝﾀｰﾎﾝ	：CPEV 0.9-5P

（火災報知設備）

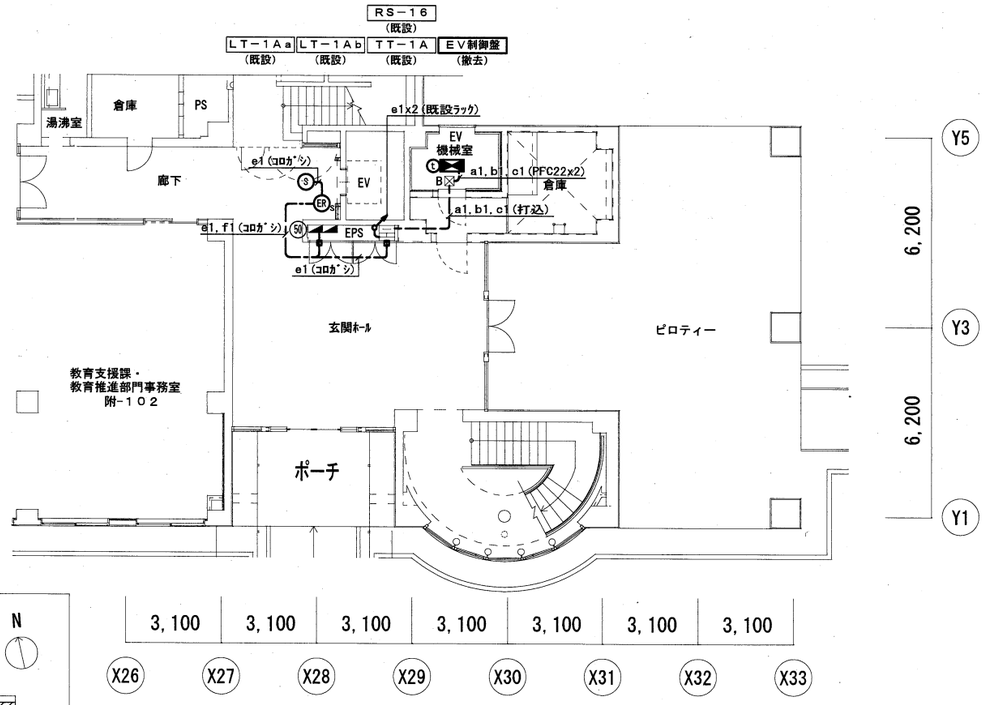
d1	煙感知	：AE 0.9-4C
e1	防火戸	：EM-HP 1.2-5P
f1	防火戸電源	：EM-EEF 2.0-3C

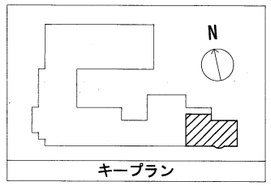


系統図（撤去） S=NON

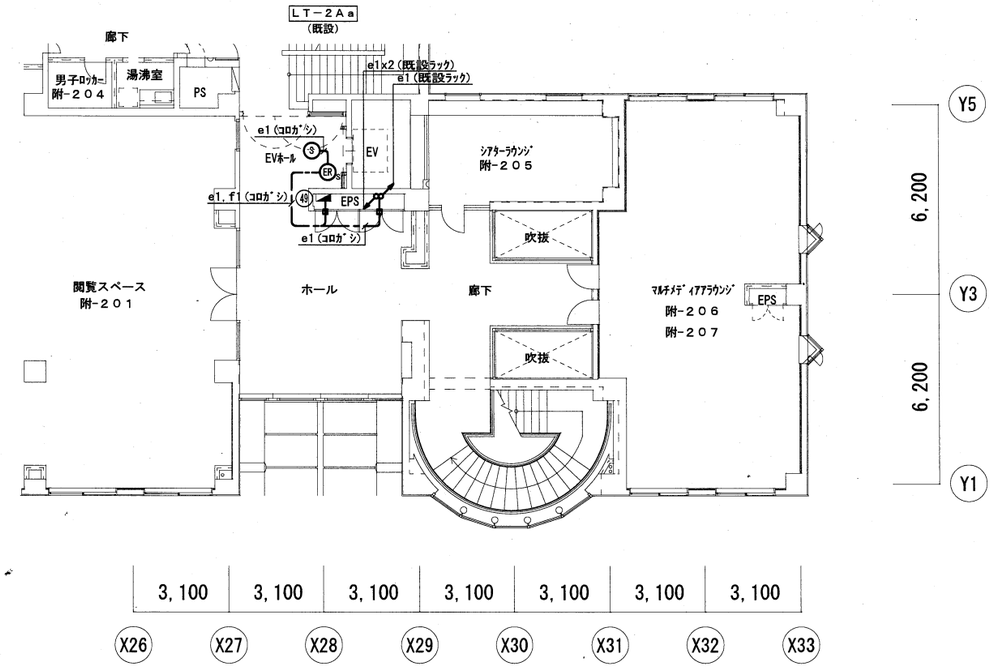


３階平面図（撤去） S=1/200





１階平面図（撤去） S=1/200



２階平面図（撤去） S=1/200

訂正	令和 年 月 日

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学

課長	課長補佐	係長	担当者

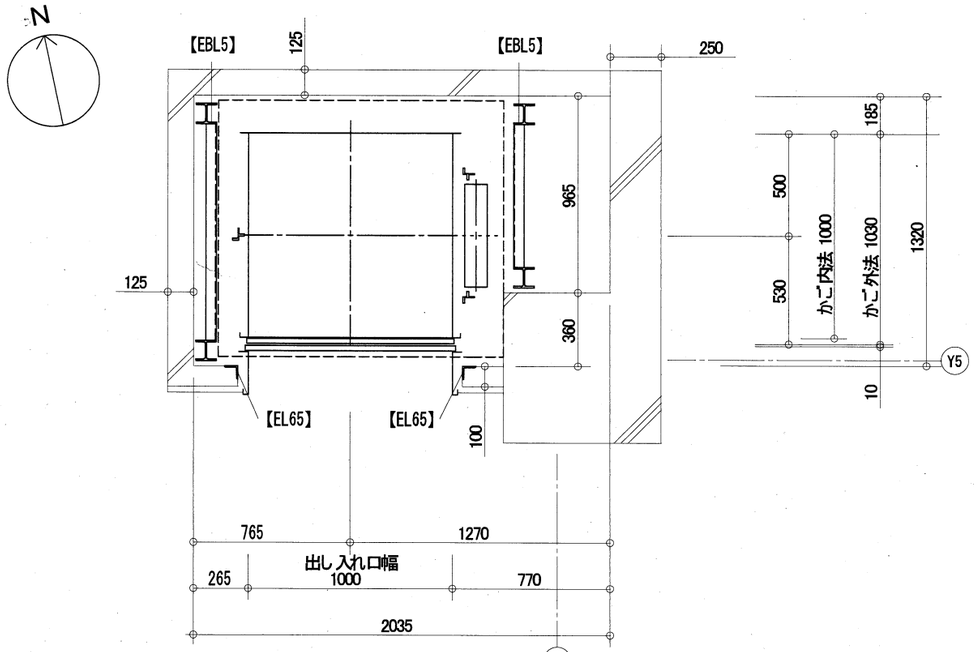
工事名：奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事

年度：令和５年度

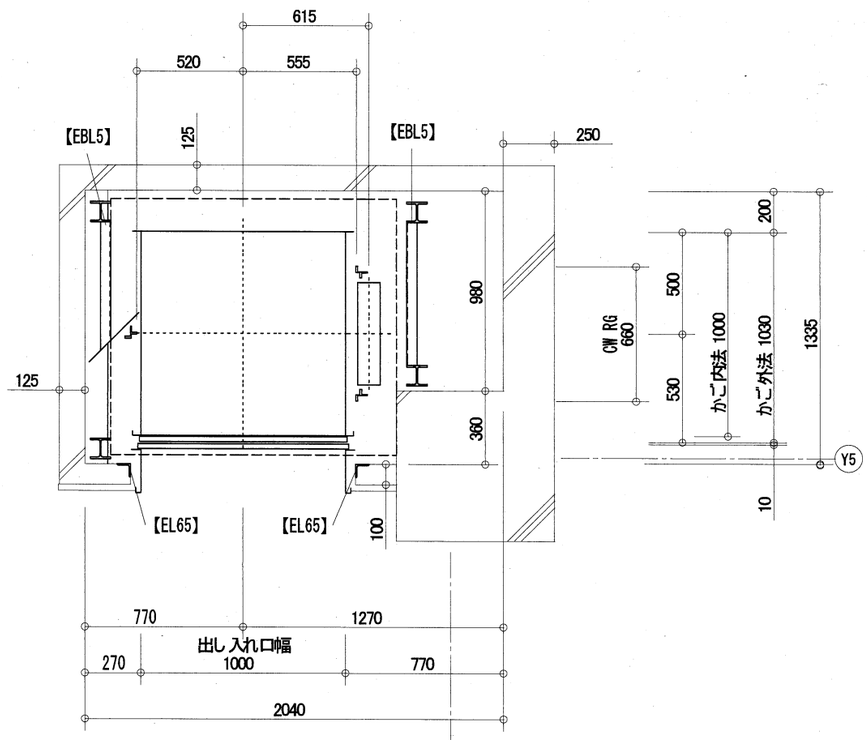
図面名称：附属図書館 弱電・火災報知設備
系統図、１～３階平面図（撤去）

縮尺：1/200

図面番号：EV-22



昇降路平面図（２Ｆ）　S=1/30



昇降路平面図（１Ｆ）　S=1/30

注記

1．本図中 太線は新設、細線は既設を示す。

2．三方枠・敷居等の設置に伴うはつり及び補修は本工事とする。

3．改修に伴う内装仕上げは下記リストの仕様に合わせること。

室　名	床	巾　木	壁	天　井
１階廊下	特殊ビニル床シート	ビニル巾木	複層塗材Ｅ吹付	着色ロックウール化粧吸音板（リブ付き）
２階２０１室	タイルカーペット	ビニル巾木	複層塗材Ｅ吹付	ロックウール化粧吸音板

※天井仕上げの[着色ロックウール化粧吸音板]は[ロックウール化粧吸音板＋塗装仕上げ]でも可能とする。

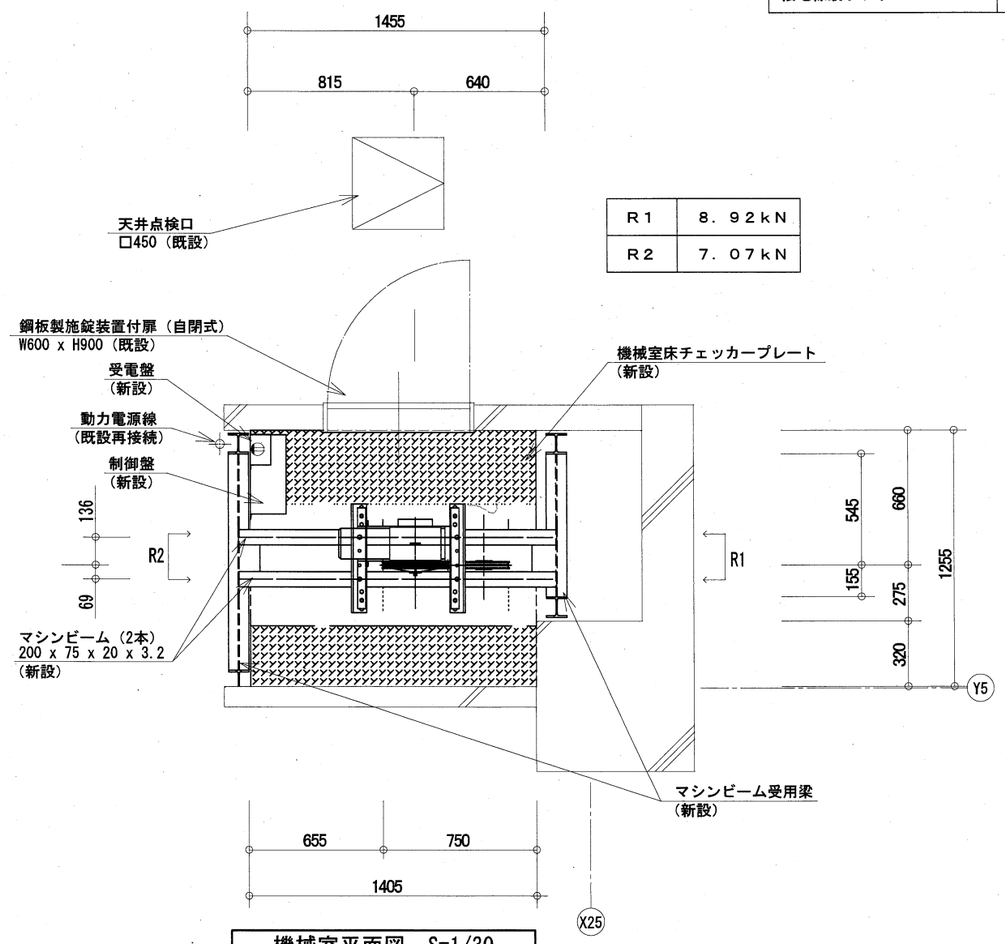
凡例

⊕	点検用コンセント	（既設再使用）
⊕	電源引込み（受電盤への接続） ・動力、接地線	（既設再接続）

鉄骨部材記号表　[新設]		
部材記号	部材用途	部材サイズ
EL65	三方枠取付材	L-65x65x6
EBL5	中間ビーム	L-50x50x4

（１台１回線）

電源設備				
号機名		Ｎｏ．１		
電源設備容量	動力	２００Ｖ　３ｋＶＡ		
動力線サイズ（mm²）		２	３．５	５．５
最大引込み距離（m）		２９	５２	８１
建屋側ＮＦＢ		２０Ａ		
接地線最小サイズ		２　mm²		



R1	8．92kN
R2	7．07kN

機械室平面図　S=1/30

訂正　令和　年　月　日	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称：附属図書館　昇降機設備（小荷物専用） 昇降路・機械室平面図（改修）	縮尺：1/30　図面番号：EV－23

注記

1．本図中 太線は新設、細線は既設を示す。

2．三方枠・敷居等の設置に伴うはつり及び補修は本工事とする。

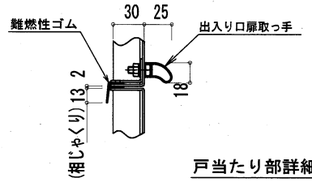
凡例

⊕	点検用コンセント	（既設再使用）
⊕	電源引込み（受電盤への接続） ・動力、接地線	（既設再接続）

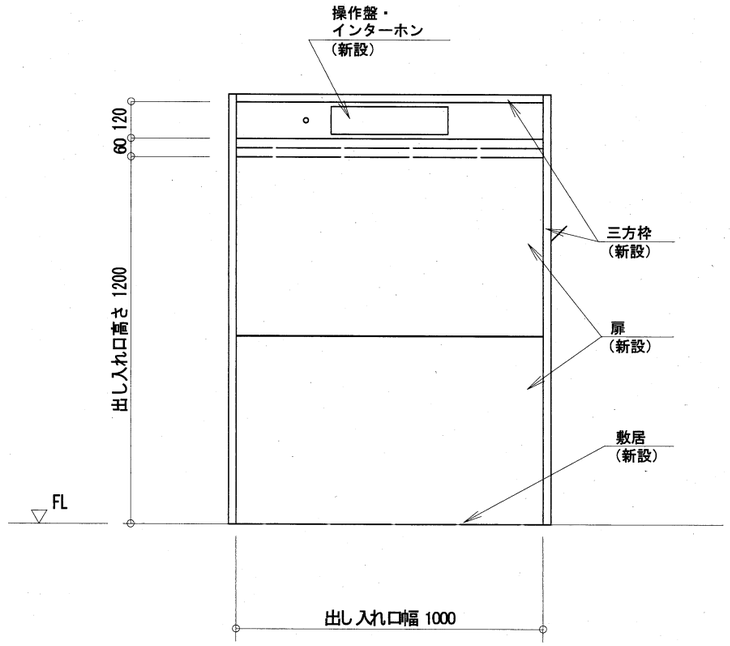
鉄骨部材記号表　［新設］		
部材記号	部材用途	部材サイズ
EL65	三方枠取付材	L-65x65x6
EBL5	中間ビーム	L-50x50x4

戸当たり部詳細図

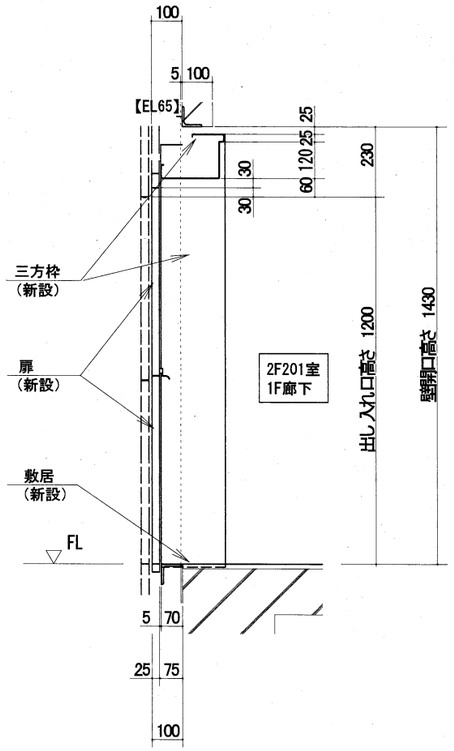
※小荷物専用昇降機出し入れ口扉は、ＪＥＡＳ－２０７Ａ（標改１０－０２）に定める構造として０．８mm 以上の鋼板製とし、戸当たり部分を難燃性ゴムを用いて相じゃくりとすれば、すき間のない構造として平１２建告第１３６０号による遮炎・遮煙性能を有する防火設備、および１．５mm 以上の鋼板で同様の構造とすれば、同告示第１３６９号にる特定防火設備とみなされる。



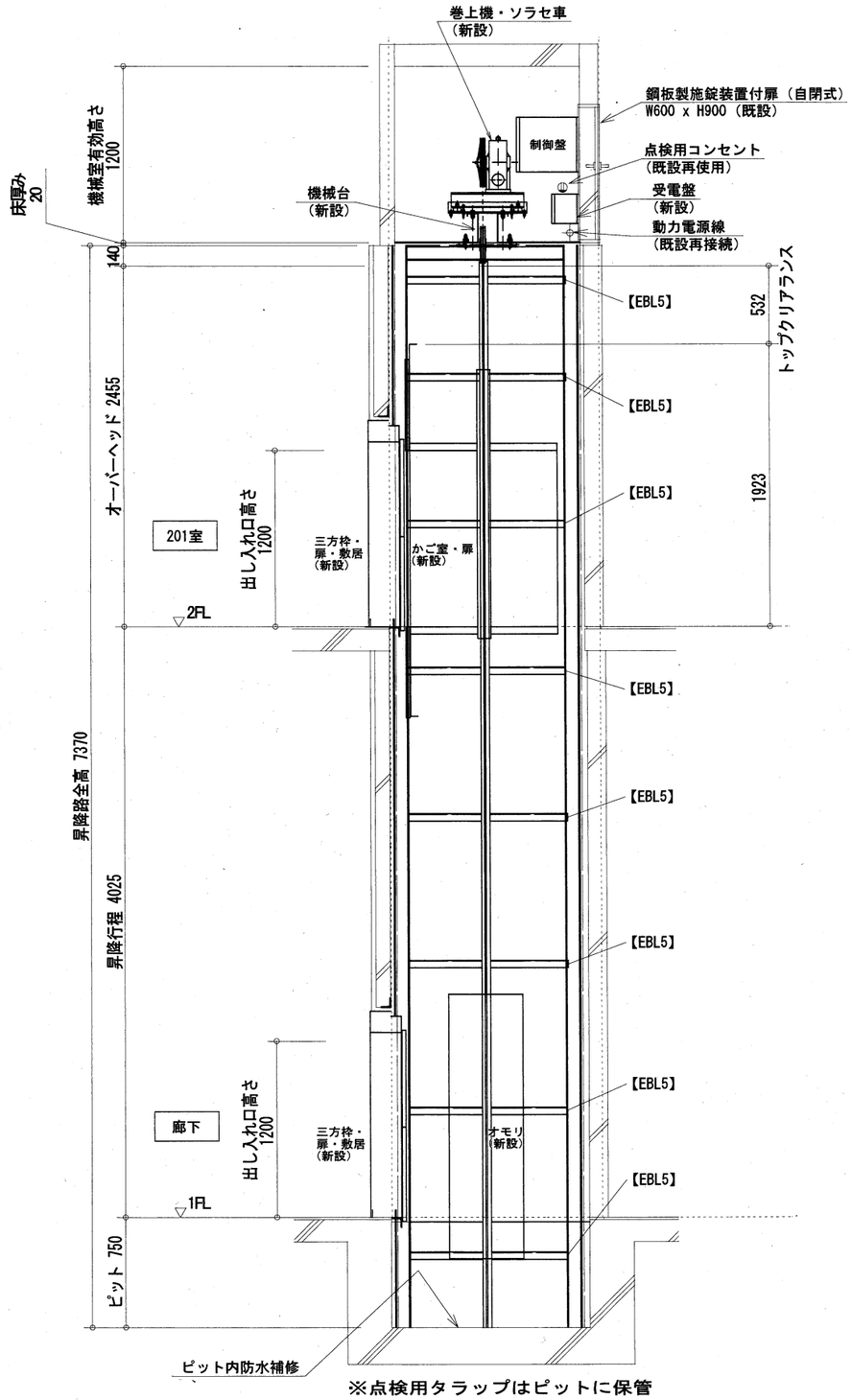
戸当たり部詳細図



出し入れ口正面図　S=1/20



出し入れ口断面図　S=1/20



※点検用タラップはピットに保管

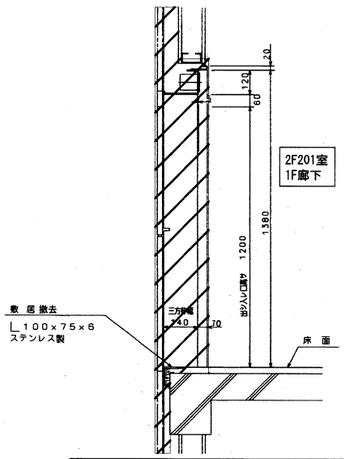
昇降路断面図　S=1/40

訂正　令和　年　月　日	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称：附属図書館　昇降機設備（小荷物専用） 昇降路断面図、出し入れ口意匠図（改修）	縮尺：1／20　1／40 図面番号：EV－24

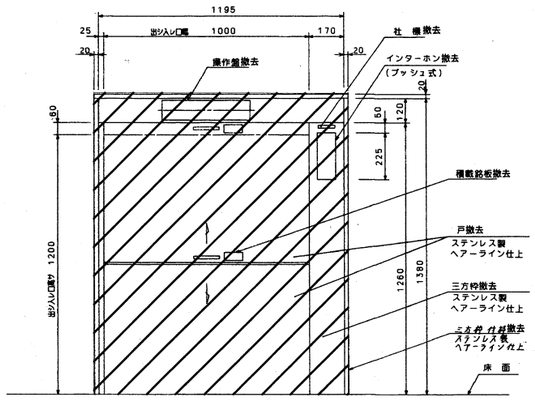
注記

1．▨ は撤去範囲を示す。

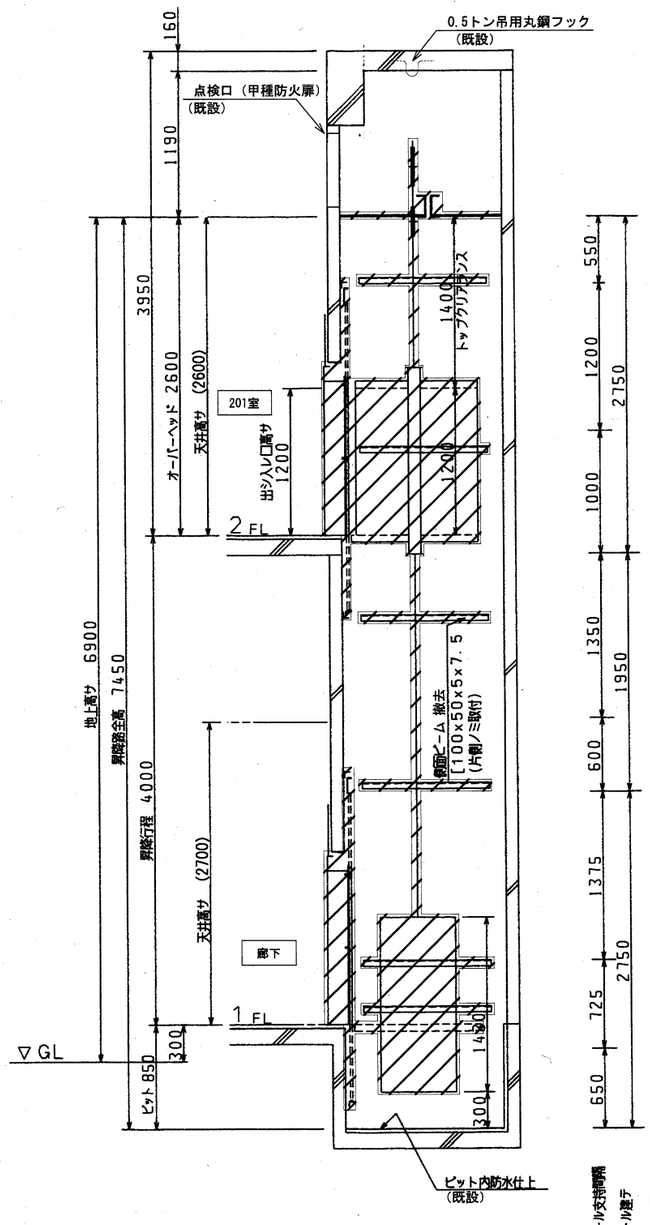
2．撤去に伴う撤去跡はモルタル等で補修を行い、内装仕上げは図面番号ＥＶ－２３に示すリストの仕様に合わせること。



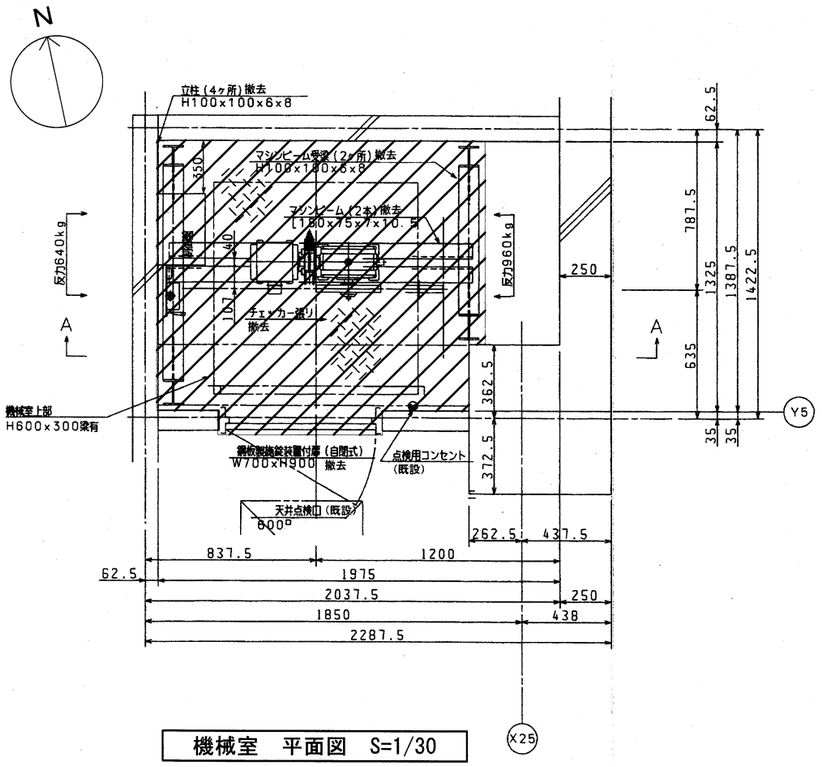
出し入れ口断面図　S=1/30



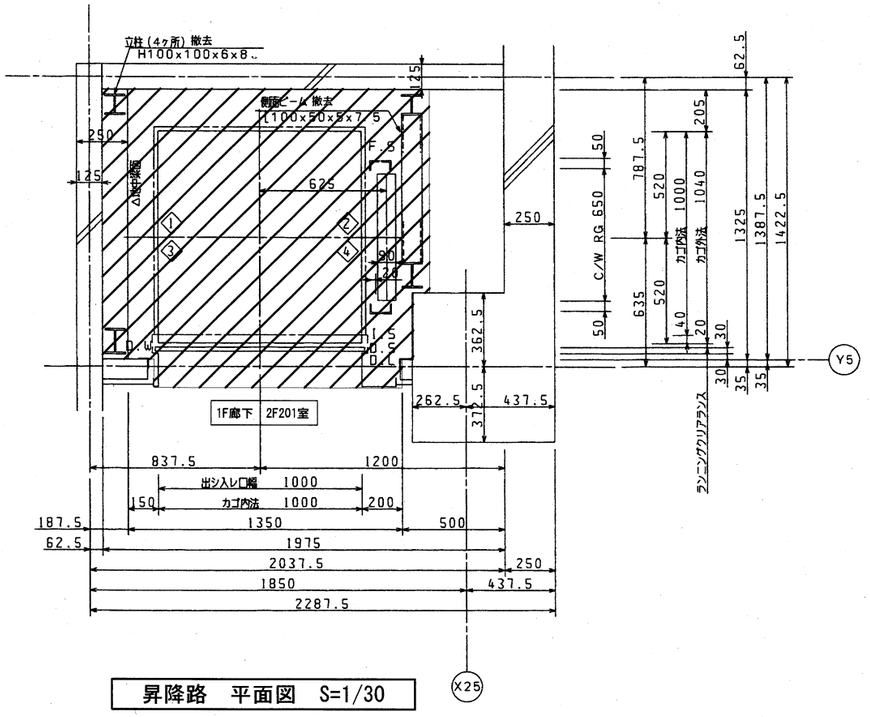
出し入れ口正面図　S=1/30



昇降路　断面図　S=1/50



機械室　平面図　S=1/30



昇降路　平面図　S=1/30

訂正　令和　年　月　日	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称：附属図書館　昇降機設備（小荷物専用） 昇降路・機械室平面図、断面図（撤去）	縮尺：1/30　1/50 ／ 図面番号：EV-25

注記

1．本図中 太線は新設、細線は既設を示す。

2．三方枠・敷居等の設置に伴うはつり及び補修は本工事とする。

3．改修に伴う内装仕上げは下記リストの仕様に合わせること。

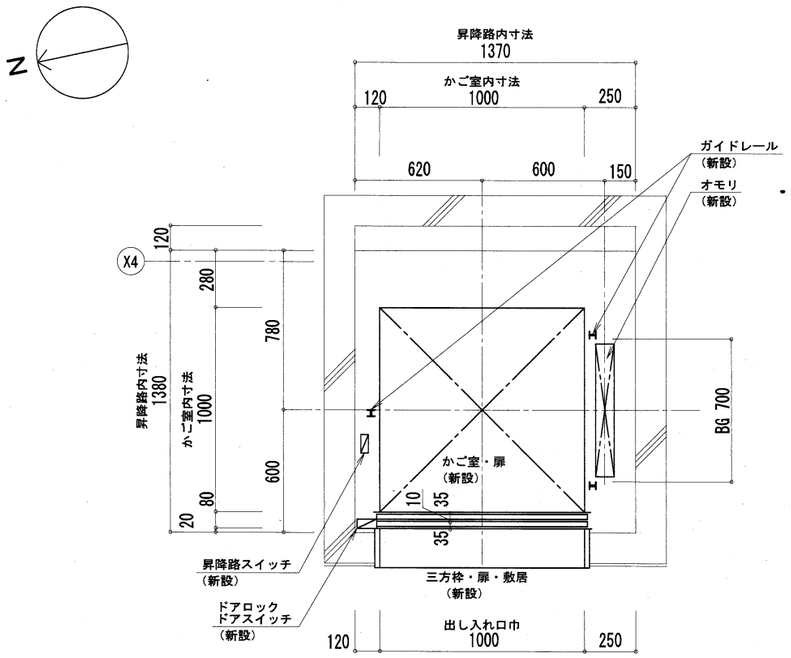
室　名	床	巾　木	壁	天　井
1階廊下	ビニル床シート	ビニル巾木	ＥＰ塗装（１種）	化粧せっこうボード
2階廊下	ビニル床シート	ビニル巾木	ＥＰ塗装（１種）	化粧せっこうボード

凡例

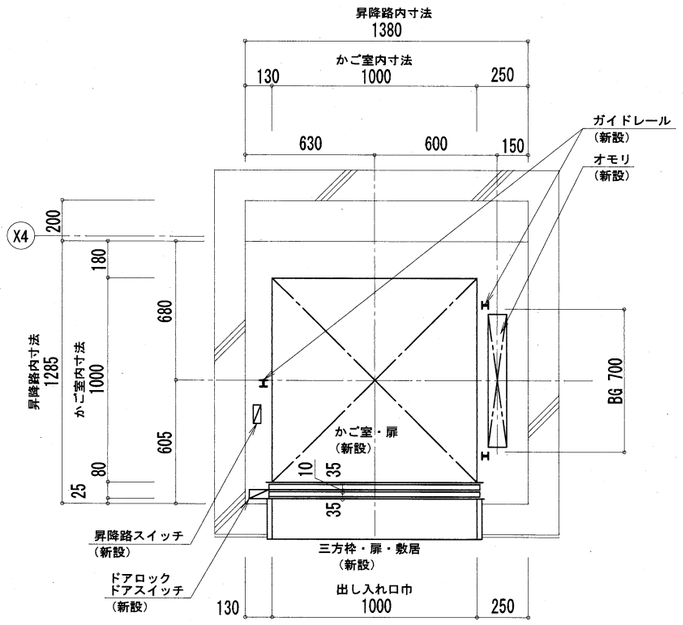
	点検用コンセント	（既設再使用）
	電源引込み（制御盤への接続） ・動力、接地線	（既設再接続）

（１台１回線）

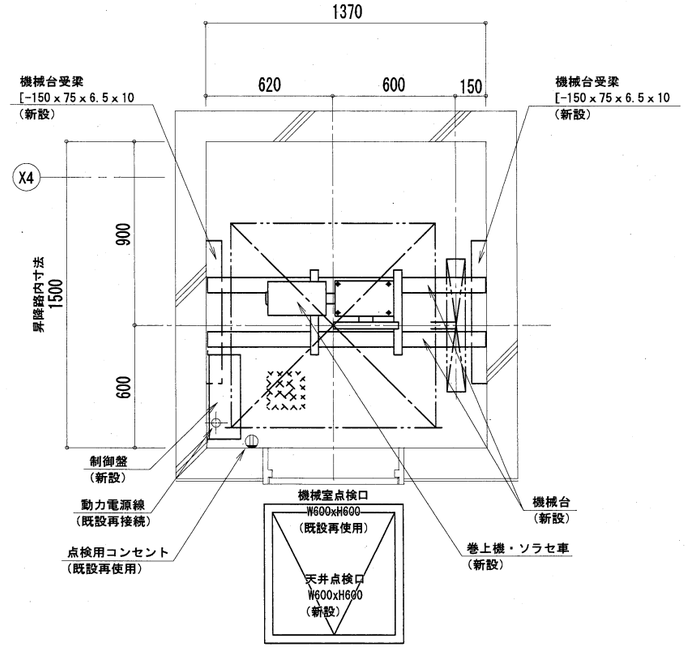
電源設備					
号機名		Ｎｏ．１			
電源設備容量	動力	２００Ｖ　４．１ｋＶＡ			
動力線サイズ（mm²）		２	３．５	５．５	８
最大引込み距離（m）		２１	３７	５８	８５
建屋側ＮＦＢ		２０Ａ			
接地線最小サイズ		２ mm²			



昇降路平面図（２Ｆ）　S=1/30



昇降路平面図（１Ｆ）　S=1/30



機械室平面図　S=1/30

訂正　令和　年　月　日	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称：分子育種温室　昇降機設備（小荷物専用） 昇降路・機械室平面図（改修）	縮尺：1/30　図面番号：EV－26

注記

1．本図中 太線は新設、細線は既設を示す。

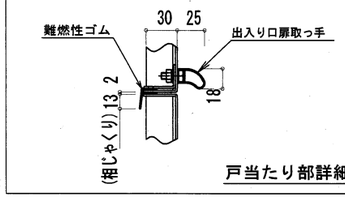
2．三方枠・敷居等の設置に伴うはつり及び補修は本工事とする。

凡例

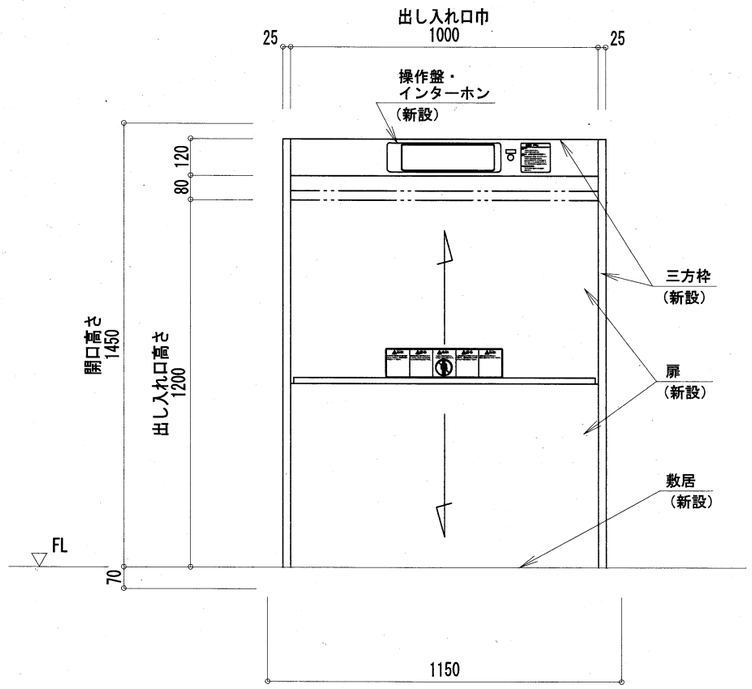
	点検用コンセント	（既設再使用）
	電源引込み（受電盤への接続） ・動力、接地線	（既設再接続）

戸当たり部詳細図

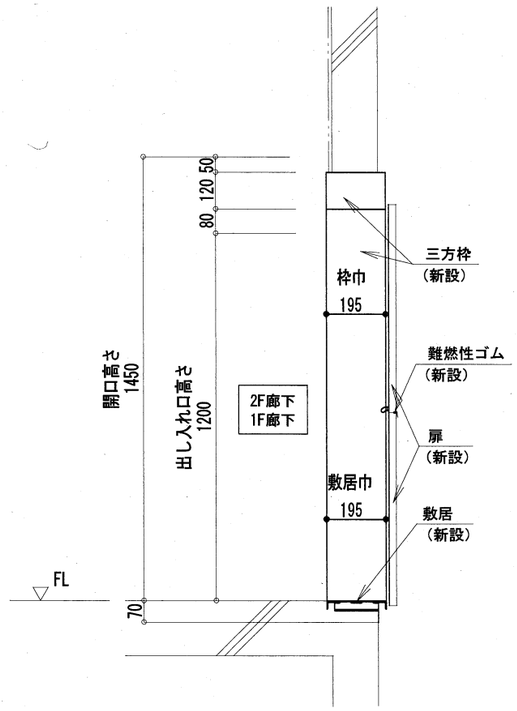
※小荷物専用昇降機出し入れ口扉は、ＪＥＡＳ－２０７Ａ（標改１０－０２）に定める構造として０．８mm 以上の鋼板製とし、戸当たり部分を難燃性ゴムを用いて相じゃくりとすれば、すき間のない構造として平１２建告第１３６０号による遮炎・遮煙性能を有する防火設備、および１．５mm 以上の鋼板で同様の構造とすれば、同告示第１３６９号にる特定防火設備とみなされる。



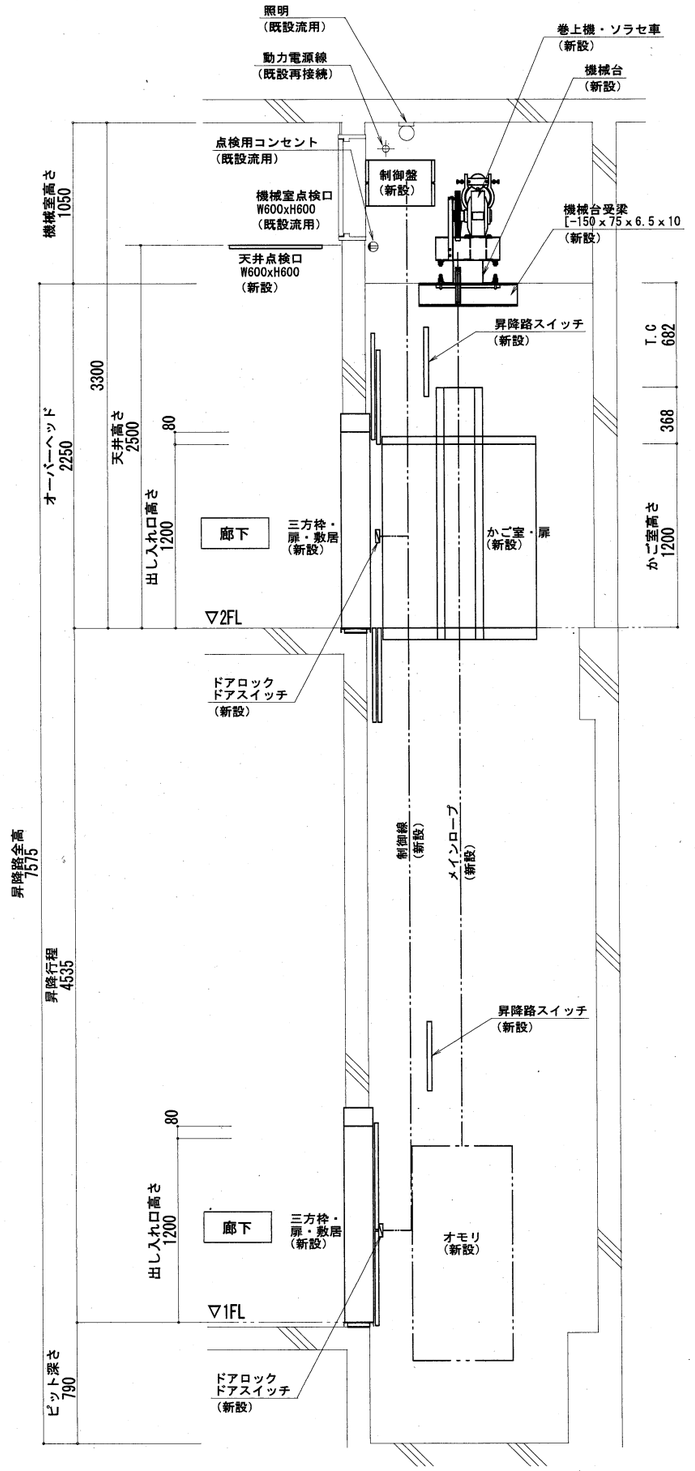
戸当たり部詳細図



出し入れ口正面図　S=1/30



出し入れ口断面図　S=1/30



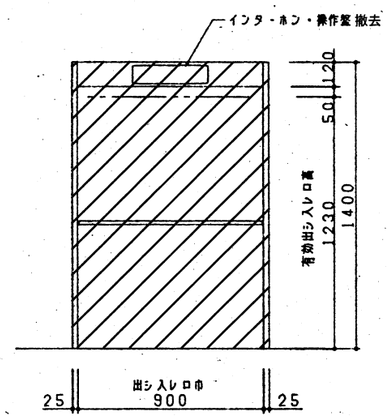
昇降路断面図　S=1/40

訂正　令和　年　月　日	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称 分子育種温室　昇降機設備（小荷物専用） 昇降路断面図、出し入れ口意匠図（改修）	縮尺 1/30 1/40　図面番号 EV－27

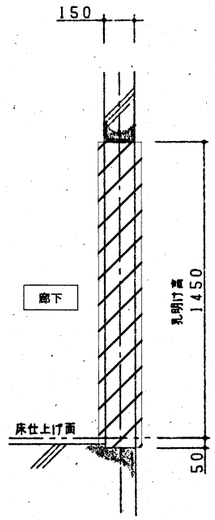
注記

1．▨ は撤去範囲を示す。

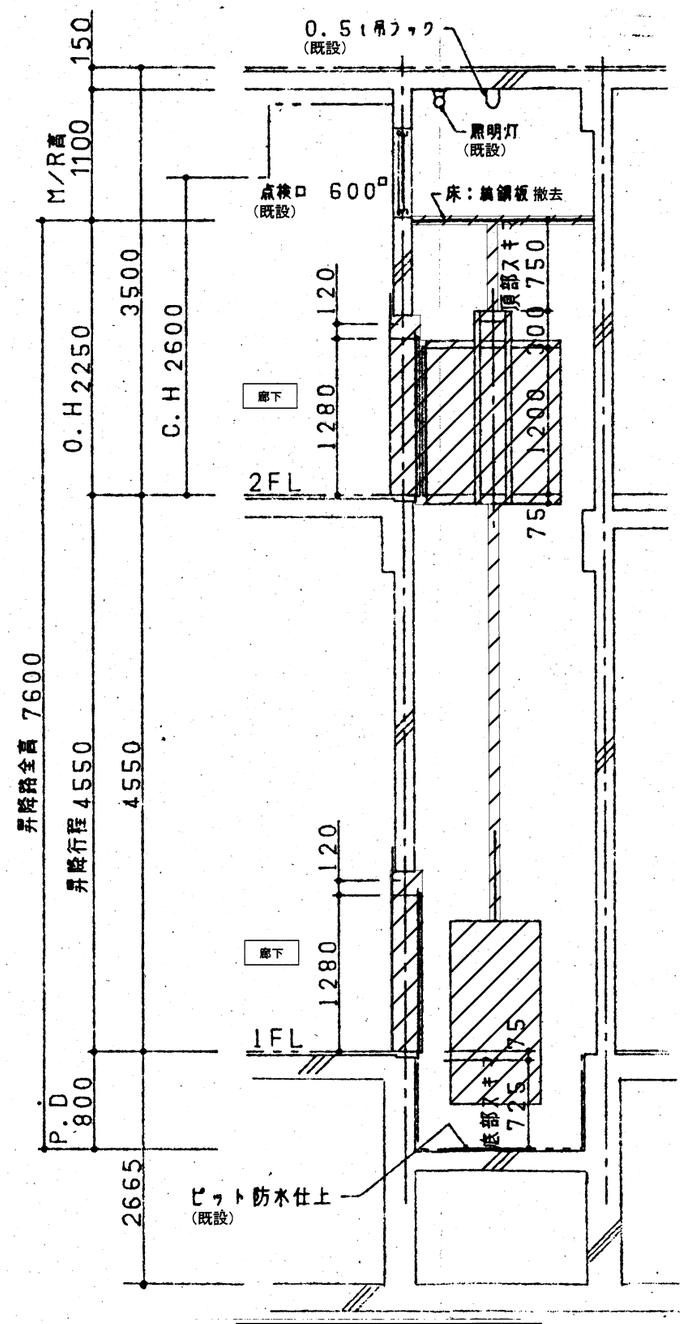
2．撤去に伴う撤去跡はモルタル等で補修を行い、内装仕上げは図面番号ＥＶ－２６に示すリストの仕様に合わせること。



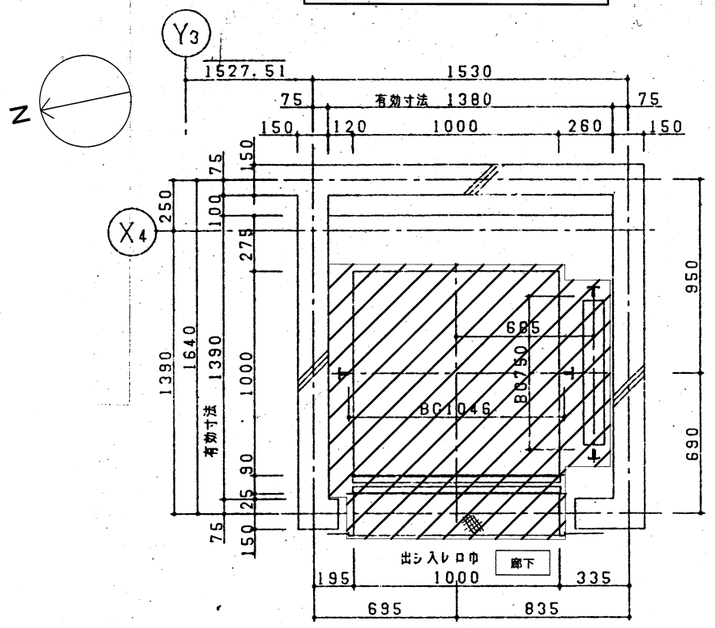
出し入れ口正面図　S=1/30



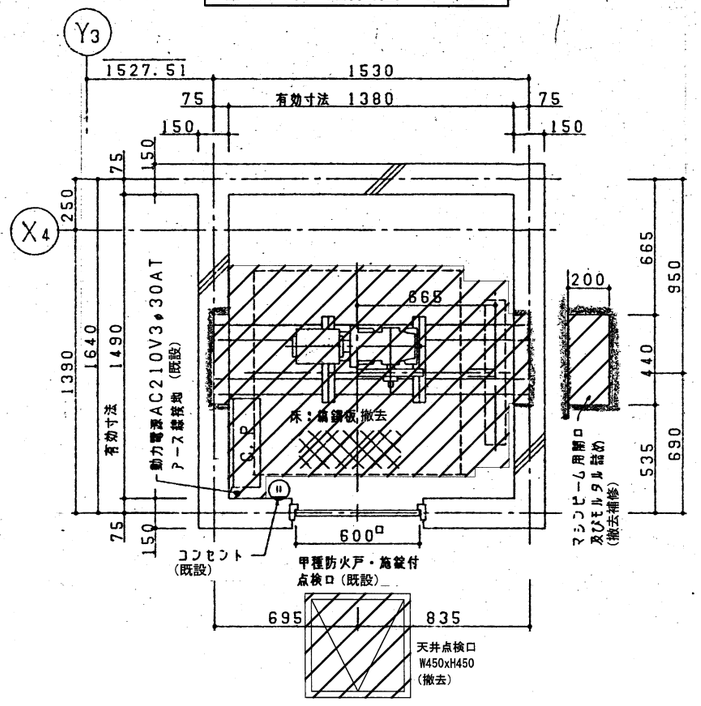
出し入れ口断面図　S=1/30



昇降路　断面図　S=1/50



機械室　平面図　S=1/30



昇降路　平面図　S=1/30

訂正　令和　年　月　日	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
	課長 / 課長補佐 / 係長 / 担当者	奈良先端大事務局棟等エレベーター更新工事	令和５年度
		図面名称：分子育種温室　昇降機設備（小荷物専用） 昇降路・機械室平面図、断面図（撤去）	縮尺：1/30　1/50 図面番号：EV-28